

平成26年度
広島県立美術館年報

平成26年度
広島県立美術館年報



目 次

I. 沿革	2
II. 展覧会	
展覧会一覧	4
特別展	
1. 平山郁夫展 -文化財赤十字への道-	5
2. 星星會展 -日本画の伝統と未来へ	8
3. トーベ・ヤンソン生誕100年記念 MOOMIN! ムーミン展	12
4. ポーラ美術館コレクション モネ、ルノワールからピカソまで	16
5. 広島が生んだデザイン界の巨匠 榮久庵憲司の世界展	20
6. ジャパン・ビューティー -描かれた日本美人-	24
7. 第61回 日本伝統工芸展	27
所蔵作品展	31
III. 普及活動	
1. 第2回新県美展（第66回広島県美術展）	49
2. 第3回広島県ジュニア美術展	50
3. 博物館実習	52
4. 学校との連携事業 「美術作品鑑賞教室」	53
5. 新規作成ワークシート・リスト	56
6. 学校等による利用状況	57
7. 県民ギャラリー利用状況	58
8. 友の会事業報告	61
IV. 事業実施状況	65
V. 業務一覧	74
VI. 入館者数一覧	84
VII. 美術品等収集状況	86
VIII. 美術品等の貸出し	92
IX. 関係法規	96
X. 名簿	107

I 沿革

昭和31年	美術館建設の募金運動はじまる	昭和53年 10月	開館10周年記念展開催
昭和38年 4月	調査費計上	昭和54年 3月	開館10周年記念「広島県立美術館所蔵作品集」発刊
昭和39年 4月	設計委託料計上		
10月	建設促進委員会開催	12月	収蔵庫拡張工事着工
昭和40年 4月	整地費など計上	昭和55年 2月	収蔵庫拡張工事完了
昭和41年 5月	文部省社会教育施設整備費補助金の交付内定	4月	定宗一宏館長(非常勤)任命
12月	建設募金委員会発足		広島県立美術館条例一部改正(昭和55年広島県条例第19号)施設使用料
昭和42年 1月	起工式挙行	10月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和55年広島県教育委員会規則第10号)
昭和43年 3月	旧館竣工	昭和56年 4月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和56年広島県教育委員会規則第5号)課の名称変更・入館料の免除
4月	広島県立美術館条例施行(昭和43年広島県条例第20号)	10月	広島県立美術館美術品等取得基金条例施行(昭和56年広島県条例第5号 基金額1億円)
	広島県立美術館管理運営規則施行(昭和43年広島県教育委員会規則第1号)		広島県美術品等取得基金運用規定制定
	加藤豊館長(常勤)任命		美術品等収集委員会設置要領制定
6月	広島県立美術館協議会条例施行(昭和43年広島県条例第38号)	昭和57年 3月	定宗館長辞職
7月	広島県立美術館協力会結成	4月	広島県立美術館条例一部改正(昭和57年広島県条例第10号)入館料・施設使用料
9月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和43年広島県教育委員会規則第13号)分掌事務		阿川静明館長(非常勤)任命
21日	落成式挙行	9月	縮景園窓口入園窓口を設置
22日	旧館開館	昭和60年 3月	阿川館長辞職
10月	広島県立美術館美術品収集要領制定	4月	赤木博典館長(常勤)任命
12月	広島県立美術館展示施設運営要領制定	昭和61年 10月	事務局職員による県立美術館整備計画検討会議を設置
昭和44年 4月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和44年広島県教育委員会規則第2号)職員の職・職員の仕事	昭和62年 2月	渋谷文庫開設
	館蔵品常設展開設	3月	県立美術館整備計画検討会議、整備構想案をまとめる
昭和46年 4月	宮地貫一館長事務取扱任命		赤木館長辞職
昭和47年 1月	広島県立美術館友の会発足	4月	吉岡典成館長(兼務)任命
5月	浜本正弘館長事務取扱任命	11月	県教育委員会、広島県立美術館整備構想検討委員会を設置、委員8名を委嘱
6月	佐々木司郎館長事務取扱任命	昭和63年 4月	菅川健二館長(兼務)任命
8月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和47年広島県教育委員会規則第11号)職員の職		広島県立美術館条例一部改正(昭和63年広島県条例第7号)入館料・施設使用料
	羽白幸雄館長(非常勤)任命		広島県立美術館美術品等取得基金、1億円を増額(基金額2億円)
11月	開館5周年記念「広島県立美術館所蔵作品集」発刊	11月	広島県立美術館整備構想検討委員会、整備構想をまとめ県教育委員会に答申
昭和48年 6月	広島県立美術館条例一部改正(昭和48年広島県条例第30号)	平成元年 3月	さところ文庫開設
	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和48年広島県教育委員会規則第14号)補助職員の職及び職務	5月	広島県立美術館整備基金計画検討委員会を設置、委員14名を委嘱(座長 橋口収県商工会議所連合会会長)
10月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和48年広島県教育委員会規則第19号)職員の職等	7月	広島県立美術館美術品等収集評価委員会を設置、委員6名を委嘱
昭和49年 3月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和49年広島県教育委員会規則第4号)その他の職員の職	平成2年 4月	広島県立美術館美術品など取得基金、5億円を増額(基金額7億円)
昭和50年 4月	広島県立美術館条例一部改正(昭和50年広島県条例第25号)施設使用料	12月	知事、県議会本会議において「新美術館は隣接する縮景園の景観を損なうことなく、両施設の一体化を図った文化ゾーンの一環として一体的に整備する必要がある」と答弁
昭和51年 4月	広島県立美術館条例一部改正(昭和51年広島県条例第9号)入館料	平成3年 2月	知事、県議会本会議において「基金設計に着手する」ことを提案
昭和52年 2月	広島県美術展開催運営規則施行(昭和52年広島県教育委員会規則第2号)	3月	県議会、平成3年度予算案(基本設計予算)

	を可決	10月22日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成13年 広島県教育委員会規則第7号)入館料の減免
4月	広島県立美術館整備基本計画をまとめる 美術品等特別収集に着手	12月20日	平山郁夫名誉館長辞任
平成4年	広島県立美術館美術品等取得基金、3億円を増額(基金額10億円)	平成14年 3月25日	広島県立美術館条例一部改正(平成14年 広島県条例第18号)小・中・高校生の無料化
7月	施設利用業務休止。館蔵品常設展示室休室	4月1日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成14年 広島県教育委員会規則第10号)開館時間の変更
9月	閉館記念式典挙行	平成16年 7月1日	関靖直館長(兼務)就任
10月	事務所を広島市西区観音新町四丁目9-43に移転、仮事務所とする 旧県立図書館及び旧県立美術館の解体工事に着手	平成17年 12月20日	広島県立美術館条例一部改正(平成17年 広島県条例第57号)展示施設等の利用許可の条件、取消し等及び制限
平成5年	広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額20億円)		広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成17年 広島県教育委員会規則第16号)開館時間表記の改正及び条例改正に伴う改正
3月	解体工事、整地完了 新館建設工事安全祈願祭が挙行され、工事に着手	平成19年 4月1日	榎田好一館長(兼務)就任
4月	久保信保館長(兼務)任命	6月18日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成19年 広島県教育委員会規則第9号)休館日の変更及び条例改正に伴う改正
12月	寺脇研館長(兼務)任命	12月25日	広島県立美術館条例一部改正(平成19年 広島県条例第56号)学校教育法等の一部改正に伴う改正
平成6年	広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額30億円)	平成20年 4月1日	指定管理者制度導入
5月	事務所を西区観音新町から広島市中区八丁堀3-2 幟会館(2階)に移転	平成21年 4月1日	所管先が広島県教育委員会生涯学習部文化課から広島県環境県民局総務管理部文化芸術課へ移行
平成7年	広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額40億円)		広島県立美術館の入館料に関する規則施行(平成21年 広島県規則第33号)
4月	常廣泰登館長(専任)任命		広島県美術展開催運営規則(平成21年 広島県規則第34号)
	広島県立美術館美術品等取得基金、5億円を増額(基金額45億円)	平成21年 12月1日	藤田雄山館長(兼務)就任
12月	新館竣工	平成22年 4月1日	平田光章館長(兼務)就任
平成8年	新館鍵引渡し式を挙行	平成22年 6月1日	抹香尊文館長(兼務)就任
1月	事務所を新館に移転	平成22年 6月1日	広島県美術品等取得基金条例を廃止する条例の施行(平成22年 広島県条例第22号)
4月1日	木曾功館長(兼務)就任	平成22年 6月28日	広島県立美術館条例一部改正(平成22年 広島県条例第31号)施設使用料額の下限撤廃に伴う改正
7月1日	平山郁夫名誉館長就任	平成23年 4月1日	越智裕二郎館長就任
5日	広島県立美術館条例施行(平成8年 広島県条例第16号)入館料・施設使用料	平成23年 6月29日	広島県立美術館評価委員会設置
22日	広島県立美術館管理運営規則一部改定(平成8年 広島県教育委員会規則第9号)施設使用料	平成23年 7月11日	広島県立美術館条例一部改正(平成23年 広島県条例第31号)指定管理者による管理、入館料の納付等および減免、利用料金の納付等・減免及び収入
10月5日	新館開館記念式挙行	平成25年 2月18日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成25年 教育委員会規則第1号)講堂の利用申込期間の変更
6日	新館開館	平成25年 3月14日	広島県立美術館の特別展の観覧に係る入館料に関する規則一部改正(平成24年 広島県規則第13号)広島県立美術館条例一部改正に伴う改正
	広島県立美術館美術品等取得基金、5億円を増額(基金額50億円)	平成26年 3月26日	広島県立美術館条例施行(平成26年 広島県条例第17号、第23号)入館料・施設使用料及び開館時間
平成9年	広島県立美術館条例施行(平成9年 広島県条例第3号)入館料・施設使用料	平成27年 3月16日	広島県立美術館条例一部改正(平成27年 広島県条例第3号)展示施設等の利用料金の減免
4月1日	広島県立美術館管理運営規則(平成9年 広島県教育委員会規則第6号)全面改定		
平成10年	広島県立美術館条例施行(平成10年 広島県条例第5号)入館料等の納付		
3月24日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成10年 広島県教育委員会規則第4号)		
7月1日	辰野裕一館長(兼務)就任		
平成12年	広島県立美術館美術品等収集評価委員会設置要領一部改正		
2月1日	広島県立美術館美術品等収集評価委員会設置要領一部改正		
平成13年	広島県博物館協議会条例施行(平成13年 広島県条例第3号)広島県美術館協議会条例廃止		
3月26日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成12年 広島県教育委員会規則第5号)入館料等の減免		
29日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成12年 広島県教育委員会規則第5号)入館料等の減免		
7月10日	常盤豊館長(兼務)就任		

Ⅱ 展覧会

展覧会一覧

特別展

No.	展覧会名	会期
1	平山郁夫展 -文化財赤十字への道-	平成26年4月8日(火)～6月1日(日)
2	星星會展 -日本画の伝統と未来へ	平成26年4月17日(木)～5月25日(日)
3	トーベ・ヤンソン生誕100年記念 MOOMIN! ムーミン展	平成26年8月8日(金)～9月6日(土)
4	ポーラ美術館コレクション モネ、ルノワールからピカソまで	平成26年9月13日(土)～11月9日(日)
5	広島が生んだデザイン界の巨匠 榮久庵憲司の世界展	平成26年11月18日(火)～12月23日(火)
6	ジャパン・ビューティー -描かれた日本美人-	平成27年1月2日(金)～2月15日(日)
7	第61回日本伝統工芸展広島展	平成27年2月25日(水)～3月15日(日)

所蔵作品展

	展覧会名	会期
第1期	彫刻展示スペース	美術館のこども部屋 ver.2 アートな宿題
	第1室	
	第2室	
	第3室	
第2期	第4室	平成26年4月16日(水)～6月29日(日)
	第3室	
第3期	彫刻展示スペース	平成26年7月2日(水)～9月15日(月)
	第1室	
	第2室	
	第3室	
第4期	第4室	平成26年9月26日(金)～平成27年1月12日(月)
	彫刻展示スペース	
	第1室	
	第2室	
第4期	第3室	平成26年9月18日(木)～平成27年1月12日(月)
	第4室	
	彫刻展示スペース	
	第1室	
第4期	第2室	平成27年1月16日(金)～4月12日(日)
	第3室	
	第4室	
	彫刻展示スペース	
第4期	第1室	平成27年1月16日(金)～4月19日(日)
	第2室	
	第3室	
	第4室	

1 平山郁夫展 —文化財赤十字への道—

会 期／平成26(2014)年4月8日(火)～平成26年6月1日(日)

主 催／広島県立美術館、

公益財団法人 平山郁夫美術館、中国新聞社

特別協力／公益財団法人 平山郁夫シルクロード美術館

後 援／中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、

テレビ新広島、広島エフエム放送、

FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、

尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz

協 賛／広島県信用組合、JAバンク広島、リベラ、丸栄堂

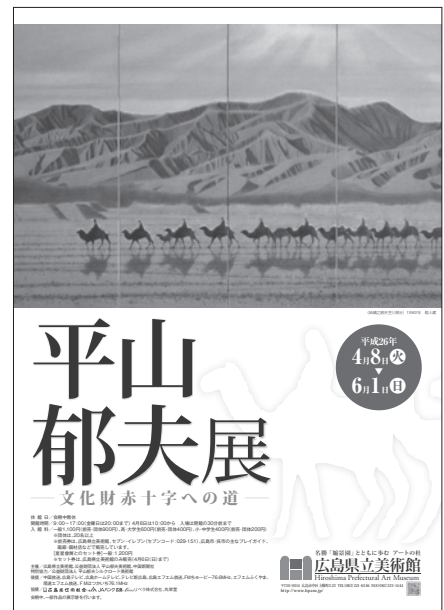
入 館 料／一 般 1,100(900)円

高・大学生 600(400)円

小・中学生 400(200)円

※()内は前売・20人以上の団体料金

入館者数／12,417人(55日間)



尾道市瀬戸田町出身の日本画家・平山郁夫(1930-2009)は、仏教やシルクロード、世界の文化遺産などをテーマに、東西文化の交流史を壮大なスケールで描いた作品で知られる。画家の没後5年を機に開催したこのたびの展覧会は、画業とともに、創作活動と一体的な関係を持つ文化財保護活動にも焦点を当てて展観。過酷な自然や人的破壊により、危機に瀕した世界各地の文化財を保存・継承するため、画家が提唱した「文化財赤十字」構想に基づいて行った数々の活動や、流出を危惧して平山夫妻が長年収集してきたシルクロードの美術品コレクションを紹介。自らの被爆体験から、平和への祈りを創作と文化財保護に込めた生涯を、本画や下絵、スケッチブック、関連資料等の全96件により辿った。

(本展事務担当：藤崎 綾)

関連事業

(1) 講演会

①日 時：4月13日(日) 13:30～

講 師：平山 助成(平山郁夫美術館館長)

演 題：「平山郁夫と文化財保護活動について」

参加者：63人

②【広島県立美術館友の会共催】

日 時：5月3日(土・祝) 14:00～

講 師：尾崎 正明(美術史家)

演 題：「平山郁夫の芸術」

参加者：71人

(2) ワークショップ(星星會展との共同企画)

①日 時：5月6日(火・振休) 13:30～

講 師：廣藤 良樹(日本画家、日本美術院院友)

内 容：「日本画の絵具で塗り絵をしよう！」

対 象：小・中学生(保護者同伴可)

参加者：計18人(保護者7人を含む)



②日 時：5月11日(日) 13:30～

講 師：廣藤 良樹(日本画家、日本美術院院友)

内 容：「日本画の画材でブックカバーをつくろう！」

対 象：一般(高校生以上)

参加者：16人

(3) ギャラリートーク

日 時：4月11日(金)、4月18日(金)、4月25日(金)、5月2日(金)、5月9日(金)、
5月16日(金) 各回11:00～

5月23日(金)、5月30日(金) 各回18:00～

参加者：計168人

(4) ウェブレポーター

日 時：4月11日(金) 17:00～

参加者：7人

(5) 日本酒イベント「アートと私のおいしい時間」(星星會展との共同企画)

日 時：4月25日(金) 17:00～20:00

場 所：3階企画展示室、2階展示室、1階ゾーナイタリア イン チェントロ

内 容：解説付き展覧会鑑賞と今田杜氏の日本酒解説

ゲスト：今田 美穂(今田酒造杜氏)

司 会：越智裕二郎(当館館長)

参加者：45人

(6) 出張講座

日 時：4月12日(土) 13:30～15:00

講 師：藤崎 綾(当館主任学芸員)

演 題：「平山郁夫展について」

場 所：五日市公民館

参加者：32人



主要関連番組

(1) テレビ

広島テレビ 内覧会(4月7日)

NHK 昼ニュース(4月8日)、日曜美術館「アートシーン」(4月27日)

テレビ新広島 昼ニュース(4月8日)

中国放送 昼ニュース(4月23日)

(2) ラジオ

エフエムふくやま『レディオBINGO』(4月4日)、広島エフエム『5 COLORS』(4月15日)、

FMはつかいち『昼はまるごと761 ラジオカー』(4月23日)

主要関連記事

(1) 新聞

中国新聞 記事：3月8日(社告)、3月19日(「平山郁夫の「文化財赤十字」構想 来月8日から広島県立美術館」)、
3月28日(事業ガイド「来月8日から広島県立美術館 平山郁夫 画業の軌跡 文化財保護活動にも
焦点」)、4月4日(特集「平和求め 続く旅路 平山郁夫展－文化財赤十字への道」)、4月9日
(「広島県立美術館 平山郁夫展開幕 文化財保護 情熱の色」)、4月22日(「平山助成氏が記念講演
若き日に活動の原点 伝統への敬意 平和育む力」)、5月13日(強い探究心 表現を模索 初期作充
実の「平山郁夫－文化財赤十字への道－展」)、5月22日(「平山郁夫展 歴史画の趣 美術史家の尾
崎さん 広島で講演」)

中国新聞 広告：4月20日(「ミュージアムで会いましょう」)

読売新聞 記事：4月11日(「平山郁夫に思いはせ 中区で企画展 画業や文化財保護の軌跡」)

(2) 雑誌等

『JAF Mate(日本自動車連盟)』(4月号)、『CHIC』(3月15日～6月14日)、『月刊ino』(4月号)、『ウエンディ』(4月号)、『Cus Cus』(4月発行)、『ウイंक』、『to you』(4月号)、『KURE: BAN』(4月号、5月号)、『arch(アートコレクションハウス発行会報誌)』(4月号)、『色絵馬(広島県立美術館友の会会報)』(67号・4月発行)、『広島県医師会速報』(4月5日号、5月5日号)、『7ぴあ』(5月号)、『ホットペッパー』(5月号)、『ひろしまリビング新聞』(4月5日号)、『Cue』(4月11日発行)、『Lamp』(5月号)、『聖教新聞』(4月5日)、『月刊タウン情報トライアングル』(5月号)、『新美術新聞』、『広響339回定期演奏会プログラム』(5月23日)

(3) ウェブ

『マイナビニュース』(2月25日)、『メールマガジン コンソーシアムニュース(文化遺産国際協力コンソーシアム)』(3月27日)、『広島県立美術館メールマガジン』(4月11日、4月30日、5月15日)、オンラインマガジン『ブンカッキーネットひろしま(ひろしま文化振興財団)』(4月15日)、『わくわくつくログ!(NPOひろしまインターネット美術館)』、『ミニナルアート(イーエム)』、『ひろしまナビゲーター(広島観光コンベンションビューロー)』、『イベントバンク』、『朝日新聞デジタル』、『@nifty旅行』、『excite』、『パナソニックおでかけ旅ガイド』、『ニコンすぽっとサーチ』、『まちこみZAQ(テクノロジーネットワークス)』、『net TAM(トヨタ・アート・マネジメント)』、『広島県医師会HP』、『インターネットミュージアム(丹青社)』、『He-art(アックスフィールド)』、『artscape(大日本印刷)』、『国際広報専用ポータルサイト『JAPAN PORTAL(共同通信社)』

カタログ内容

二人で歩んだ文化財保護活動 平山美知子

平山郁夫の藝術 -そこに貫流する壮大な流れ- 川口直宜

平山郁夫と文化財保護について 平山助成

図版

第一章 原風景

第二章 仏教伝来

第三章 シルクロード

第四章 文化財保護活動

東日本大震災と文化財レスキュー 村上博哉

第五章 日本の美、平和への祈り

年譜 別府一道編

出品目録



2 星星會展 – 日本画の伝統と未来へ

会 期／平成26(2014)年4月17日(木)～平成26年5月25日(日)

主 催／広島県立美術館、中国新聞社、星星會展実行委員会

後 援／中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、
テレビ新広島、広島エフエム放送、
FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、
尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz

入 館 料／一 般 800(600)円

高・大学生 500(300)円

中学生以下無料

※()内は前売・20人以上の団体料金

入館者数／7,777人(39日間)



星星會は、現代日本画壇を牽引する牧進(1936-)、下田義寛(1940-)、田渕俊夫(1941-)、竹内浩一(1941-)の四氏が、所属団体の枠を越えた自由な立場から創作活動に邁進するため結成されたグループです。この「星星會」という名は、日本画壇において比類なき足跡を残した高山辰雄の命名で、四氏が切磋琢磨しながら、画壇に光を放つ大きな星となるよう願いを込めて名付けられました。

本展では、2005年の第1回展から2013年の第5回展までの星星會展における出品作、全70点を一堂に展示するとともに、会の命名者である高山辰雄の代表作《牡丹 洛陽の朝》も参考出品し、現代日本画が到達した一つの最高峰の姿を提示しました。

(本展担当者：山下 寿水)

関連事業

(1) 記念講演会

日 時：4月27日(日) 13:30～

演 題：日本画の伝統と未来

講 師：田渕 俊夫(日本画家、日本美術院代表理事)

会 場：地階講堂

共 催：広島県立美術館友の会

聴講者：202名

(2) ワークショップ(平山郁夫展との共同企画)

①「日本画の画材で塗り絵をしよう！」

日 時：5月6日(火・祝) 13:30～

講 師：廣藤 良樹(日本画家、日本美術院院友)

会 場：3階ロビー

対 象：小・中学生(保護者同伴可)

参加者：11名

②「日本画の画材でブックカバーをつくろう！」

日 時：5月11日(日) 13:30～

講 師：廣藤 良樹(日本画家、日本美術院院友)



会 場：3階ロビー

対 象：一般(高校生以上)

参加者：16名

(3) ギャラリートーク

日 時：4月18日(金)、4月25日(金)、5月2日(金)、5月9日(金)、5月16日(金) 各日15:00~/18:00~

講 師：永井 明生(奥田元宋・小由女美術館学芸員) ※ 4月18日招聘

山下 寿水(当館学芸員)

会 場：2階展示室

参加者：80名

(4) ウェブ・レポーター募集

日 時：4月18日(金) 17:00~

会 場：2階展示室内

対 象：ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックにて情報発信をされている一般の方

参加者：4名

(5) 日本酒イベント「アートと私の美味しい時間」(平山郁夫展と共同企画)

日 時：4月25日(金) 17:00~20:00

会 場：3階企画展示室、2階展示室、1階ゾーナイタリア イン チェントロ

内 容：解説付き展覧会鑑賞と今田杜氏の日本酒解説

ゲスト：今田 美穂(今田酒造杜氏)

司 会：越智裕二郎(当館館長)

参加者：45名

主要関連番組等

○ラジオ番組

4/2 FMはつかいち「いきいきFactory」

4/24 FM東広島「和のこころ」

5/2 エフエムふくやま「備後☆ズームイン」

5/6 尾道エフエム放送「You Gotta Radio」

○テレビ番組

4/17 広島テレビ ニュース

4/22 NHK広島放送局 ニュース

○テレビスポット

4/28 20:54開始のニュース終了時~21:00内/広島テレビ

4/28 5:30~5:55『あさチャン!』枠内/RCC

4/29 15:50~16:50 ドラマ『悪夢ちゃん』再放送枠内/広島テレビ

4/29 6:00~7:00『あさチャン!』枠内/RCC

4/30 23:59~24:54 バラエティ『ナカイの窓』枠内/広島テレビ

4/30 19:00~21:54『水トク!』枠内/RCC

主要関連記事

○中国新聞

2/21 社告

4/2 ふれあい面 招待券プレゼント

4/11 特集紙面

4/17 開会式記事

4/18 開会式記事

4/25 事業ガイド

5/1 星星會展寄稿

5/20 ひと・とき(田淵俊夫)

○雑誌等掲載

『JAFMate』4月号／一般社団法人日本自動車連盟(JAF)

『ワイエムコンサルティング』4月号／ワイエムフィナンシャルグループ

『ウェンディ広島』4月号／ウェンディ広島編集部

『不動産ニュース』4月号／せとうち文化出版

『arch』4月号／アートコレクションハウス

『ウインク』5月号／株式会社アスコン

『TJ Hiroshima』5月号／産興株式会社

『春秋』5月号／春秋社

『ひろしまリビング新聞』4/12／広島リビング新聞社

『聖教新聞』4/5／聖教新聞社

『山陽新聞』4/17／山陽新聞社

『新美術新聞』4/21／美術年鑑社

『読売新聞』「お出かけインフォメーション」4/25／読売新聞社

○ウェブ掲載

『JAFウェブサイト』一般社団法人日本自動車連盟

『わくわくつくログ!』NPOひろしまインターネット美術館

『ミニナルアート』株式会社イーエム

『カロズネット』一般社団法人知識環境研究会

『ひろしまナビゲーター』公益財団法人広島観光コンベンションビューロー

『イベントバンク』株式会社イベントバンク

『朝日新聞デジタル』朝日新聞社

『@nifty旅行』ニフティ株式会社

『excite』エキサイト株式会社

『パナソニック おでかけ旅ガイド』Panasonic

『ニコン すぽっとサーチ』Nikon

『アパホテル』APA HOTELS&RESORTS

『まちこみZAQ』株式会社テクノロジーネットワークス

『net TAM』トヨタ・アート・マネージメント

『イベント情報(イベスタ)』株式会社飛鳥プロモーション

『広島県医師会HP』広島県医師会

『ブンカッキーネット』公益財団法人ひろしま文化振興財団

『Internet Museum』(株)丹青社

『He-art』株式会社アックスフィールド

『artscape』大日本印刷株式会社

『JAPAN PORTAL』共同通信社

○ウェブ掲載(当館メールマガジン)

2/20 前売情報、3/11 ウェブ・レポーター告知!、4/18 みどころ[1]、4/30 ウェブ・レポーター、
5/7 みどころ[2]

○ウェブ掲載(当館フェイスブック)

1/31 印刷物校正(493人)、3/3 セット券告知(232人)、3/9 ワークショップ告知(237人)、
4/17 開会式(372人)、4/17 ウェブ・レポーター告知(255人)、4/18 新聞掲載、テレビ放送(246人)、
4/21 記念講演会告知(175人)、4/24 GWイベント案内(228人)、4/27 アートと私の美味しい時間(305人)、
4/30 広島市立大学附属図書館(186人)

カタログ内容

ごあいさつ

「日本画の未来を見据えて」(永井明生)

図版)下田義寛

竹内浩一

田淵俊夫

牧進

特別座談会「日本画は伝統的であっても、今に生きねばならない。」

作家略歴

作品一覧



展覧会巡回先

北海道立近代美術館 平成25年9月6日～9月23日

高島屋 日本橋店 平成26年1月2日～1月13日

松坂屋美術館 平成26年2月8日～3月2日

京都文化博物館 平成26年3月11日～3月23日

3 トーベ・ヤンソン生誕100年記念 MOOMIN! ムーミン展

- 会 期／平成26年8月8日(金)～平成26年9月6日(土)
- 主 催／広島県立美術館、広島ホームテレビ、
イズミテクノ、東映、中国新聞社
- 後 援／フィンランド大使館、朝日新聞社広島総局、中国放送、
広島テレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、
FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、
尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz
- 協 賛／広島県信用組合、JAバンク広島、今村塾
- 協 力／タンペレ市立美術館・ムーミン谷博物館、
フィンエアー、フィンエアーカーゴ、
タトル・モリ エージェンシー、講談社、谷口千代
- 企画制作／東映株式会社
- 入 館 料／一 般 1,200円(1,000円)
中・高・大学生 700円(500円)
一般ペア・チケット 1,800円(前売のみ)
※()内は前売・団体(20名以上)
小学生以下無料
- 入館者数／57,649人(30日間)



2014年はムーミン童話の原作者トーベ・ヤンソンの生誕100年にあたる。作者は1914年8月9日、フィンランドの首都ヘルシンキでスウェーデン語系フィンランド人の家に、グラフィックアーティストの母と彫刻家の父という芸術一家に3人兄弟の長女として生まれた。天衣無縫なムーミンと家族、個性的な登場人物たちが織り成す物語には、ヤンソンの父母や周辺の人物、動物たちの姿が投影されるとともに、背景となるムーミン谷で起きる自然界の出来事との共生が表現されている。本展ではフィンランドのタンペレ市立美術館・ムーミン谷博物館が所蔵するムーミンの原画、習作、スケッチなど約200点(うち日本初公開150点)を通して、奥深いムーミンの世界の魅力を紹介した。

(本展担当者：福田 浩子)

関連事業

- (1) 記念講演会「ムーミン童話におけるトーベ・ヤンソンの心」(広島県立美術館友の会共催)

日 時：8月9日(土) 13:30～

講 師：渡部 翠(フィンランド語・スウェーデン語文学研究翻訳)

冒頭のSä kasvoit neito kaunoinen演奏協力：上野 真樹(ヴァイオリン)

場 所：地下1階講堂

聴講者：118人

- (2) ギャラリートーク

日 時：8月15日、22日、29日、9月5日(金) 11:00～

8月8日(金)、9月5日(金) 17:00～

講 師：福田 浩子(当館主任学芸員)

場 所：3階企画展示室、8月22日以降は3階ロビー

参加者：計276人



- (3) 親子のための読み語り「ムーミンの絵本から」
 日 時：8月22日(金)、29日(金) 各13:30~14:00
 出 演：渡辺 美佳・五十嵐 愛(広島ホームテレビアナウンサー)
 場 所：3階ロビー
 参加者：計122人
 絵 本：『ムーミンのたからもの』、『さびしがりやのクニット』
- (4) おとなのための「ムーミン童話」
 日 時：8月22日(金)、29日(金) 各18:30~19:00
 出 演：申山 真理・五十嵐 愛(広島ホームテレビアナウンサー)
 場 所：3階ロビー
 参加者：計106人
 書 籍：『ムーミン谷の彗星』第3章
- (5) ワークショップ「わたしだけのムーミンを作ろう！」
 日 時：8月17日(土) 13:00~
 講 師：谷口 千代(人形作家)
 場 所：地下1階講堂
 参加者：20人
- (6) ワークショップ「みてみてムーミン！」
 日 時：8月20日(水) 13:30~
 講 師：松尾真由美(広島市立大学芸術学部講師)
 場 所：地下1階講堂
 参加者：16人
- (7) ウェブレポーター大募集
 日 時：8月8日(金) 17:00~18:30
 場 所：3階ロビー・展示室
 参加者：32人
- (8) ロビーコンサート「ムーミン！ 観てみん？ 聴いてみん？ ムーミンが大好きな上野真樹・吉野妙と一緒に祝う
 トーベの誕生日！」
 日 時：8月9日(土) 12:00~
 出演者：上野 真樹(ヴァイオリン)、吉野 妙(ピアノ)
 場 所：1階ロビー
 参加者：243人
- (9) 出張講座「ムーミンママのお料理に挑戦しよう！」ムーミンママのパンケーキ篇
 実施日と場所：7月13日千代田中央公民館、7月30日熊野町民会館、8月12日竹原市大井公民館、
 8月18日広島市早稲田公民館
 講 師：福田 浩子(当館主任学芸員)
 参加者：計92人
- (10) 出張講座「ムーミンママのお料理に挑戦しよう！」ヤンソンさんの誘惑篇
 実施日と場所：7月31日広島市高陽公民館、8月11日広島市船越公民館
 講 師：福田 浩子(当館主任学芸員)
 参加者：計35人
- (11) 緊急イベント ムーミンクイズ大会
 日 時：9月5日(金) 17:30~
 司 会：福田 浩子(広島県立美術館主任学芸員)
 場 所：3階ロビー
 参加者：63人
 問 題：18問(3択)
- (12) ムーミン関連図書資料展示
 期 間：7月15日(火)~8月31日(日)
 場 所：広島県立図書館1階フロア



- (13) ムーミン関連図書資料展示
 展示期間：7月～8月
 場 所：広島市こども図書館1階閲覧室
- (14) ムーミン展みどころ解説
 展示期間：8月13・14日
 場 所：広島市こども図書館2階おはなしのへや
 講 師：角田 新(広島県立美術館主任学芸員)
- (15) ムーミンの作者トーベ・ヤンソンさんにバースデー・カードを贈ろう！
 募 集：7月31日(木)～8月8日(金)当館必着
 応募者：18名
- (16) ムーミンたちがやってくる！
 日 時：8月23日(土)、24日(日) 10:00～、13:00～、15:00～(各回30分)
 場 所：1階ロビーなど

主要関連広報

- 広島ホームテレビ 8/23 驚き桃の木ナオキの樹、ぼるぼるエンタ、ぼるぼるエンタDX、ぼるぼるエンタH♪
 LINE、Jステーションニュース開会式、1万人セレモニー
- 中国新聞 6月7日 社告、8月1日 事業ガイド、4日 特集、6日 招待券プレゼント記事、7日 開幕直前記事、
 8日 夕刊開幕記事、9日 朝刊開会式記事、14日 1万人セレモニー記事、
 23日 学芸員寄稿「ムーミン展 原画の魅力」、フェニックス7-8月号、紙面広告
- その他ラジオ 7/29 展覧会紹介(FMふくやま)、8/5 展覧会紹介(FM東広島)、
 8/12 展覧会紹介(FMふくやま)、8/13 展覧会紹介(中国放送ヒビカン)、
 8/14 展覧会紹介(FMはつかいち)、8/19 展覧会紹介(FMおのみち)
- その他テレビ 8/8 ニュース(中国放送)、8/27・28・30・31 ケーブルデイリートピックス(ひろしまケーブルテレビ)
- その他新聞 5月12日 文化の扉ムーミン記事(朝日新聞)、8月9日 開幕記事(朝日新聞)、
 8月21日 別刷特集「ビジネス朝日」(朝日新聞)、8月16日 展覧会紹介記事(読売新聞)、
 8月17日 展覧会紹介記事(毎日新聞)
- その他掲載 『広島県立美術館友の会会報色絵馬』No68(広島県立美術館友の会)、『広島交響楽団第340回定期演奏会
 パンフレット』(広島交響楽団)、『まいんど』6月(日本フルハップ)、『公立学校共済』6月号(公立学
 校共済組合広島支部)、『福利ひろしま』6月、『JAF PLUS』8・9月号(広島版、法人版)(一般社団法人
 日本自動車連盟広島支部)、『CHIC』16号(トマトコーポレーション)、『広島広域都市圏情報紙りー
 ぶら(夏季号)』(広島市経済観光局観光政策部)、『GetHiroshima』夏号、『mumu』7月号(CusCus)、
 『Grandeひろしま』6月号(グリーンブリーズ)、『くれえばん』7月号(くれえばん)、『イズミ社内報』
 7月1日(イズミテクノ)、『リビングひろしま』8月23日号、『ウエンディ広島』7月号、9月号(ウエ
 ンディ広島編集部)、『クルールひろしま版』7月号、8月号(株式会社クルール・プロジェクト)、
 『mumu』7月15日号、『ザ・ウイークリー・プレスネット』7月19日号(株式会社プレスネット)、『arch』
 8月1日(アートコレクションハウス)、『広島県医師会会報』8月5日(広島県医師会)、『Wink』7月
 号、8月号(株式会社アスコン)、『月刊タウン情報トライアングル』7月28日(プランニングルーム
 トライアングル)、『美術の窓』7月19日(生活の友社)、『Cue』7月11日(メディア中国)、『縮景園かわ
 ら版』7月4日(広島県縮景園)、『ホットベッパ』8月号(リクルートホールディングス)、『不動産
 ニュース』7月号、8月10日号(有限会社せとうち文化出版)、『タイムスケジュール』7月号(広島ホ
 ムテレビ)、『7びあ』8月号(株式会社セブンドリーム・ドットコム)、『経済春秋』7月25日(春秋社)、
 『ワーキン広島』(株式会社廣済堂)、『The Life of 八丁堀』(三菱地所レジデンス)
- インターネット Kodomoe(白泉社)、H.I.Sクーポン株式会社(エイチ・アイ・エス)、わくわくつくログ(NPOひろしま
 インターネット美術館)、ミニナルアート(株式会社イーエム)、地域情報「ようこそ！JAF広島」ペ
 ージバナー(一般社団法人日本自動車連盟広島支部)、Art Annual online(株式会社美術年鑑社)、JAFホ
 ムページ(一般社団法人日本自動車連盟広島支部)、まいぶれ広島、Facebook「まいぶれ広島」(株
 会社システムフレンド)、中国新聞 a(中国新聞社)、ミニナルアート(株式会社イーエム)、わくわく

つくログ! (NPOひろしまインターネット美術館)、ひろしまナビゲーター(公益財団法人広島観光コンベンションビューロー)、広島ニュース食ベタインジャー(広島ホームテレビ)、ブンカッキーネットひろしま(公益財団法人ひろしま文化振興財団)、Yahoo! JAPAN(共同組合インフォメーションテクノロジー関西)、じゃらんnet(共同組合インフォメーションテクノロジー関西)、JR西日本(共同組合インフォメーションテクノロジー関西)、当館公式ホームページ、当館公式Facebook、当館公式ツイッターなど

カタログ目次

メッセージ タンペレ市立美術館館長 タイナ・ミュッリユハルユ
 ムーミン谷をさがして 森下圭子
 トーベ・ヤンソン
 ムーミン谷の仲間たちと物語
 I ムーミン谷の四季
 II ムーミン谷の風景
 III ふしぎな生きものたち
 IV 自然のちから
 ムーミン谷のジオラマ
 トーベ・ヤンソン年譜
 作品リスト



巡回先

2014年4月16日～5月6日	東京都	松屋銀座
2014年5月10日～6月8日	盛岡市	Nakak
2014年6月14日～7月13日	米子市	米子市美術館
2014年7月23日～8月4日	札幌市	丸井今井札幌本店
2014年9月13日～10月26日	米沢市	米沢市上杉博物館
2014年12月12日～12月25日	大阪市	阿倍野ハルカス近鉄本店
2015年1月2日～2月15日	宮崎市	みやざきアートセンター
2015年2月19日～3月15日	松山市	愛媛県美術館
2015年3月20日～4月19日	岡山市	岡山県立美術館
2015年4月25日～5月17日	名古屋市	松坂屋美術館



4 ポーラ美術館コレクション モネ、ルノワールからピカソまで Masterpieces of the Pola Museum of Art From Monet and Renoir to Picasso

会 期／平成26(2014)年9月13日(土)～11月9日(日)
会期中無休
主 催／広島県立美術館、中国新聞社、中国放送、イズミテクノ、
公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館
後 援／広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz

特別協賛／メンテックワールド

協 賛／広島県信用組合、リベラ株式会社

企画制作／TBSテレビ

企画協力／テモアン

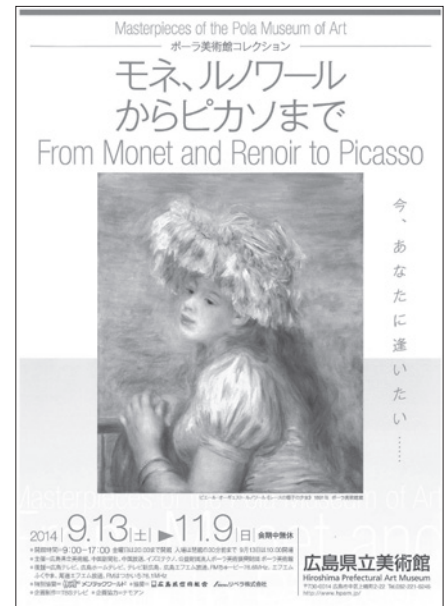
入 館 料／一 般： 1,400円(1,200円)

高・大学生： 800円(600円)

小・中学生： 500円(300円)

※()内は前売り・20人以上の団体料金

入館者数／57,761人(58日間)



本展では、2002年に箱根仙石原に開館したポーラ美術館が所蔵する、モネ、ルノワールをはじめとする印象派から、セザンヌ、ファン・ゴッホ、ゴーガン、ピサロなどのポスト印象派、さらにルドン、ローランサン、マティス、ブラック、ピカソなど20世紀の巨匠に至る絵画72点を紹介した。

19世紀中頃から20世紀の西欧絵画史を辿るわかりやすい構成であったため、概して好評を得ることができた。また、広報面等では8月に起こった土砂災害による影響を受けた。(本展担当者：石川 哲子)

関連事業

(1) ①講演会(広島県立美術館友の会共催)

9月27日(土) 13:30-15:00

「モネからピカソ 色彩とかたちの展開」

講 師：岩崎余帆子(ポーラ美術館学芸課長)

会 場：地下講堂 聴講無料

参加者：180名

②講演会(広島県立美術館友の会共催)

11月2日(日) 13:30-15:00

「彫刻と印象主義」

講 師：カトリーヌ・シュヴィヨ(フランス国立ロダン美術館館長)

会 場：地下講堂 聴講無料

参加者：150名

(2) 美術講座

10月18日(土) 13:30-14:30

「近代ヨーロッパ絵画に見る日本」

講 師：石川 哲子(当館主任学芸員)



会 場：地下講堂 聴講無料

参加者：75名

(3) ギャラリートーク

講 師：石川哲子(当館主任学芸員)

日 時：9月19日(金)、9月26日(金)、10月3日(金)、10月10日(金)、10月24日(金) 各回11:00～
10月17日(金)、10月31日(金)、11月7日(金) 各回18:00～

参加者：計455名

(4) ワークショップ

10月11日(土) 13:30-15:00

「色と線-光にすかして」

講 師：松尾真由美(広島市立大学芸術学部講師)

会 場：地下講堂

対 象：小学校高学年以上～ 参加無料

定 員：20名(事前申込み要)

協 力：泉美術館

参加者：21名



(5) 記念オペラコンサート

10月12日(日) 14:00-15:00

「新たなる出逢い-画家・詩人・作曲家、そして作品」

出 演：大城 薫(ソプラノ)、柳 清美(ソプラノ)、
藤田卓也(テノール)、枝川泰子(ピアノ)

会 場：1Fロビー 申込不要 無料

協 力：ひろしまオペラ・音楽推進委員会

参加者：427名



(6) ウェブレポーター大募集

9月19日(金) 17:00-19:30

対 象：ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックなどで本展のPRにご協力いただける一般の方
特 典：実施当日に限り、本展へ招待

参加者：21名

(7) 映画

「セラフィーヌの庭」

11月3日(月・祝) 13:00-、15:30-

会 場：地下講堂

主 催：広島映画サークル協議会

参加者：176名



主要関連番組

(1) テレビ

中国放送 昼・タニニュース(開会式) 9月13日

中国放送 「dポンなび」 9月13日 ※再放送9月14日

中国放送 データ放送「タウンdポン」 9月13日～19日

中国放送 「エンタがR」(見どころ、開梱取材、開会式) 9月22日・29日

広島テレビ 「テレビ派3部」 10月3日

NHK広島放送局 昼・夕方ニュース 10月18日

中国放送 昼・タニニュース(3万人) 10月21日

中国放送 昼ニュース(5万人) 11月7日

中国放送 朝ニュース(5万人) 11月8日

(2) ラジオ

中国放送 「おいくら萬円モーニング」(前売券販売中) 8月18日・20日・22日

中国放送 「おいくら萬円モーニング」(展覧会予告) 9月8日～13日

中国放送 RCCラジオカー 「街頭ステーション 走れ! ラジオカー」(生中継) 9月13日

FM尾道 「ユウガッタ・レディオ 水曜日」9月24日
 中国放送 「おいくら萬円イブニング」9月28日
 FMふくやま 「おはようときめきタイム」9月30日
 中国放送 「おいくら萬円スーパー」(好評開催中)10月12日
 中国放送 「おいくら萬円スーパー」(よしもとタレント出演「ポーラ展を観て」)10月19日
 中国放送 「おはようラジオ」(3万人セレモニー)10月22日
 中国放送 「おいくら萬円スーパー」(映画「セラフィヌの庭」)10月26日

主要関連記事

(1) 新聞

中国新聞 社告 6月30日
 中国新聞 「ちゅーピーくらぶスマイル懸賞」7月16日
 中国新聞 「事業ガイドポーラ展&予習セット」8月15日
 中国新聞 特集面 9月8日
 中国新聞 「開栖」9月12日
 中国新聞 「開幕」(夕刊)9月13日
 中国新聞 「開幕」9月14日
 中国新聞 「ポーラ美術館コレクション展 ちゅーピー美術講座参加募集」10月1日
 中国新聞 作品解説①「クロード・モネ《散歩》」9月30日
 中国新聞 作品解説②「ピエール・オーギュスト・ルノワール《レースの帽子の少女》」10月1日
 中国新聞 作品解説③「ポール・セザンヌ《4人の水浴の女たち》」10月3日
 中国新聞 作品解説④「アンリ・マチス《襟巻の女》」10月7日
 中国新聞 作品解説⑤「マリー・ローランサン《ヴァランティヌ・テシエの肖像》」10月9日
 毎日新聞備後版 「毎日美術館(寄稿「ポーラ美術館コレクション モネ、ルノワールからピカソまで」)10月9日
 中国新聞 「イベントナビ」10月10日
 中国新聞 作品解説⑥「パブロ・ピカソ《シルヴェット・ダヴィット》」10月11日
 中国新聞 こども新聞 「ワークショップ」10月19日
 中国新聞 「3万人」10月22日
 中国新聞 寄稿「「ポーラ美術館コレクション モネ、ルノワールからピカソまで」に寄せて」(朝刊文化面)10月23日
 中国新聞 作品解説⑦「クロード・モネ《睡蓮》」10月29日
 中国新聞 作品解説⑧「ピエール・オーギュスト・ルノワール《アネモネ》」10月30日
 中国新聞 作品解説⑨「パブロ・ピカソ《花売り》」10月31日
 中国新聞 「彫刻 印象主義と対比」(講演会)11月3日
 中国新聞 「5万人」11月8日

(2) 雑誌、フリーペーパー等

『美術の窓』「2014年必見の展覧会ベスト200」、生活の友社 チケットプレゼント/『公立学校共済』6月号、公立学校共済組合広島支部/「宇部市役所ツアー」、宇部市役所・新川営業所 /フリーペーパー『Lamp(ランプ)』8月1日~10日、株式会社プレスシード/会報誌『JAF PLUS』10月号、JAF広島支部/安芸高田市民向けのセミナー「美術館めぐりバスツアー」、安芸高田市教育委員会/季刊美術誌『美術屋・百兵衛』No.31(2014年秋号)、株式会社麗人社/「The Life of 八丁堀」、三菱地所レジデンス/フリーペーパー『7ぴあ』9月号、株式会社セブンドリーム・ドットコム/フリーペーパー『月刊ino』9月号、8月19日~9月15日、株式会社KG情報 チケットプレゼント/タウン情報誌『TJ Hiroshima』9月号、産興株式会社/タブロイド誌『ウェンディ広島』9月号、ウェンディ広島編集部 チケットプレゼント/フリーペーパー『to-you』9月号、(財)広島市未来都市創造財団 チケットプレゼント/タウン情報誌『Wink』9月号、株式会社アスコン/タウン情報誌『くれえばん』9月号/タウン情報誌『月刊くれえばん』 チケットプレゼント/読売旅行ツアーパンフレット、読売旅行松江営業所/雑誌『旬遊』秋号、グリーンブリーズ/雑誌『経済春秋』9月号「美術館あれこれ」、(有)春秋社/フリーペーパー『情報紙りーぶら』秋季号、広島市企画総務局企画調整課/フリーペーパー『mumu』9月号、CusCus チケットプレゼント/雑誌『不動産ニュース』9月号、有限会社せとうち文化出版 チケットプレゼント/フリーペーパー『CHIC』9/18号、(株)マトコーポレーション チケットプレゼント/フリーペーパー『ホットペッパー』10月号、リクルート/タブロイド誌『Cue』9/12号、メディア中国 チケットプレゼント/フリーペーパー『7ぴあ』10月号、株式会社 セブンドリーム・ドットコム/フリーペーパー『GetHiroshima』9月号、GetHiroshima/『色絵馬』No.69、広島県立美術館友の会/中国新聞アド・クラブ会報誌/フェニックス10・11月合併号、中国新聞社

(3) Web

「TBSホームページ」、TBS/「わくわくつくログ!」、NPOひろしまインターネット美術館 チケットプレゼント/「ミニナルアート」、株式会社イーエム チケットプレゼント/「カロズネット」、一般社団法人知識環境研究会/「ウォーカープラス広島」、写真工房アンセル/「H.I.Sクーポン」9/13~11/9、株式会社エイチ・アイ・エス/「トクタククーポン」、株式会社トップツアー/Yahoo! JAPAN、共同組合インフォメーションテクノロジー関西/「じゃらんnet」、共同組合インフォメーションテクノロジー関西/JR西日本、共同組合インフォメーションテクノロジー関西/JAFホームページ、一般社団法人日本自動車連盟広島支部/「ジャパントائمズ」、ジャパントائمズ/イベント情報(イベスタ)、株式会社飛鳥プロモーション/イベントぷらぷら/「いこーよ」、アクトインディ株式会社/「こどものための博物館情報」、skao.net/kids、Operation person information/「artscape」、大日本印刷株式会社/「ARTNEWS 美術館探訪」、オフィス サーティーズ

広告

(1) テレビ(スポット) 中国放送

「開催前」(15秒) 7/1~56本、「開催中」(15秒) 84本、「協賛」8/1~60本以上、「その他」56本

(2) 新聞広告 中国新聞

(半5段12回)7月5日・7日・9日・14日・30日、8月3日・23日・25日、9月1日・24日・28日・29日

(全3段8回)7月20日・29日、8月19日、9月21日・27日、10月6日・21日・24日

(半3段16回)7月25日・28日・30日、8月3日・5日・8日・20日、9月2日・8日・19日・20日・25日、
10月13日・17日、11月3日・5日

(カラー全5段)9月12日、10月22日、11月1日・7日

(カラー全3段)10月27日

(半5段夕刊7回)7月12日・17日・22日、8月1日、9月10日、10月24日

(半3段夕刊)8月16日

(全3段・夕刊9回)7月30日、8月4日・11日・22日、9月3日・8日、10月6日・28日・31日

「開幕前予習」(3回シリーズ)8月27日、9月3日・10日

(突出し広告、テレビ面)8月9日・13日、9月8日・13日、10月25日・28日、11月8日

(広告特集、来場者の声)(特集1面)10月4日

「ミュージアムで会いましょう」10月25日

図録内容

ごあいさつ

Foreword

目次

ポーラ美術館の西洋絵画コレクションとモネ、ピカソ 岩崎余帆子

「旅への誘い」と楽園の持続 木島俊介

I 光の中へー印象派の革新と影響

II 躍動する色彩 ポスト印象派からフォーヴへ

III 造形の冒険 ピカソとブラック

作家・作品解説

印象派のたそがれーモネ、シスレーの連作ー 岩永亜季

画家たちが生きた時代ー風景・女性像からー 平田智美

関連年表

関連地図



展覧会巡回先

佐賀県立美術館 2014年4月22日~6月22日

宮崎県立美術館 2014年7月5日~8月31日

5 広島が生んだデザイン界の巨匠 榮久庵憲司の世界展

- 会 期／平成26(2014)年11月18日(火)～12月23日(火・祝)
- 会 場／広島県立美術館 3階企画展示室
- 主 催／広島県立美術館、テレビ新広島、GKデザイン機構、
中国新聞社
- 後 援／中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7
- 協 賛／広島県信用組合、オーエイプロト、イズミテクノ、
サンポール、広島銀行、モデルクラフト、ワコーグループ、
アンフィニ広島、JAバンク広島、セムコ・ホールディングス、
セムコ・テクノ、大昌工芸、田中電機工業、広島駅弁当、
広島県歯科医師会、広島市信用組合、広島デコラ、
もみじ銀行
- 協 力／広島高速交通、広島電鉄、オオアサ電子、ヤマハ発動機、
静岡文化芸術大学(磯村研究室)、岩崎靖彦(仏師)、筒井義昭、デザイン誌「AXIS」
- 助 成／エネルギー文化・スポーツ財団
- 特別協力／マツダ株式会社、広島市立大学芸術学部
- 入 館 料／一 般：1,200円(1,000円)
高・大学生： 900円(700円)
中学生以下無料
※()内は前売・団体(20名以上)
- 入館者数／15,253人(36日間)



榮久庵憲司は、インダストリアル・デザイン(工業デザイン)のパイオニア。その作品は幅広く、卓上醤油瓶から新幹線まで多岐に亘る。また、イタリアから、デザイン界のノーベル賞ともいわれるコンパッソ・ドーロ(黄金のコンパス賞)国際功労賞を授与され、国際的なデザイン振興の面でも高い評価を受けた。その彼の活動の原点は被爆直後の広島である。焼け野原に立った彼は、美しい道具を沢山の人に届けるという目標を見つけたという。この展覧会では、「アート」と「ものづくり」、二つの垣根を取り払い、戦後日本のデザイン界の創建と国際化に尽力してきた榮久庵憲司の仕事を、デザインの作品はもとより、彼の思い描く理想世界を具現化したインスタレーションなども交え、多角的に紹介した。

(本展事務担当：角田 新)

関連展示

- (1) マツダ株式会社のカーデザインのオブジェ等を展示し、ものづくりの現場における美の探求について紹介。
- (2) 広島市立大学開学20周年事業の連携展示を館内で実施し、デザインの様々なかたちを提示。



関連事業

- (1) 講演会(広島県立美術館友の会共催)
日 時：11月23日(日・祝) 13：30－15：30
会 場：地下講堂 聴講無料
第1部
演 題：「わたしと広島」
講 師：榮久庵憲司(GKデザイングループ 会長)
第2部
対談「明日のデザインと迎賓の心」
講 師：榮久庵憲司
上田 宗岡(茶道上田宗箇流家元)
参加者：400人
- (2) トークサロン
日 時：11月30日(日) 13：30－15：30(受付開始13：00)
演 題：「広島から世界に発信するデザイン」
講 師：前田 育男(マツダ株式会社執行役員デザイン本部長)
山田 晃三(GKデザイン機構代表取締役社長)
会 場：地下講堂 聴講無料
参加者：282人
- (3) ギャラリートーク(担当学芸員)
日 時：11月21日(金)、11月28日(金)、12月5日(金)、12月12日(金)、12月19日(金) 11：00－
11月21日(金)、12月5日(金)、12月19日(金) 18：00－
会 場：3階企画展示室
参加者：計225人
- (4) ウェブレポーター大募集
日 時：11月21日(金) 17：00－18：30
受付場所：3階ロビー
参加者：14人
- (5) いちだい知のトライアスロン
日 時：12月13日(土) 14：00－
演 題：「榮久庵憲司の世界」
講 師：及川 久男(広島市立大学教授)
会 場：地下講堂
参加者：74人



主要関連番組

- (1) テレビ
テレビ新広島 昼ニュース(11月18日)
テレビ新広島 「満点ママ」(11月25日)
広島テレビ 「テレビ派」(11月25日)
NHK 中国地方のニュース(11月23日)



NHK 広島県内のニュース(11月23日)
NHK総合 ひるまえ直送便(11月28日)
テレビ新広島 「スーパーニュース」(12月5日)
NHK 広島県内のニュース(12月9日)

(2) ラジオ

FM東広島(11月13日)、FMはつかいち『昼はまるごと761』(11月18日)
エフエムふくやま『レディオBINGO』(11月20日)、FM尾道(11月26日)、
RCC「おひるーな」(12月2日)



主要関連記事

(1) 新聞

中国新聞 記事：9月19日(社告)、11月14日(「広島が生んだデザイン界の巨匠 榮久庵憲司の世界展 カラー特集紙面」)、11月21日(事業ガイド)

読売新聞 記事：県民情報「インフォメーション」11月12日

産経新聞 記事：マツダ展示 11月28日、11/23の講演会記事 11月30日

(2) 雑誌等

雑誌

Grandeひろしま

TJ Hiroshima11月号 / 10/25発行

Wink/11月号

ザ・マイカー12月号 / 10/20

不動産ニュース11月号

西Navi12月号/11月下旬

くれえばん11月号

書道界12月号

経済レポート11月6日、11月13日

フリーペーパー

ホットペッパー11月号 / 10/31 / リクルート

to-you/11月号/財広島市未来都市創造財団 ※チケットプレゼント

Busport10/25号 / 10/25 / ㈱オフィス ブラウン エイ ※チケットプレゼント

mumu/11月下旬/CusCus

タブロイド誌

ウェンディ広島11月号/11月/ウェンディ広島編集部

Cue11/14号 / 11/14 / メディア中国 ※チケットプレゼント

広島リビング新聞 / 11/22 / 広島リビング新聞社

会報誌

広島県医師会速報11月15日号 / 11/15 / 広島県医師会 ※7200部発行

arch/10月号/アートコレクションハウス

広島県医師会速報11月25日号 / 11/25 / 広島県医師会 ※7200部発行

arch12・1月号/アートコレクションハウス

その他

第343回広響定期演奏会パンフレット / 10/10 / 公益社団法人 広島交響楽協会

(データ放送)/dポン / 11/ 5 / 中国放送 ※チケットプレゼント

(3) ウェブ

広島市の観光情報サイト「ひろしまナビゲーター」/公益財団法人 広島観光コンベンションビューロー

わくわくつくログ! / NPOひろしまインターネット美術館 ※チケットプレゼント

ミニナルアート / 株式会社イーエム ※チケットプレゼント



おでかけ情報サイト Walkerplus / 株式会社 KADOKAWA
 Yahoo! JAPAN / 共同組合 インフォメーションテクノロジー 関西
 じゃらんnet / 共同組合 インフォメーションテクノロジー 関西
 JR西日本 / 共同組合 インフォメーションテクノロジー 関西
 サライ.jp / 11月 / 小学館月刊「サライ」
 日本サインデザイン協会 中国地区 ブログ / (公社) 日本サインデザイン協会 中国地区
 ARTNEWS 美術館探訪 / オフィス サーティーズ
 西Navi / 11月下旬 / (株) 京阪神エルマガジン社
 マツダ公式ブログ / 11/ 4 / マツダ株式会社
 マツダ公式フェイスブック / 11/ 4 / マツダ株式会社
 net TAM / トヨタ・アート・マネージメント
 イベント情報(イベスタ) / 株式会社 飛鳥プロモーション
 イベントぶらぶら /
 いこーよ / アクティンディ株式会社
 こどものための博物館情報 / skao.net / kids / Operation person information
 あそぼう.com / 株式会社 アーティス
 アートニュースリリース / ホルベイン画材株式会社
 ことさが / 株式会社 飛鳥プロモーション
 全国イベントガイド / 全国イベントガイド協会
 イベントナビ / 一般社団法人 イベントナビ
 イベントバンク / 株式会社 イベントバンク
 artscape(イベント投稿) / 大日本印刷株式会社
 He-art / 株式会社 アクスフィールド
 e-まちタウン / e-まちタウン株式会社
 まいぶれ広島 / 株式会社 システムフレンド
 トレたび / 交通新聞社 ※チケットプレゼント
 Yahoo! ニュース / 11/17 / Yahoo Japan Corporation ※みんなの経済新聞ネットワーク、広島経済新聞提供
 エキサイトコネタ / エキサイトニュース
 Yahoo! ニュース / 11/19 / Yahoo Japan Corporation ※産経新聞提供
 ポータルサイト「JDN」 / Japan Design Net
 Yahoo! ニュース / 11/27 / Yahoo Japan Corporation ※みんなの経済新聞ネットワーク提供(マツダ展示)
 会員限定HPキャンペーン / 株式会社 広島銀行
 Yahoo! ニュース / 11/30 / Yahoo Japan Corporation ※産経新聞提供(11/23講演会記事)

カタログ内容

ごあいさつ

原爆とデザイン 榮久庵憲司

思い出は美しくなければなりません 上田宗冨

図版

序章 榮久庵憲司とは

第一章 茶碗から都市まで

第二章 創造工房

第三章 美の彼岸へ

終章 愛郷広島

榮久庵憲司の哲学とGKデザイングループの使命 山田晃三

出品作品リスト

6 知られざるプライベートコレクション ジャパン・ビューティー —描かれた日本美人—

会 期／平成27(2015)年1月2日(金)～平成27年2月15日(日)
主 催／広島県立美術館、広島テレビ
後 援／中国放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7
協 賛／広島県信用組合、イズミテクノ、JAバンク広島
企画協力／アートシステム
入 館 料／一 般 1,200(1,000)円
高・大学生 700(500)円
小・中学生 400(200)円
※()内は前売・20人以上の団体料金
入館者数／12,458人(45日間)



これまでまとまった形で紹介されることのなかったプライベートコレクション「朝比奈文庫」より、明治・大正期から昭和初期にかけて絶大な人気を博した「美人画」を紹介した。展示内容は、日本の四季、風俗、歴史、文学をテーマとし、女性表現の豊かな展開とその姿に託された理想美の在り方を探ろうとするもの。「美人画」の三大巨匠と謳われる上村松園、鏗木清方、伊東深水をはじめ、竹久夢二、中村大三郎、北野恒富、寺島紫明や、大正期に花開いたデカダンスを代表する岡本神草、甲斐庄楠音などの妖艶優美な名作86点を展観した。

(本展担当者：隅川 明宏)

主要関連事業

- (1) 記念講演会「近代美人画の誕生と移り変わり」
日 時：1月12日(月・祝) 13:30～
場 所：地下1階講堂
講 師：菊屋 吉生(本展監修者、山口大学教育学部教授)
共 催：広島県立美術館友の会
参加者：95人
- (2) ワークショップ「紋・アラカルト」
日 時：1月17日(水) 13:30～
場 所：地下1階講堂
講 師：松尾真由美(広島市立大学芸術学部講師)
協 力：泉美術館
参加者：12人
- (3) セルフフォトワークショップ「絵になる人！」
日 時：会期中
場 所：3階ロビー
協 力：石田あさきトータルファッション専門学校

- (4) 美術講座「美人画を楽しむ」
 日 時：1月25日(日) 13:30～
 場 所：地下1階講堂
 講 師：隅川 明宏(当館学芸員)
 参加者：53人
- (5) 学芸員によるギャラリートーク
 日 時：毎週金曜日11:00～(1月2日、1月9日、1月30日、2月13日)
 17:00～(1月16日、1月23日、2月6日)
 場 所：3階企画展示室
 参加者：計139人
- (6) ウェブレポーター大募集
 日 時：1月9日(金) 17:00～18:30
 場 所：3階ロビー
 参加者：9人
- (7) 十二単着付けショー「日本美人にあこがれて」
 日 時：1月31日(土)、2月1日(日)各日2回 11:00～/14:00～
 場 所：1階ロビー
 出 演：なごみ会
- (8) 特別企画「あなたはどの美人がお好きですか? 美人画人気投票」
 日 時：会期中
 場 所：3階ロビー
 参加者：5,489人
- (9) 日本酒イベント「アートと私の美味しい時間」
 日 時：1月23日(金) 17:00～
 場 所：3階企画展示室及び1階ゾーンイタリア イン チェントロ
 内 容：解説付展覧会鑑賞とトークイベント
 対 談：大山 晴彦(大和屋酒舗店長) × 越智裕二郎(当館館長)
 参加者：46人

主要関連番組

- (1) ラジオ番組
 1月2日(金) エフエムふくやま(学芸員出演)
 1月6日(火) FMはつかいち「昼はまるごと! 761」(学芸員出演)
 1月6日(火) 尾道エフエム放送「You Gotta Radio」(学芸員出演)
 1月8日(木) FM東広島「和のこころ」(学芸員出演)
- (2) テレビ番組
 1月10日(土) NHK広島放送局 地域ニュース
 1月12日(月・祝) 広島テレビ「テレビ派」(学芸員出演)
 1月21日(水) 広島テレビ「テレビ派」
 1月24日(土) 広島テレビ「エンタ広テレじゃん」
 1月31日(土) 広島テレビ 地域ニュース(十二単着付けショー)
 2月9日(月) 広島テレビ 地域ニュース(1万人)
 2月10日(火) 広島テレビ「テレビ派ランチ」(学芸員出演)

主要関連記事

(1) 新聞

- 1月15日(木) 毎日新聞備後面「毎日美術館」(学芸員寄稿)
- 2月1日(日) 読売新聞、毎日新聞、産経新聞(十二単着付けショー)
- 2月10日(火) 読売新聞(1万人)

(2) 雑誌等広告・記事

- 生活の友社『美術の窓』「2014年必見の展覧会ベスト200」
- 株式会社プレスシードランプ『Lamp』12月号
- 交通新聞社『旅の手帳』1月号
- 坂井編集企画事務所『一枚の絵』1月号
- 株式会社アスコン『Wink』1月号
- 株式会社PR現代『和の生活マガジン 花saku』1月号
- 広島市経済観光局観光政策部『りーぶら』冬季号
- ウエンディ広島編集部『ウエンディ』1月号
- アートコレクションハウス『arch』12・1月号
- 株式会社プレスネット『ザ・ウイークリー・プレスネット』1月号
- 広島県立美術館友の会『色絵馬』70号(学芸員寄稿)
- 春秋社『月刊 経済春秋』1月号「美術館あれこれ」(学芸員寄稿)

(3) ウェブ

- 一般社団法人 日本自動車連盟『JAFウェブサイト』
- NPOひろしまインターネット美術館『わくわくつくログ!』
- 株式会社イーエム『ミニナルアート』
- 交通新聞社『トレたび』、『びたのり』
- H.I.S観光プロモーションビジネス『H.I.Sクーポン』
- 共同組合インフォメーションテクノロジー関西『Yahoo! Japan』、『じゃらんnet』、『JR西日本』
- 公益財団法人ひろしま文化振興財団『ブンカッキーネット』
- 広島県立美術館HP、メールマガジン、ツイッター、フェイスブック

カタログ内容(A4カラー、作品図版86点含む)

目次

- 「美しい近代日本女性の絵姿」小林忠
- 「日本画における美人画の変遷(明治・大正・昭和初期)」菊屋吉生
- 第一章 雪月花
- 第二章 四季の風情
- コラム「女性画家と美人画」小川知子
- 第三章 心の内と外～情念と装い
- 第四章 技芸と遊び
- コラム「岡本神草筆《追羽根(旧題：羽子緋衣)》の位相」北川久
- 落款
- 「ザ・モダニズム 大正美人画抒情の世界－明治期から大正・昭和まで－」中右瑛
- 作品目録・解説
- 作家略歴
- 参考文献抄
- List of Works
- Message

展覧会巡回先

- ニューオータニ美術館 平成25年3月16日～5月26日
- 川越市立美術館 平成25年10月19日～12月8日

7 第61回日本伝統工芸展広島展

会 期／平成27(2015)年2月25日(水)～3月15日(日)
(会期中無休)
主 催／広島県、広島県教育委員会、広島県立美術館、
NHK広島放送局、朝日新聞社、公益社団法人日本工芸会
後 援／文化庁
入 館 料／一 般 700円(500円)
高・大学生 400円(200円)
中学生以下無料
入館者数／9,473人(19日間)



日本伝統工芸展は、日本の風土から生まれた世界に誇る工芸技術を発展・継承し、新しい時代の生活に即した美を築くことを目的にしている。広島展では、全入選作品599点及び遺作3点の中から重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品や受賞作品、広島県や中国地方からの入選作品を中心に陶芸104点、染織46点、漆芸46点、金工32点、木竹工47点、人形19点、その他の工芸26点、合計320点を厳選して一堂に展示した。県内からは12名の作家の作品が入選した。日本の伝統を引き継ぐ優れた工芸作品を展示し、広く県民に鑑賞の機会を提供することにより、伝統工芸に対する理解を深め、地域文化の向上に資することに努めた。

(本展担当者：宮本 真希子)

広島県在住入選者

陶 芸 今田 拓志「隔壁の器」
木村 芳郎「碧釉漣文壺」
漆 芸 金城一国斎「切金高盛絵箱 万葉」
木 工 小林 利幸「枳拭漆盛器」
松岡 裕治「枳虎斑空造食籠」
三好幸二郎「枳拭漆盛器」
門田 篁玉「裏千鳥編花籃 瀬戸のさざなみ」
吉田 静石「樟拭漆八角盛器」
諸工芸 栗根 仁志「七宝花器 家路」
宇田勢津子「有線七宝蓋物 朱い実」
菅坂 安子「有線七宝花瓶 波光」

関連事業

- (1) 講演会・作品解説会(広島県立美術館友の会共催)
日 時：平成27年2月28日(土) 13:30～15:00
場 所：地階講堂・3階企画展示室
演 題：「金工と私の人生」

講 師：山本 晃(重要無形文化財「彫金」保持者)

参加者：102名

(2) ギャラリートーク(場所：3階企画展示室)

(ア)入選作家による

平成27年2月28日(土)	11:00~11:40	小林 松斎(木工)	20名
3月1日(日)	11:00~11:40	金城一国斎(漆芸)	92名
3月1日(日)	13:30~14:10	菅坂 安子(七宝)	39名
3月7日(土)	11:00~11:40	井戸川 豊(陶芸)	45名
3月7日(土)	13:30~14:10	松岡 裕治(染織)	38名
3月8日(日)	11:00~11:40	栗根 仁志(七宝)	64名
3月14日(土)	11:00~11:40	今田 拓志(陶芸)	42名

(イ)担当学芸員による

平成27年2月27日(金)	11:00~11:40	17名
3月6日(金)	11:00~11:40	23名
3月13日(金)	11:00~11:40	35名

(3) その他

(ア)アートと私の美味しい時間“日本酒が繋ぐ、イタリア料理と伝統工芸”

日 時：平成27年3月6日(金) 17:00~

場 所：3階企画展示室及び1階レストラン

内 容：・特別鑑賞会(17:00~17:45)
・トークイベント(18:30~20:00)

ゲスト：島 崇(八幡川酒造株式会社品質管理部長)

司 会：越智裕二郎(当館館長)

参加者：52名

(イ)きものDE美術館

日 時：会期中

内 容：着物での本展入館者にプレゼント進呈

参加者：152名

(ウ)ウェブレポーター

日 時：平成27年2月27日17:00~18:30

場 所：3階企画展示室

内 容：本展のレポートをHP・ブログ・フェイスブックなどウェブで発信

参加者：5名

子ども鑑賞コース

(1) 出張授業(県内日本工芸会正会員をゲストティーチャーとして小学校に派遣)

平成26年10月31日(金)	松岡 裕治(木工)	広島市立湯来南小学校	4年生	26名
11月19日(水)	山根 宏造(陶芸)	広島市立吉島小学校	4年生	39名
11月26日(水)	馬船 宏明(漆芸)	廿日市市立津田小学校	4年生	23名
平成27年1月30日(金)	栗根 仁志(七宝)	福山市立山南小学校	5年生	18名
2月17日(火)	小林 松斎(木工)	広島市立美鈴が丘小学校	4年生	71名

(2) ワークショップ

日時：3月8日(日) 13:30~15:30

場所：広島県立美術館大会議室

内容：“ミニチュアお椀のストラップを作ろう！”

講師：田代 昭夫(漆芸家、日本工芸会正会員)

参加者：27名

(3) 親子鑑賞ガイドブック作成・配布(A5判16ページ、6,000部)

主要関連記事

朝日新聞

- 平成26年 8月23日 県内入選者発表「日本伝統工芸展県内の12人入選」
11月1日 出張授業「漆木工芸の技を児童に出張授業 広島湯来南小」
平成27年 1月31日 出張授業「七宝に児童挑戦 日本伝統工芸展控え」
2月7日 出張授業(呉市立倉橋小学校)「初めての七宝づくり 呉・倉橋小で『出張授業』」
2月13日 広島展特集記事「卓越の技320点」
2月16日 社告
2月18日 出張授業「宮島ろくろ細工出張授業 伝統工芸展ひかえ」
2月20日 関連イベント紹介「伝統工芸展の広島展 催しも色々」
2月23日 県内入選者作品紹介① 松岡 裕治「柘虎斑空造食籠」
2月25日 県内入選者作品紹介② 菅坂 安子「有線七宝花器 波光」
2月26日 広島展開幕「和の技・美ずらり 伝統工芸展 中区で開幕」
2月26日 県内入選者作品紹介③ 今田 拓志「隔壁の器」
2月27日 県内入選者作品紹介④ 吉田 静石「樟拭漆八角盛器」
3月5日 県内入選者作品紹介⑤ 門田 篁玉「裏千鳥網花籃 瀬戸のさざなみ」
⑥ 栗根 仁志「七宝花器 家路」
⑦ 三好幸二郎「柘拭漆盛器」
⑧ 西村 芳弘「陶彫彩色 演奏家」
3月6日 県内入選者作品紹介⑨ 宇田勢津子「有線七宝蓋物 朱い実」
⑩ 金城一国斎「切金高盛絵箱 万葉」
3月7日 県内入選者作品紹介⑪ 木村 芳郎「碧釉漣文壺」
3月8日 県内入選者作品紹介⑫ 小林 松斎「柘拭漆盛器」

中国新聞

平成27年 2月8日 読者プレゼント、3月6日 「現代の匠 伝える粹 広島で日本伝統工芸展」

主要関連番組

NHK(TV)

- 平成27年 2月14日～3月14日 計22回 30秒告知スポット(総合・ETV・広島県内)
2月18日 「おはようひろしま」(総合・広島県内)出張授業
2月25日 ローカルニュース(総合・広島県内)開会式
2月28日 「日曜美術館 第61回日本伝統工芸展」(ETV・広島県内)
3月2日 「ひるまえ直送便」県内入選作品紹介(総合・中国)

NHK(ラジオ)

平成27年 2月13日 金曜ど～かいの(ラジオ第1・広島県内)

NHK(データ放送)

平成27年 1月27日～3月15日

その他

FMはつかいち・ひるはまるごと! 761(平成27年 2月24日)、FM東広島・ハッピーモーニングサタデー(2月28日)、CATVビジュアルパンダ・ぐるあそ(3月2日～8日)

情報誌

GetHiroshima、Lamp(ランプ)、to-you 2月号、不動産ニュース 2月号、TJ Hiroshima 3月号、Cue 2月13日号、ウェンディ 2月号、サンデー周南新聞 2月14日号、ホットペッパー 3月号、Wink 3月号(広島版)、Wink 3月号(備後版)、リビングひろしま 2月28日号、ビジネス朝日 2月号、月刊春秋 3月号

インターネット

広島県立美術館ホームページ、JAPAN PORTAL、HISクーポン、チラシミュージアム、ひろしまナビゲーター、Walkerplus

カタログ内容

趣旨 出品目録 出品図版

特別展示「わざを伝える」文化財保存事業報告

第61回日本伝統工芸展入選作品及び受賞作品の決定について

展覧会巡回先

東京	平成26年9月17日(水)～9月29日(月)	日本橋三越本店
名古屋	10月1日(水)～10月6日(月)	名古屋栄三越
京都	10月8日(水)～10月13日(月・祝)	京都高島屋
大阪	10月16日(木)～10月22日(月)	あべのハルカス近鉄百貨店本店 大阪芸術大学スカイキャンパス
金沢	10月31日(金)～11月9日(日)	石川県立美術館
岡山	11月13日(火)～11月30日(日)	岡山県立美術館
松江	12月3日(水)～12月25日(木)	島根県立美術館
高松	平成27年1月2日(金)～1月18日(日)	香川県立ミュージアム
仙台	1月22日(木)～1月27日(火)	仙台三越
福岡	2月3日(火)～2月8日(日)	福岡三越
松山	2月17日(火)～2月22日(月)	松山三越

所蔵作品展

平成26年度は、全5室ある展示室のうち、春期に3室分を特別展「星星会展」で使用。

他期間は所蔵品の展示を実施した。

入場者数／72,492人(338日)

第1期(第3室・第4室)

瀬戸内しまのわ2014応援企画 広島、瀬戸内からつながる“わ”

平成26(2014)年4月16日(水)～6月29日(日)

前期 4月16日(水)～5月18日(日)

後期 5月20日(火)～6月29日(日)

I-1 瀬戸内の風景

No.	作者	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
1	吉田 博	瀬戸内海集「帆船朝」	1926(大正15)	50.0×35.9	木版・紙・マット装		前期
2	吉田 博	瀬戸内海集「雨後の夕」	1926(大正15)	24.8×37.4	木版・紙・マット装		前期
3	吉田 博	瀬戸内海集「帆船午前」	1926(大正15)	50.8×36.1	木版・紙・マット装		前期
4	吉田 博	瀬戸内海集「帆船霧」	1926(大正15)	50.9×36.0	木版・紙・マット装		前期
5	吉田 博	瀬戸内海集「帆船夜」	1926(大正15)	50.8×36.1	木版・紙・マット装		前期
6	吉田 博	瀬戸内海集「鞆の浦」	1927(昭和2)	24.8×37.6	木版・紙・マット装		前期
7	吉田 博	瀬戸内海集 第二「倉」	1930(昭和5)	24.5×37.4	木版・紙・マット装		前期
8	吉田 博	瀬戸内海集 第二「鍋島」	1930(昭和5)	24.6×37.8	木版・紙・マット装		前期
9	吉田 博	瀬戸内海集 第二「三つ小島」	1930(昭和5)	24.6×37.4	木版・紙・マット装		前期
10	吉田 博	瀬戸内海集 第二「木の江」	1930(昭和5)	37.5×24.5	木版・紙・マット装		前期
11	吉田 博	瀬戸内海集「光る海」	1926(大正15)	37.2×24.7	木版・紙・マット装		後期
12	吉田 博	瀬戸内海集「帆船朝」	1926(大正15)	50.8×35.9	木版・紙・マット装		後期
13	吉田 博	瀬戸内海集「帆船午後」	1926(大正15)	50.9×36.1	木版・紙・マット装		後期
14	吉田 博	瀬戸内海集「帆船夕」	1926(大正15)	50.5×36.0	木版・紙・マット装		後期
15	吉田 博	瀬戸内海集 第二「白石島」	1930(昭和5)	24.8×37.6	木版・紙・マット装		後期
16	吉田 博	瀬戸内海集 第二「神の島」	1930(昭和5)	24.8×37.6	木版・紙・マット装		後期
17	吉田 博	瀬戸内海集 第二「鞆の港」	1930(昭和5)	24.5×37.1	木版・紙・マット装		後期
18	吉田 博	瀬戸内海集 第二「阿武兎の朝」	1930(昭和5)	24.6×37.5	木版・紙・マット装		後期
19	吉田 博	瀬戸内海集 第二「潮待ち」	1930(昭和5)	24.6×37.6	木版・紙・マット装		後期
20	吉田 博	瀬戸内海集 第二「静なる日」	1930(昭和5)	24.7×37.7	木版・紙・マット装		後期
21	森野 圓象	静かな海	1975(昭和50)	高200×53×42	木、彩色		
22	小林 和作	因島		31.0×58.0	鉛筆・水彩・紙・額装		前期
23	小林 和作	岩子島(1)		31.0×48.0	鉛筆・水彩・紙・額装		前期
24	小林 和作	尾道吉和(2)		23.5×48.0	鉛筆・水彩・紙・額装		前期
25	小林 和作	尾道吉和(3)		30.5×34.5	鉛筆・水彩・紙・額装		前期
26	小林 和作	鳴滝山より岩子島・因島を望む		31.0×57.0	鉛筆・水彩・紙・額装		後期
27	小林 和作	岩子島(2)		31.0×40.0	鉛筆・水彩・紙・額装		後期
28	小林 和作	尾道吉和(1)		32.0×40.0	鉛筆・水彩・紙・額装		後期
29	小林 和作	尾道		31.0×48.0	鉛筆・水彩・紙・額装		後期
30	徳光 思刀	倉橋島室尾風景	1974(昭和49)	88.0×212.2	木版・紙 額装		前期
31	平松 純平	尾道風景	1973(昭和48)	75.7×98.1	水彩・紙 額装		前期
32	坂江 重雄	滞船	1968(昭和43)	184.0×184.0	水彩・紙 額装		後期
33	坂江 重雄	栈橋の見える風景	1956(昭和31)	110.0×78.0	水彩・紙 額装		後期
34	米山 利助	風景	1922(大正11)	109.0×78.0	油彩・画布・額装		
35	南 薫造	日の出	1949(昭和24)	53.0×65.5	油彩・画布・額装		
36	小林 和作	阿波の海		80.3×100.0	油彩・画布・額装		
37	小林 和作	紀州の海		80.3×100.0	油彩・画布・額装		
38	奥田 元宋	室戸	1952(昭和27)	100.0×181.5	紙本彩色・額装		

I-2 神の島、瀬戸内の要衝 厳島

No.	作者	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
39		厳島・鞍馬図	江戸時代	各153.5×340.0	紙本彩色 屏風		前期
40		厳島図	江戸時代	151.0×334.0	紙本金地彩色 屏風		後期
41	里見雲嶺	管弦祭の図	1917 (大正6)	37.2×24.7	絹本墨画彩色 軸装		後期
42	滝町宮嶋屋甚助板	芸州厳島絵図		50.9×36.0	木版・紙 額装		前期
43		厳島社頭之図-1		50.8×36.1	木版・紙 額装		前期
44	宮島塔岡佐伯屋	厳島社頭之図		50.9×36.1	木版・紙 額装		前期
45	宮島屋甚助板	芸州厳島船管弦絵図		50.8×35.9	木版・紙 額装		前期
46	宮島船津屋源吉板	安芸厳島御神社図		50.8×36.1	木版・紙 額装		後期
47	宮岳貞木 参嘉陵漫写 宮島船津屋源吉板	厳島弥山細見之図		24.8×37.4	木版・紙 額装		後期
48	貞十州写 浜之町舟津屋源吉改版	安芸厳島神社之図		50.5×36.0	木版・紙 額装		後期
49		厳島社頭之図-2		24.8×37.6	木版・紙 額装		後期
50	六角 紫水	国宝厳島神社蔵 松喰鶴蒔絵小唐櫃(模写)	1922 (大正11)	24.6×37.8	木・漆・蒔絵		
51	志村ふくみ	紬織着物 厳島	1985 (昭和61)	24.8×37.6	絹・紬		
52	小林健一郎	櫛丸盆	1987 (昭和62)	24.5×37.4	櫛・挽物		
53	小松 寿山	松丸盆	1980 (昭和55)	24.8×37.6	松・挽物		
54	川原 繁夫	花器「彩河」	1969 (昭和44)	24.5×37.1	陶器		
55	綿谷行四郎	宮島回廊	1973 (昭和48)	24.6×37.5	紙本彩色 額装		
56	野村 守夫	安芸の宮島	1971 (昭和46)	31.0×48.0	油彩・画布 額装		
57	川瀬 巴水	厳島の雪	1932 (昭和7)	24.6×37.4	木版・紙 マット装		前期
58	川瀬 巴水	宮島の月夜	1947 (昭和22)	37.5×24.5	木版・紙 マット装		前期
59	浜崎左髪子	厳島		24.6×37.6	紙本彩色 額装		後期
60	小林 千古	厳島大元公園	1903 (明治36)	46.2×38.4	紙本彩色 額装		

I-3 瀬戸内の自然の恵み-海の生き物-

No.	作者	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
61	今井 政之	象嵌彩信楽早春の芸予大壺	2000 (平成12)	高30.5 胴径41.0	陶器		
62	今井 政之	泥彩魚紋壺	1974 (昭和49)	高54.6	陶器		
63	今井 政之	苔泥彩漕花壺	1975 (昭和50)	高42.7	陶器		
64	今井 政之	象嵌彩窯変磯蟹大皿	1985 (昭和60)	高8.7径60.5	陶器		
65	今井 政之	釉彩海老飾皿	1973 (昭和48)	52.5×9.1	陶器		
66	今井 政之	象嵌赫窯瀬戸の幸大皿	1998 (平成10)	高8.0 口径73.5	陶器		
67	児玉 希望	海禾(新水墨画十二題)	1959 (昭和34)	57.0×67.0	絹本墨画 額装		
68	児玉 希望	ひざかり	1960 (昭和35)	51.0×58.5	絹本彩色 額装		

I-4 瀬戸内の人々の営み

No.	作者	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
69	和高 節二	売魚婦	1933頃 (昭和8頃)	134.6×52.4	紙本彩色 額装		
70	児玉 希望	浦町の雑聞	1955 (昭和30)	117.0×90.0	絹本彩色 額装		
71	和田 貢	漁夫	1968 (昭和43)	162.1×130.3	油彩・画布 額装		
72	水谷 愛子	浜のおばあちゃん	1982 (昭和57)	167.0×211.7	紙本彩色 額装		
73	坂江 重雄	造船所風景A	1967 (昭和42)	181.0×142.5	水彩・紙 額装		前期
74	坂江 重雄	造船所風景B	1970 (昭和45)	119.0×183.0	水彩・紙 額装		後期
75	名井 万亀	大漁(二)	1960 (昭和35)	97.5×162.0	油彩・画布 額装		
76	松井 正	塩田	1936 (昭和11)	97.0×162.2	油彩・画布 額装		
77	南 薫造	石割	1911 (明治44)	60.5×45.5	油彩・画布 額装		
78	南 薫造	蒲刈島風景	1949 (昭和24)	38.0×45.5	油彩・画布 額装		

I-5-1 瀬戸内から広がる海のイメージ

No.	作者	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
79	児玉 希望	瀾	1964 (昭和39)	156.0×135.5	絹本彩色 額装		
80	木村 芳郎	青釉鳥文鉢	1981 (昭和56)	口径51.5 高12.0	陶器		
81	木村 芳郎	碧釉組鉢	1984 (昭和59)	(大)高10.2 径30.5 (小)高6.5 径18.3	半磁器		

I-5-2 瀬戸内から広がる人の輪（和） - 移住県・広島 -

No.	作者	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
82	小林 千古	女子正面	1900-1901 (明治33-34)	90.0×76.0	油彩・画布・額装		
83	小林 千古	ミルクメイド	1897 (明治30)	69.0×50.8	油彩・画布・額装		
84	小林 千古	茶器と梅花	1903 (明治36)	18.5×65.5	油彩・画布・額装		
85	小林 千古	母ワキ肖像	1899頃 (明治32頃)	68.0×50.8	油彩・画布・額装		
86	金光 松美	AUGUST	1960 (昭和35)	182.8×182.8	油彩・画布・額装		

II-1 混沌の時代と調和を求める心 - 両大戦間の美術を中心に -

No.	作者	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
87	井上長三郎	屠殺場	1936 (昭和11)	203.0×270.0	油彩・画布 額装		
88	サルバドール・ダリ	ヴィーナスの夢	1939 (昭和14)	243.8×487.6	油彩・画布・パネル		
89	ルネ・マグリット	人間嫌いだち	1942 (昭和17)	54.0×73.0	油彩・画布 額装		
90	フランシス・ピカビア	アンピトリテ	1935頃 (昭和10頃)	92.0×73.5	油彩・画布 額装		
91	ベン・シャーン	強制収容所	1944 (昭和19)	61.0×61.0	テンペラ・板		
92	ベン・シャーン	四人の検事	1931-32 (昭和6-7)	24.8×37.5	グワッシュ・紙 額装		前期
93	ベン・シャーン	陪審員席	1932-1933 (昭和7-8)	41.9×58.4	グワッシュ・紙 額装		後期
94	巖 光	二重像	1941 (昭和16)	24.5×20.0	墨・紙・額装		前期
95	パブロ・ピカソ	フランコの夢と嘘	1937 (昭和12)	31.8×42.3	エッチング・シュガー クアチント・紙 マット装		後期
96	松本 竣介	車庫近く	1942 (昭和17)	33.4×45.5	油彩・画布 額装		
97	巖 光	窓辺の花(百合)	1944 (昭和19)	71.0×59.0	油彩・画布 額装		

II-2 広島から広げる平和と友好のメッセージ

No.	作者	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
98	丸木 位里	竹林	1964 (昭和39)	各210.0×270.0	紙本墨画 屏風		
99	水船 六洲	燭明り	1967 (昭和42)	高202×54×40	木、彩色		
100	片岡 脩	LOVE PEACE	1985 (昭和60)	103×72.8	紙・シルクスクリーン マット装		
101	菅井 汲	CADMIUM ROUGE 19.20 (カドミウム・レッド19.20)	1993 (平成5)	250.0×264.0	アクリル・画布		
102		伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 (17世紀後半)	高さ44.3 45.0	磁器 色絵		
103		重要文化財伊万里色絵花卉文輪花鉢	江戸時代 (17世紀)	口径24.4 高11.5	磁器 色絵		

第2期 (彫刻展示スペース・第1室・第2室)

美術館のこども部屋 ver.2 アートな宿題

平成26(2014)年5月29日(木)～9月23日(火)

前期 5月29日(木)～7月27日(日)

後期 7月29日(火)～9月23日(火)

国語：アートな感想文。書いてみよう。

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
1	平櫛 田中	1872-1979	落葉	1913 (大正2)	高74.5	木	1点	
2	北野 恒富	1880-1947	風	1917 (大正6)	155.0×172.0	絹本彩色	一隻	前期
3	南 薫造	1883-1950	小童	1909 (明治42)	60.5×49.8	油彩・画布	1面	
4	小林徳三郎	1884-1949	金魚を見る子供	1929 (昭和4)	45.6×53.0	油彩・画布	1面	
5	ジャン(ハンス)・アルプ	1886-1966	目覚め	1938 (1983鑄造)	高47.5	ブロンズ	1点	
6	芹沢 銈介	1895-1984	組紐文のれん	1940 (昭和15)		紬・型染	1点	後期
7	芹沢 銈介		風の字のれん	1957 (昭和32)	101.0×72.0	木綿・型染	1点	後期
8	芹沢 銈介		この山みち文のれん	1959 (昭和34)		木綿・型染	1点	後期
9	圓鏝 勝三	1905-2003	白い花	1982 (昭和57)	高120.0	木、銅板、彩色	1点	
10	芥川 永	1915-1998	おとなの影	1970 (昭和45)	高62.0	ブロンズ	1点	
11	小平 胖可	1944-2003	向かい	1997 (平成9)	高25.0	テラコッタ	1点	

算数：アートな図形。あなたの好きな組み合わせは？

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
12	カジミール・マレーヴィチ	1878-1935	アロギズム(1つの正方形、2つの長方形、2つの円、2つの円錐)	1914～15頃	16.5×11.2	鉛筆・紙	1点	前期
13	カジミール・マレーヴィチ		シュプレマティスムの素描(二つの正方形)	1916～17頃	16.2×11.0	鉛筆・紙	1点	前期
14	カジミール・マレーヴィチ		シュプレマティスムの素描(空からの展望)	1928	17.0×19.6	鉛筆・紙	1点	前期
15	カジミール・マレーヴィチ		2点の素描－人物と教会堂	1929	17.0×18.5	鉛筆・紙	1点	前期
16	エル・リツッキー	1890-1941	プロウン:第1ケストナー版画集	1923	60.5×43.5	紙・インク・リトグラフ	6面	前期
17	エル・リツッキー		太陽の征服	1923	53.2×45.5 (額71.5×64.0)	紙・インク・リトグラフ	11面	後期
18	河井寛次郎	1890-1966	紫紅六角鉢		長径23.7×高7.0	陶器	1点	
19	八木 一夫	1918-1979	いつも離陸の角度で	1977 (昭和52)	高27.0 27.5×30.5 高33.5 30.0×27.3	黒陶、鉛板	2点	
20	八木 一夫		明瞭かつ不確実に	1977 (昭和52)	高38.5 38.0×5.0	黒陶、鉛板	1点	
21	菅井 汲	1919-1996	SOLEIL BLEU (青い太陽)	1969 (昭和44)	235.5×236.0	アクリル・画布	1面	
22	菅井 汲		SOLEIL ET SOLEIL (太陽と太陽)	1968 (昭和43)	114.2×192.6	アクリル・画布	1面	
23	菅井 汲		SOLEIL (太陽)	1971 (昭和46)	200.0×200.0	油彩・画布	1面	
24	山田 光	1923-2001	消えた1	1976 (昭和51)	高47.0 25.5×6.0	陶	1点	
25	高橋 秀	1930-	作品-1	1971 (昭和46)	63.5×47.8	石版・紙	1面	前期
26	高橋 秀		作品-2	1971 (昭和46)	47.8×63.5	石版・紙	1面	前期
27	高橋 秀		作品-3	1971 (昭和46)	47.8×63.5	石版・紙	1面	前期
28	高橋 秀		作品-4	1971 (昭和46)	47.8×63.5	石版・紙	1面	前期
29	高橋 秀		作品-5	1971 (昭和46)	47.8×63.5	石版・紙	1面	後期
30	高橋 秀		作品-6	1971 (昭和46)	47.8×63.5	石版・紙	1面	後期
31	高橋 秀		作品-7	1971 (昭和46)	63.5×47.8	石版・紙	1面	後期
32	高橋 秀		作品-8	1971 (昭和46)	63.5×47.8	石版・紙	1面	後期
33	金重 道明	1934-1995	伊部六角飾皿	1986 (昭和61)	径45.0(最大) 高さ5.1	陶器	1点	
34	宮永 理吉	1935-	三角錐の中のブルー	1976 (昭和51)	高31.0 30.0×30.0	陶	1点	
35	林 秀行	1937-	ゼロのたわむれ	1975 (昭和50)	H16.0×17.0×17.0 H14.0×17.0×17.0	磁器	2点	
36	森口 邦彦	1941-	友禅平面作品「Shadow Magic I」	1984 (昭和59)	90.0×73.0	紙、友禅技法	1面	
37	森口 邦彦		友禅平面作品「Shadow Magic II」	1984 (昭和59)	90.0×73.0	紙、友禅技法	1面	
38	森口 邦彦		友禅平面作品「Shadow Magic III」	1984 (昭和59)	90.0×73.0	紙、友禅技法	1面	

理科：アートな観察日記。じっくり見てみよう。

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
39	三代金城一國斎	1829-1915	虫に蔓草高盛絵会席盆	1908 (明治41)	径33.5	木・漆・高盛絵	5点	
40	三代金城一國斎		バッタ高盛絵煙管入		長18.4 3×1.5	木、漆・高盛絵	1点	
41	三代金城一國斎		ホタル高盛絵線香入		長18.3 径2.2	漆・高盛絵	1点	
42	三代金城一國斎		葦によしきり高盛絵香筒	1905 (明治38)	長さ30.5	漆・高盛絵	1点	

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
43	三代金城一國斎		白蓮花に蝶高盛絵角盆	1905 (明治38)	高35.5×35.5	漆・高盛絵	1点	
44	ライオネル・ファインINGER	1871-1956	海辺の夕暮	1927	45.0×77.0	油彩・画布	1面	
45	小林 和作	1888-1974	海	1974 (昭和49)	52.0×100.0	油彩・画布	1面	
46	須田国太郎	1891-1961	るりみつどり	1956 (昭和31)	65.0×91.0	油彩・画布	1面	
47	マックス・エルンスト	1891-1976	博物誌	1926	43.0×26.0 (版面)	コロタイプ・紙	17面	
48	金島 桂華	1892-1974	冬瓜	1955 (昭和30)	79.0×145.0	紙本彩色	1面	
49	金島 桂華		冬瓜	1955 (昭和30)	47.5×69.5	淡彩・紙	2枚のうち1枚	前期
50	金島 桂華		冬瓜	1955 (昭和30)	47.5×69.5	淡彩・紙	2枚のうち1枚	後期
51	金島 桂華		冬瓜	1955 (昭和30)	29.7×41.7	鉛筆・紙	6枚のうち3枚	前期
52	金島 桂華		冬瓜	1955 (昭和30)	29.7×41.7	鉛筆・紙	6枚のうち3枚	後期
53	猪原 大華	1897-1980	虫	1927 (昭和2)	26.2×61.2	紙本彩色	1面	前期
54	児玉 希望	1898-1971	七面鳥	1956 (昭和31)	199.0×152.0	紙本金泥墨画	1面	
55	和高 節二	1898-1990	雌鳥		36.1×44.5	紙本彩色	1面	
56	麩 光	1907-1946	かぶと虫	1941 (昭和16)	18.0×71.0	墨・紙	1面	前期
57	麩 光		鳥(ほ)	1941 (昭和16)	22.4×33.4	墨・紙	1面	後期
58	麩 光		牛	1941 (昭和16)	15.4×18.3	鉛筆・紙	1面	後期
59	麩 光		花園の虫	1942 (昭和17) 頃	26.7×34.8	油彩・板	1面	
60	麩 光		海	1943 (昭和18)	72.3×90.7	油彩・画布	1面	
61	戸塚孝三郎	1907-1965	ホロホロ鳥	1960 (昭和35)	130.3×97.0	油彩・画布	1面	
62	黒光 茂樹	1909-2003	青桐	1953 (昭和28)	206.0×168.0	紙本彩色	1面	
63	奥田 元宋	1912-2003	柳鶯	1940 (昭和15)	175.7×175.7	紙本彩色	1面	
64	八木 一夫	1918-1979	発芽の様相	1977 (昭和52)	高40.2 24.1×17.0	黒陶・漆	1点	
65	藤平 伸	1922-2012	銀彩鳥壺	1971 (昭和46)	高 ^{32.5} 13.7×13.7	陶器	1点	
66	鈴木 治	1926-2001	鳥のプロペラ	1981 (昭和56)	高44.0 36.0×20.0	陶	1点	
67	平山 郁夫	1930-2009	鷲鳥		44.0×49.0	紙本彩色	1点	
68	皿谷緋佐子	1930-	野菜文壺	1975 (昭和50)	37.8×39.0	陶器	1点	
69	皿谷緋佐子		組皿・泰山木	1983 (昭和58)	径22.5	陶器	5点	
70	今井 政之	1930-	躍鳥扁壺	1953 (昭和28)	高 ^{38.2} 輻 ^{38.8} 奥行 ^{22.9}	陶器	1点	
71	高橋 秀	1930-	海	1963 (昭和38)	90.0×72.7	ミクストメディア	1面	
72	中谷ミユキ	1900-1977	海	1963 (昭和38)	45.5×52.5	油彩・画布	1面	

社会：アートな地理。どんな場所かな？

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
73	南 薫造	1883-1950	ロンドン河畔	1908 (明治41)	73.5×91.3	油彩・画布	1面	
74	南 薫造		風景(新橋)	1930 (昭和5)	31.0×41.0	油彩・板	1面	
75	和田 三造	1883-1967	風景(パリ)	1909~1915頃 (明治42~大正4頃)	62.5× 37.5	油彩・画布	1面	
76	長谷川利行	1891-1940	田端変電所	1923 (大正12)	23.8× 32.6	油彩・板	1面	
77	田中 万吉	1895-1945	南仏カーニユ全景	1924~1927頃 (大正13~昭和2頃)	53.3×65.4	油彩・画布	1面	
78	大木 茂	1899-1979	広告塔のある街(パリ)	1974 (昭和49)	130.3×162.1	油彩・画布	1面	
79	大歳 暁	1904-1995	古都(トレド)	1967 (昭和42)	145.5×112.1	油彩・画布	1面	
80	船田 玉樹	1912-1991	宇治の春	1954 (昭和29)	180.0×242.0	紙本彩色	1面	
81	塩出 英雄	1912-2001	草庵	1964 (昭和39)	178.2×223.0	紙本彩色	1面	
82	三上 巴峽	1913-1985	城	1966 (昭和41)	227.0×179.7	紙本彩色	1面	
83	蓮田修吾郎	1915-2010	シテ島の夜	1979 (昭和54)	80.0×152.0×11.0	白銅・アクリル	1面	
84	桑原 清明	1923-2007	十勝の月	1973 (昭和48)	191.5×167.0	紙本彩色	1面	
85	水谷 愛子	1924-2005	くらしき	1968 (昭和43)	165.0×212.0	紙本彩色	1面	

第2期 (第3室) 平和のカタチ

平成26(2014)年7月2日(水)～9月15日(月)
前期 7月2日(水)～7月27日(日)
後期 7月29日(火)～9月15日(月)

両大戦間—西洋美術を中心に

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
1	ヴァシリー・カンディンスキー	1866-1944	小さな世界	1922	35.6×28.0	木版・リトグラフ ドライポイント紙	12面組のうち3面	
2	ジョルジュ・ルオー	1871-1958	受難 (パッション)	1939	45.5×34.5	アクアチント 紙・挿画本	17面組のうち2面	
3	パウル・クレー	1879-1940	何で走っているのだろう	1932	23.8×29.9	エッチング・紙	1面	前期
4	パウル・クレー		内なる光に照らされた聖人 (パウハウス版 新ヨーロッパ版画集第1集より)	1921	39.0×26.8	リトグラフ・紙	1面	後期
5	パプロ・ピカソ	1881-1973	フランコの夢と嘘	1937	31.8×42.3	エッチング・紙	7面	8/8～9月上旬 まで展示
6	クルト・シュヴィッターズ	1887-1948	メルツ394, ピナコテーク	1922	17.9×14.3	コラーージュ・紙	1面	
7	ジョージ・グロス	1893-1959	群盗	1922	70.0×51.0	リトグラフ・紙	9面組のうち3面	
8	ジョアン・ミロ	1893-1983	スペインを救え	1937	31.0×24.5	ステンシル・紙	1面	
9	ルネ・マグリット	1898-1967	人間嫌いだち	1942	54×73	油彩・画布	1面	
10	ベン・シャーン	1898-1869	強制収容所	1944	61.0×61.0	テンペラ・板	1面	
11	ヘンリー・ムーア	1898-1986	テイルベリー・シェルター	1941	40.0×56.0	グワッシュ クレヨン・板	1面	
12	ヘンリー・ムーア		弦のある形	1939	高28.8	ブロンズ、弦	1点	
13	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面	8/8～9月上旬 まで展示

第二次世界大戦下の日本の美術

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
14	清水 南山	1875-1948	飛龍躍浪文硯屏	1942 (昭和17)	高27.523.5×8.9	銀・彫金	1面	
15	名井 萬亀	1896-1976	初空襲	1943 (昭和18)	61.0×80.5	油彩・画布	1面	
16	松田 権六	1896-1986	菊水文飾笥	1940 (昭和15)	高12.0 34.3×54.3	木漆 アコライト 蒔絵	1点	
17	松田 権六		水蒔絵平卓	1941 (昭和16)	高8.2 29.2×50.5	木・漆・蒔絵・螺鈿	1点	
18	鬨 光	1907-1946	帽子をかむる自画像	1943 (昭和18)	60.0×50.0	油彩・画布	1面	
19	鬨 光		窓辺の花 (百合)	1944 (昭和19)	71.0×59.0	油彩・画布	1面	
20	松本 竣介	1912-1948	ニコライ堂	1941 (昭和16)	32.0×41.0	油彩・板	1面	
21	寺田 政明	1912-1989	さかな (悲哀)	1943 (昭和18)	53.1×33.9	油彩・板	1面	
22	上野 栄喜	1912-1945	鳥剥製	1942 (昭和17)	61.0×90.5	油彩・画布	1面	

ヒロシマと原爆—悲劇を表現するということ

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
23	神田 周三	1894-1972	被爆後風景		56.6×84.0	油彩・紙	1面	
24	大木 茂	1899-1979	壁C・ドームの中	1948 (昭和23)	130.5×97.0	油彩・画布	1面	
25	浜崎左髪子	1912-1989	スラム街	1974 (昭和49)	164.0×129.0	紙本彩色	1面	
26	芥川 永	1915-1998	水のむ子 (水ノ太田川4)	1976 (昭和51)	高73	ブロンズ	1点	
27	芥川 永		もどれない風 (太田川2)	1974 (昭和49)	高34	ブロンズ	1点	
28	平山 郁夫	1930-2009	広島生変図	1979 (昭和54)	171.0×364.0	紙本彩色	1面	8/7まで展示
29	殿敷 侃	1942-1992	ドームのレンガ	1977 (昭和52)	23.3×32.3	銅版画	1面	前期
30	殿敷 侃		ケロイド		47.3×38.7	シルクスクリーン	1面	後期

戦後という表現—平和のカタチ

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
31	小林徳三郎	1884-1949	部屋居の女	1945 (昭和20)	53.0×45.5	油彩・画布	1面	
32	名井 萬亀	1896-1976	第5福竜丸	1954 (昭和29)	55.5×71.0	油彩・画布	1面	
33	鯉江 良二	1938-	チェルノブイリ	1989(平成元)- 1994(平成6)	高20.5×30.5×31.0 高23.5×30.5×31.0	シエルペン	2点	
34	寺田 政明	1912-1989	生と死の凝視	1950 (昭和25)	91.3×116.5	油彩・画布	1面	
35	横山 明	1938-	燃え落ちる蝶	1983 (昭和58)	103.0×72.8	水彩・紙	1面	
36	亀倉 雄策	1915-1997	ヒロシマ・アビールズ(燃え落ちる蝶)	1983 (昭和58)	103.0×72.8	オフセット印刷・紙	1面	

第2期 (第4室)

ムーミン展開催記念展示 自然に向き合う作者の眼

平成26(2014)年7月2日(水)～9月15日(月)

前期 7月2日(水)～7月27日(日)

後期 7月29日(火)～9月15日(月)

自然に向かい合う中で生まれてきたもの

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
1	南 薫造	1883(明治16)年-1950(昭和25)年	白壁の農家	1908年	75.5×101.0	油彩・画布	1面	
2	鶴岡 政男		海のあやかし	1958年	194.0×130.3	油彩・画布	1面	
3	名井 萬亀	1896(明治29)年-1976(昭和51)年	さんまの怒り	1970年	53.4×72.4	油彩・画布	1面	
4	名井 萬亀		宮古市浄土が濱	1973年	112.0×162.8	油彩・画布	1面	
5	荒川 豊蔵	1894(明治27)年-1985(昭和60)年	黄瀬戸竹花入	1967-68年	口径12.5 高24.5	陶器	1口	
6	大島 祥丘	1907(明治40)年-1996(平成8)年	段圃宿雪	1967年	194.0×112.0	紙彩・彩色	1面	
7	太田 忠	1908(明治41)年-1971(昭和46)年	雪景	1965年	173.3×130.3	油彩・画布	1面	
8	八木 一夫	1918(大正7)年-1979(昭和54)年	入り日・引き潮	1977年	高28.0×25.5×30.0	黒陶・金彩	1組	
9	八木 一夫		雲の記憶	1978年	高28.0 22.0×22.5 高42.8 41.0×11.5	黒陶・鉛板	1組	
10	野見山暁治		on y va (1) 潮風	1988年	82.0× 61.0	石版・アルシュ紙	1面	前期
11	野見山暁治		on y va (8) 記憶	1988年	61.0× 82.0	石版・アルシュ紙	1面	後期
12	藤田 喬平	1921(大正10)年-2004(平成16)年	飾宮「湖上の花」	1989年	高26.5 23.2×23.2	ガラス	1合	
13	藤田 喬平		飾宮「夢殿」	1990年	高16.2 24.0×30.0	ガラス	1合	
14	栗根昭二郎	1927(昭和2)年-	七宝菓子器「遊」	1979年	17.0×6.5	七宝	1合	

炎の力を借りて生まれた優品

No.	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
15	重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢 (柿右衛門様式)	江戸時代 17世紀後半	口径24.4 高11.5	磁器・色絵	1口	
16	伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1軀	
17	伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高44.3	磁器・色絵	1軀	

芸術家が出会った世界の海

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
18	南 薫造	1883(明治16)年-1950(昭和25)年	インドの港	1907年	31.3×24.4	水彩・紙	1面	前期
19	南 薫造		地中海を望む	1909年	23.5×32.6	水彩・紙	1面	後期
20	南 薫造		港(台湾にて)	1930年	31.5×47.6	水彩・紙	1面	前期
21	児玉 希望	1898(明治31)年-1971(昭和46)年	カンヌ	1957年	22.5×30.0	彩色・紙	1面	後期
22	児玉 希望		サナリー	1957年	22.5×30.0	彩色・紙	1面	前期
23	児玉 希望		ニース	1957年	22.5×30.0	彩色・紙	1面	後期
24	新延 輝雄	1922(大正11)年-2012(平成24)年	オンフルール	1966年	130.3×162.1	油彩・画布	1面	

針と糸で表現されたシルクロードの自然

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
25	ヌラタ	(現ウズベキスタン)	刺繍布(スザニ)	19世紀前半	253.0×172.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚	
26	ブハラ	(現ウズベキスタン)	刺繍布(スザニ)	19世紀前半	244.0×190.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚	
27	サマルカンド	(現ウズベキスタン)	刺繍布(ジャイナマズ)	19世紀中期	259.0×168.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚	
28	ブハラ	(現ウズベキスタン)	刺繍布(スザニ)	19世紀中期	224.0×148.0	麻・絹糸・刺繍	1枚	
29	タシケント	(現ウズベキスタン)	刺繍布(スザニ)	19世紀後半	216.0×174.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚	
30	ブハラ	(現ウズベキスタン)	刺繍布(スザニ)	19世紀後半	245.0×160.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚	
31	ブハラ	(現ウズベキスタン)	刺繍布(スザニ)	19世紀後半	217.0×150.0	(表)木綿・絹糸・刺繍 (裏)経絹・緯・木綿・経緋	1枚	
32	シャフリシャブス	(現ウズベキスタン)	刺繍布(スザニ)	1870年頃	240.0×166.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚	
33	フェルガナ盆地	(現ウズベキスタン)	刺繍布(スザニ)	19世紀末	206.0×156.0	(表)絹・絹糸・刺繍 (裏)木綿・プリント	1枚	
34	ブハラ	(現ウズベキスタン)	刺繍布(スザニ)	1910年頃	170.0×134.0	絹・ヴェルヴェット・金糸・刺繍	1枚	

第3期 (彫刻展示スペース・第1室・第2室)

広島が生んだ芸術家たち—^{えん つば かつ ぞう}圓鏝勝三・山路商・和高節二

平成26(2014)年9月26日(金)～平成27(2015)年1月12日(月)

前期 9月26日(金)～12月1日(月)

後期 12月2日(火)～1月12日(月)

圓鏝 勝三

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	圓鏝 勝三	1905-2003	星羅	1960 (昭和35)	高さ223	木・金属・彩色	1点	第3回新日展	
2	圓鏝 勝三		タクト	1963 (昭和38)	高さ165	テラゾー	1点	第11回日彫展	
3	圓鏝 勝三		面	1965 (昭和40)	高さ130	木・彩色	1点	第13回日彫展	
4	圓鏝 勝三		ムーランルージュの夜	1975 (昭和50)	高さ91	木・樹脂・金属・彩色	1点		
5	圓鏝 勝三		キリスト	1975 (昭和50)	高さ58	テラコッタ	1点		
6	圓鏝 勝三		ページェント	1979 (昭和54)	高さ116	木・銅板	1点	第11回改組日展	
7	圓鏝 勝三		婦人像B	1976 (昭和51)	高さ70	大理石	1点		
8	圓鏝 勝三		月夜の僧	1985 (昭和60)	高さ86	木・銅板・彩色	1点	第17回改組日展	

第1室 広島の前衛 山路商

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	田中 万吉	1895-1945	曇り日	1924-27 (大正13-昭和2) 頃	37.0×45.5	油彩・厚紙	1面		
2	丸木 位里	1901-1995	雨乞	1939 (昭和14)	172.0×140.0	紙本彩色	1面		前期
3	丸木 位里		不動	1941 (昭和16)	213.0×106.0	紙本彩色	1面		後期
4	山路 商	1903-1944	母の像	1927 (昭和2) 頃	22.5×31.4	鉛筆・紙	1面		前期
5	山路 商		花	1928 (昭和3)	23.7×32.4	油彩・キャンバスボード	1面		
6	山路 商		大連風景	1931 (昭和6)	24.5×32.9	油彩・画布	1面		
7	山路 商		男(眠れる)		72.5×61.0	油彩・画布	1面		
8	山路 商		マドモアゼルY	1932 (昭和7)	73.0×52.0	油彩・画布	1面		
9	山路 商		T型定規のある静物	1932 (昭和7)	87.0×69.0	油彩・画布	1面	第6回全関西展	
10	山路 商		人物素描	1933 (昭和8)	32.2×25.8	鉛筆・紙	1面		後期
11	山路 商		干魚とレモン	1935 (昭和10)	24.6×33.6	油彩・板	1面		
12	山路 商		人体	1936 (昭和11)	62.0×31.0	インク・紙	1面		前期
13	山路 商		犬とかたつむり	1937 (昭和12)	80.1×116.4	油彩・画布	1面		
14	山路 商		柴野利秋氏の像	1937 (昭和12) 頃	40.7×31.7	油彩・画布	1面	第2回郷土物故作家展	
15	山路 商		ひまわり	1938 (昭和13) 以降	23.4×33.0	インク・鉛筆・色鉛筆・紙	1面	第2回郷土物故作家展	前期
16	山路 商		ピエロ		33.8×24.6	油彩・紙	1面		
17	山路 商		自画像		38.6×27.2	鉛筆・紙	1面		後期
18	山路 商		自画像	1942 (昭和17)	26.0×19.2	油彩・板	1面		
19	山路 商		少女の像		22.6×15.8	油彩・画布	1面		
20	山路 商		柿	1943 (昭和18)	22.0×31.0	油彩・画布	1面		
21	山路 商		自画像	1943 (昭和18) 頃	31.7×22.8	油彩・紙	1面		
22	灰谷 山路 正夫 商(合作)	1907-1985 (灰谷正夫)	バラ		24.2×33.2	油彩・板	1面		
23	檜山 美雄	1905-1978	圓鏝 勝三	1928 (昭和3)	57.4×46.7	油彩・画布	1面		
24	檜山 武夫	1906-1932	陸橋	1931 (昭和6)	91.0×91.0	油彩・画布	1面	第18回二科展	
25	巖 光	1907-1946	帽子をかむる自画像	1943 (昭和18)	60.0×50.0	油彩・画布	1面		
26	木村 武男	1910-1985	山路商の像	1962 (昭和37)	35.3×27.2	鉛筆・紙	1面		後期
27	福井 芳郎	1912-1974	蓮	1928 (昭和3)	115.0×89.0	油彩・画布	1面	第9回帝展	
28	辻 潔	1912-1943	風景	1935 (昭和10)	97.5×145.5	油彩・画布	1面	第5回独立展	
29	岩岡 貞美	1913-1945	耕丘	1944 (昭和19)	119.5×71.0	油彩・画布	1面	第14回独立展	

菅井 汲

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
30	菅井 汲	1919-1996	DIABLE PARTANT POUR LA LUNE(月へ旅立つ鬼)	1963 (昭和38)	162.0×130.2	アクリル・油彩・画布	1面		
31	菅井 汲		NATIONAL ROUTE(ナショナル・ルート)	1964 (昭和39)	195.0×130.0	アクリル・油彩・画布	1面		

第2室 和高節二

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	頁数	出品歴・備考	展示期間
1	和高 節二	1898-1990	母子	1921 (大正10)	61.0×73.0	紙本彩色	1面		
2	和高 節二		乳のみ児	1923 (大正12)	26.5×35.8	木炭・紙	1面		
3	和高 節二		少女 (貞子)	1926 (大正15)	30.0×31.0	鉛筆・コンテ・紙	1面		
4	和高 節二		田植時	1929 (昭和4)	106.0×147.0	紙本彩色	1面		
5	和高 節二		村の消防夫	1932 (昭和7)	189.3×108.6	紙本彩色	1面		
6	和高 節二		村の子供	1933 (昭和8)	177.5×184.6	紙本彩色	1面	昭和8年度日本画会展	
7	和高 節二		売漁婦画稿	1933 (昭和8)	42.8×48.9	紙本彩色	1面		
8	和高 節二		売魚婦	1933 (昭和8)	67.8×51.6	紙本彩色	1面		
9	和高 節二		売魚婦	1933 (昭和8) 頃	134.6×52.4	紙本彩色	1面		
10	和高 節二		仔牛	1935 (昭和10)	65.0×91.0	紙本墨画淡彩	1面		
11	和高 節二		しゃがむ女性		128.0×53.1	紙本彩色	1面		
12	和高 節二		ぶどう		33.7×45.5	紙本彩色	1面		
13	和高 節二		お正月 (蓬餅)		41.4×62.0	紙本彩色	1面		
14	和高 節二		ひなた	1955 (昭和30)	83.0×96.4	紙本彩色	1面	第7回広島県美術展	
15	和高 節二		柿	1962 (昭和37)	89.0×113.7	紙本彩色	1面	第4回広島県在住代表美術家展	
16	和高 節二		谷間でみた人 (素描)		40.5×37.0	鉛筆・紙	1面		
17	和高 節二		谷間でみたひと	1963 (昭和38)	182.0×120.0	紙本彩色	1面	第6回新日展	
18	和高 節二		石崖		29.2×40.9	鉛筆・紙	1面		
19	和高 節二		石崖	1967 (昭和42)	181.5×178.0	紙本彩色	1面		

広島の日画家 - 児玉希望・奥田元宋・平山郁夫

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	頁数	出品歴・備考	展示期間
20	児玉 希望	1898-1971	猿猴捉月	1933 (昭和8)	255.0×105.0	絹本彩色	1面	第14回帝展	
21	奥田 元宋	1912-2003	待月	1949 (昭和24)	130.4×204.2	絹本彩色	1面	第5回日展	
22	奥田 元宋		秋辯真如	1977 (昭和52)	156.5×197.5	紙本彩色	1面	第9回改組日展	
23	平山 郁夫	1930-2009	浅春	1955 (昭和30)	181.0×200.0	紙本彩色	1面	第40回院展	

第3期 (第3室・第4室)

タブロー&クラフト-秘密のヴィジョン

平成26(2014)年9月18日(木)～平成27(2015)年1月12日(月)

前期 9月18日(木)～12月1日(月)

後期 12月2日(火)～1月12日(月)

タブローと静物 (3室)

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	頁数
1	小林 千古	1870-1911	やし (静物)	1893 (明治26)	34.0×44.0	油彩・画布	1面
2	アレクサンダー・カーノルト	1881-1939	静物	1925	80.0×101.0	油彩・画布	1面
3	エーリッヒ・ヘッケル	1883-1970	木彫のある静物	1913	70.5×60.7	油彩・画布	1面
4	南 薫造	1883-1950	寒牡丹	不詳	49.4×41.6	油彩・画布	1面
5	小林徳三郎	1884-1949	瓢箪	1931 (昭和6)	45.2×52.2	油彩・画布	1面
6	マン・レイ	1890-1976	M.デュシャンの作品「美しい吐息」	1920	37.8×27.0	ゼラチン・シルバー・プリント	1面
7	マン・レイ		M.デュシャンのレディメイド「壊乾燥器」	不明	27.0×37.7	ゼラチン・シルバー・プリント	1面
8	マン・レイ		贈り物	1921	20.2×14.8	ゼラチン・シルバー・プリント	1面
9	川口 軌外	1892-1966	静物	1937 (昭和12)	41.9×53.0	油彩・画布	1面
10	永田 一脩	1903-1988	静物	1925 (大正14)	45.5×53.0	油彩・画布・コラージュ	1面
11	新海 覚雄	1904-1968	抽象	1924 (大正13)	37.0×65.0	油彩・画布	1面
12	巖 光	1907-1946	静物 (柿)	1943 (昭和18)	31.8×41.0	油彩・画布	1面
13	巖 光		魚 (ひもの)	1943 (昭和18)	38.0×45.3	油彩・画布	1面
14	細田 政義	1908-1999	No.13	1962 (昭和37)	36.2×18.0	銅版・紙	1面
15	細田 政義		Table No.57	1966 (昭和41)	36.5×28.3	銅版・紙	1面
16	岡部 繁夫	1912-1969	卓上静物	1937 (昭和12)	73.0×91.0	油彩・画布	1面
17	寺田 政明	1912-1989	月光によりて	1943 (昭和18)	31.8×40.9	油彩・画布	1面
18	寺田 政明		けいとう花	1954 (昭和29)	80.4×52.8	油彩・画布	1面
19	武永 楨雄	1913-1997	鮭図	1935 (昭和10)	72.7×90.9	油彩・画布	1面
20	高橋 秀	1930-	机上静物	1956 (昭和31)	90.9×72.7	油彩・画布	1面

静物とテーブル

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	頁数
21	南 薫造	1883-1950	坐せる女	1908 (明治41)	112.1×83.3	油彩・画布	1面
22	南 薫造		ピアノ	1921 (大正10)	103.0×83.1	油彩・画布	1面
23	マン・レイ	1890-1976	隣(りあう) 金属製の水車のある 機の後ろのマルセル・デュシャン	1917	22.5×30.4	ゼラチン・シルバー・プリント	1面
24	マン・レイ		埃の培養	1920	21.1×37.5	ゼラチン・シルバー・プリント	1面
25	マン・レイ		解剖台の上でミシンとこうもり傘が 偶然出会ったように美しい	1933	24.9×37.8	ゼラチン・シルバー・プリント	1面
26	ジョージ・グロッシ	1893-1959	群盗	1922	70.0×51.0	リトグラフ・紙	9面のうち4面
27	ベン・ニコルソン	1894-1982	1933 (絵画)	1933	73.3×90.8	油彩・ジェッソ・板	1面
28	名井 萬亀	1896-1976	一家団樂	1962 (昭和37)	64.7×91.0	油彩・画布	1面
29	ルネ・マグリット	1898-1967	人間嫌いだち	1942	54.0×73.0	油彩・画布	1面
30	大木 茂	1899-1979	絵を描く女	1964 (昭和39)	145.5×112.1	油彩・画布	1面
31	サルバドール・ダリ	1904-1989	マルドロールの歌	1934	32.5×25.0他	エッチング・紙	30面のうち3面
32	サルバドール・ダリ		ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面

工芸の多彩な魅力を比べて見る (4室)

【特別展示】柿右衛門様式の優品

No.	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	頁数
1	重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)	江戸時代 (17世紀後半)	口径24.4 高さ11.5	磁器 色絵	1口
2	伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 (17世紀後半)	高さ45.0	磁器 色絵	1軀
3	伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 (17世紀後半)	高さ44.3	磁器 色絵	1軀

1 織りvs染め（日本vs.アジア）～日本とアジアの緋織りと模様染めを主に対比します。

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
1	ウズベク人		女性用外衣（ハラト）	19世紀後半	125.0×168.0	経・絹、緯・綿、経緋	1 領	前期
2	ウズベク人		男性用外衣（チャパン）	19世紀後半	132.4×174.1	経・絹、緯・綿、経緋	1 領	前期
3	ウズベク人		女性用外衣（ハラト）	19世紀末	125.8×165.8	経・絹、緯・綿、経緋	1 領	後期
4	ウズベク人		男性用外衣（ハラト）	1900頃	143.5×212.0	経・絹、緯・綿、経緋	1 領	後期
5	志村ふくみ	1924-	紬織着物 水かけ	1984（昭和59）	衿66.4丈169.6	絹 紬	1 領	前期
6	志村ふくみ		紬織着物 枝垂桃	1985（昭和60）	衿67.0 丈158.0	絹 紬	1 領	前期
7	宗廣 力三	1914-1989	茜茶ほぐし どぼんこ染緋着物	1987（昭和63）	衿65.5丈173.0	絹 紬	1 領	後期
8	渡辺 溥子	1938-	紬織着物「月影」	1999（平成11）	衿68.0 丈171.5	絹・紬・経緯緋	1 領	第46回日本伝統工芸展 後期
9	インド西部		茜地狩猟文更紗	17-18世紀	429.3×90.8	木綿、木版媒染	1 枚	前期
10	インド東海岸		白地花鳥文更紗	18-19世紀	83.5×111.5	木綿、手描媒染防染	1 枚	前期
11	インド南部		藍地唐花文更紗	19-20世紀	255.8×103.1	木綿、木版手描媒染防染	1 枚	前期
12	インド		霜降地蔓花草文更紗	17-18世紀	346.0×94.0	木綿、手描媒染	1 枚	後期
13	インド西部		茜地鶯鳥文更紗	18世紀	552.0×92.6	木綿、木版媒染防染	1 枚	後期
14	インド南部		藍地唐花文更紗	19-20世紀	234.1×107.3	木綿、木版手描媒染防染	1 枚	後期
15	森口 邦彦	1941-	友禅着物 「溪流」	1973（昭和48）	衿64.3丈157.5	絹 友禅染	1 領	第20回日本伝統工芸展 前期
16	森口 邦彦		友禅着物 「蕃園」	1981（昭和56）	衿61.8, 丈170.5	絹 友禅染	1 領	前期
17	森口 邦彦		友禅着物 「新雪」	1986（昭和61）	衿61.3, 丈172.0	絹 友禅染	1 領	後期
18	森口 邦彦		友禅訪問着 「光波」	1989（平成元）	衿64.2丈173.0	絹 友禅染	1 領	後期
19	芹沢 銈介	1895-1984	李朝の函文帯地	1965（昭和40）	幅38.0	絹 縮緬 型染	1 本	後期

2 余白vs.稠密 ～余白を生かす日本の文様構成と空間を埋め尽くすイスラムの文様構成を対比します。

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
20	松田 権六	1896-1989	鶯蒔絵棚	1938（昭和13）	高69.5 39.3×90.5	木漆 蒔絵 螺鈿 平文 鎌倉彫	1 基	第2回新文展
21	ホラーサーン地方		青銅銀象嵌大水盤	12世紀中期	高22.5, 径70.5	青銅 鑄造	1 点	

3 器vs.オブジェ ～焼き物の形として必然的な“器の形”に込められた作者の制作意図を対比します。

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
23	富本 憲吉	1886-1963	白磁壺	1928（昭和3）	高23.3 径29.0	磁器	1 口	
24	加守田章二	1933-1983	曲線彫文扁壺	1970（昭和45）	高27.1 12.0×23.0	陶器	1 口	
25	河井寛次郎	1890-1966	鉄釉菱花扁壺	不詳	高22.9	陶器	1 口	

4 空ろvs.無垢 ～焼き物の内側について空洞性を生かす造形と充填する造形を対比します。

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
26	八木 一夫	1918-1979	黒象嵌花生	1959（昭和34）	高20.0 径13.0	陶器	1 口	
27	鯉江 良二	1938-	土の顔	1986（昭和61）	高14.0 28.0×31.0	陶器	1 対	

5 閑話－内側の美 ～4の内側への視点から派生して、箱などの内側に施された装飾の趣向をお楽しみいただきます。

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
28	藤本 能道	1919-1992	草白釉軸描加彩 月下木乃葉づく陶器	1991（平成3）	高13.3 32.4×32.4	磁器、色絵	1 合	
29	植松 抱民	1845-1899	桜に燕研出蒔絵 硯箱	明治時代	高4.3 4.0×21.0	木漆 蒔絵	1 合	前期
30	梶山 明細	不詳	蒔絵やつで香篋	明治時代	高11.1 12.2×15.9	漆 蒔絵	1 合	後期

6 焼く前vs.焼いた後 ～焼き物について、焼成の影響を嫌う考え方と焼成で得られる効果を対比します。

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
31	八木 一夫	1918-1979	盲亀	1964（昭和39）	高34.0 13.0×31.0	黒陶	1 点	
32	佐藤 敏	1936-	バットマン	1971（昭和46）	H42.0×29.0×34.0	陶器	1 点	

7 黒vs.白 ～黒と白という基本的で対照的な色彩が持つ造形効果とそれを生かした作品を対比します。

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
33	八木 一夫	1918-1979	ブラックエコー	1978（昭和53）	高52.0 13.5×23.0 高40.0 13.5×15.0	黒陶、鉛板	1 対	
34	塚本 快示	1912-1990	白瓷輪花唐草文大鉢	1980（昭和55）	高5.2 径39.3	磁器	1 口	

8 完璧vs.破調 ～破綻のない完成された美しさと、否定美・不完全美による破調の美を対比します。

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
35	板谷 波山	1872-1963	青磁鳳耳花瓶		高28.3 胴径13.1	青磁	1口	
36	鯉江 良二	1938-	(VESSEL)	2006(平成16)	高24.1 24.5×21.2	陶器	1口	

9 金銀vs.土塊 ～金銀など貴金属による普遍的な価値と、それでは測れない芸術的価値を対比します。

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
37	テケ族 トルクメン人		護符入れ(トゥマル)	1916/17	幅39.5	銀、鍍金、カーネリアン	1点	
38	テケ族 トルクメン人		背飾り(アシク)	20世紀初期	高38.5 幅24.5	銀、鍍金、カーネリアン	1点	
39	船橋 舟珉	1859-没年不詳	金地山水蒔絵手箱	1908(明治41)	高14.8 25.8×22.9	木 漆 蒔絵	1合	第8次漆工競技会 前期
40	不詳		近江八景蒔絵御手箱	明治～昭和初期	高13.5 24.0×19.5	木、漆、蒔絵	1合	後期
41	鯉江 良二	1938-	平茶盃		高6.0 15.5×16.5	陶器	1口	
42	鯉江 良二		鉄絵茶盃		高9.5 12.0×12.5	陶器	1口	
43	鯉江 良二		貝釉引出し茶盃	平成元(1989)	高8.5 13.0×13.5	陶器	1口	
44	鯉江 良二		韓国手茶盃	平成8(1996)	高9.0 15.9×15.9	陶器	1口	

10 おわりにーガラスと木 ～工芸の素材にはこれらのほかにガラスや木などがあります。限りなく多彩な工芸美をお楽しみください。

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
45	益田 芳徳	1934-2010	記憶I	平成2(1990)	高24.0 65.0×43.5	ガラス	1点	
46	山根 寛齋	1933-2010	玉椿空彩箱	平成2(1990)	高18.6 31.0×15.2	玉椿、神代櫨、朴、黄楊木	1合	第37回 日本伝統工芸展

第4期 (彫刻展示スペース・第1室・第2室)

ジャパン・ビューティー展開催記念展示 かわいい・可愛・KAWAII

平成27(2015)年1月16日(金)～4月12日(日)

前期 1月16日(金)～3月2日(月)

後期 3月3日(火)～4月12日(日)

まあるい×かわいい

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
1	清水 南山	1875-1948	猫金具付 小児用手提	1939 (昭和14)	径15.5 全長24.0 (猫)高4.7 径7.8	銀・彫金・布	1点	
2	ジャン(ハンス)・アルブ	1886-1966	目覚め	1938 (1983鑄造)	高47.5	ブロンズ	1点	
3	ヘンリー・ムーア	1898-1986	弦のある形	1939	高28.8	ブロンズ、弦	1点	
4	バーバラ・ヘップワース	1903-1975	ネステイング・ストーンズ	1937	高19	大理石	1点	
5	芥川 永	1915-1998	カンタトリス (遠くの声3)	1984 (昭和59)	高71	ブロンズ	1点	
6	八木 一夫	1918-1979	表裏なし	1978 (昭和53)	高35.5 25.5×6.6	黒陶、鉛板	1点	
7	菅井 汲	1919-1996	黒	1964 (昭和39)	高34	ブロンズ	1点	
8	藤平 伸	1922-2012	壺	1975 (昭和50)	高20.6 長辺26.7	陶器	1点	
9	空 充秋	1933-	音	1970 (昭和45)	高52	石	1点	
10	宮永 理吉	1935-	パイプ	1972 (昭和47)	高26.0 18.0×14.5	青磁	1点	

こども×かわいい

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
11	田中 頼璋	1868-1940	庭園	1908 (明治41)	128.0×56.0	絹本彩色	1幅	後期
12	横山 大観	1868-1958	井筒	1897 (明治30)	135.6×83.5	紙本彩色	1幅	前期
13	橋本 静水	1876-1943	児童文殊図		137.5×71.5	絹本彩色	1幅	後期
14	井上 完	1882-1928	母と娘	1920 (大正9)	130.0×97.0	油彩・画布	1面	
15	南 薫造	1883-1950	赤いトルコ帽の少年	1904 (明治37)	29.8×22.4	油彩・キャンバスボード	1面	
16	南 薫造		赤いマント	1908 (明治41)	35.4×24.8	水彩・紙	1面	前期
17	南 薫造		池畔少女	1908 (明治41)	25.3×17.6	水彩・紙	1面	後期
18	南 薫造		うしろむき	1909 (明治42)	53.0×36.4	水彩・紙	1面	前期
19	南 薫造		小鳥の死	1910 (明治43)	35.0×20.6	水彩・紙	1面	後期
20	小林徳三郎	1884-1949	こども		42.5×52.5	油彩・画布	1面	
21	速水 御舟	1894-1935	隠岐の海	1914 (大正3)	113.0×42.2	絹本彩色	1幅	前期
22	和高 節二	1898-1990	笛を吹く村の少年		116.0×106.0	紙本彩色	1面	前期
23	和高 節二		母子	1921 (大正10)	61.0×73.0	紙本彩色	1面	後期
24	和高 節二		幼女		24.5×26.9	鉛筆・紙	1面	前期
25	和高 節二		眠る子1		35.0×45.6	鉛筆・紙	1面	前期
26	和高 節二		眠る子2		30.8×24.9	鉛筆・紙	1面	後期
27	和高 節二		眠る子供 (素描)		31.5×31.9	鉛筆・紙	1面	後期
28	巖 光	1907-1946	コミサ(洋傘による少女)	1929 (昭和4)	80.0×65.0	油彩・画布	1点	
29	三代金城一國齋	1829-1915	唐子高盛絵茶合	1905 (明治38)	高2.0	竹、漆・高盛絵	1点	
30	水谷 愛子	1924-2005	母と子	1988 (昭和63)	167.8×213.1	紙本彩色	1面	
31	平山 郁夫	1930-2009	家路	1953 (昭和28)	146.0×206.0	紙本彩色	1面	
32	平山 郁夫		母子	1959 (昭和34)	116.0×68.0	紙本彩色	1面	
33	佐藤 敏	1936-	南の少女	1978 (昭和53)	高78	陶器	1点	

ちいさい×かわいい

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
34	ワシリー・カンディンスキー	1866-1944	小さな世界	1922	35.6×28.0他	紙・木版・ リトグラフ・ドライポイント	12面 うち9面	
35	河井寛次郎		青磁瓜形盒子		径10.4×高9.4	青磁	1合	
36	河井寛次郎		赤盒子		径5.8×高4.2	磁器	1合	
37	河井寛次郎		青瓷桃子ケイ(偏に缶、旁に并)	1923(大正12)	口径9.5×高10.8	青磁	1点	
38	河井寛次郎		色絵梅花図蓋物		高9.8一辺10.7	陶器 色絵	1合	
39	河井寛次郎		鉄薬水滴		高4.7 10.7×6.0	陶器	1点	
40	河井寛次郎		呉州鉄薬草文盒子		一辺4.5×高4.5	陶器	1合	
41	芥川 永	1915-1998	雲になった蛙	1975(昭和50)	高39.5	ブロンズ	1点	
42	芥川 永		雲になった蛙(エチュード)	1975(昭和50)まで	高22.5	石膏	1点	

カラフル×かわいい

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
43	名井 萬亀	1896-1976	フットボール	1946(昭和21)	72.8×91.0	油彩・画布	1面	
44	児玉 希望	1898-1971	春のバンガロー	1954(昭和29)	65.0×87.0	絹本彩色	1面	
45	奥田 元宋	1912-2003	室戸	1952(昭和27)	100.0×181.5	紙本彩色	1面	
46	菅井 汲	1919-1996	PARKING(パーキング)	1970(昭和45)	246.0×200.0	アクリル・画布	1面	

いきもの×かわいい

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
47			伊万里 柿右衛門様式 色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高44.3	磁器・色絵	1 軀	
48			伊万里 柿右衛門様式 色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1 軀	
49			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢 (柿右衛門様式)	江戸時代 17世紀後半	口径24.4 高11.5	磁器・色絵	1 口	
50	アリスティード・マイヨール	1861-1944	ウエルギリウスの農耕歌	1937~1944	33.7×25.3	紙・インク・木版・挿画本	144面 うち5面	前期
51	アリスティード・マイヨール		ウエルギリウスの農耕歌	1937~1944	33.7×25.3	紙・インク・木版・挿画本	144面 うち5面	後期
52	川崎 小虎	1886-1977	仔鹿の秋	1973(昭和48)	111.0×88.0	紙本彩色	1面	
53	大村 廣陽	1891-1983	南苑	1928(昭和3)	212.0×158.0	絹本彩色	1面	
54	片山 牧羊	1900-1937	おぼろ	1927(昭和2)	244.8×173.0	絹本彩色	1面	
55	サルノバドール・ダリ	1904-1989	ヴェーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面	
56	善 鳩人	1916-1989	薄明	1961(昭和36)	110.0×158.0	紙本彩色	1面	
57	鈴木 治	1926-2001	神経質な鳥	1975(昭和50)	高18.7 20.0×12.6	青白磁(台)木	1点	
58	吉原 英雄	1931-2007	版画集「ベツショップ」よりガラスの向う側	1979(昭和54)	35.7×29.0	エッチング・アクアチント・メゾチント紙	1点	前期
59	吉原 英雄		版画集「ベツショップ」よりブルドックの朝食	1979(昭和54)	18.0×42.5	エッチング・アクアチント・メゾチント紙	1点	前期
60	吉原 英雄		版画集「ベツショップ」より蟻の観察	1979(昭和54)	22.2×36.5	メゾチント・エッチング・紙	1点	前期
61	吉原 英雄		版画集「ベツショップ」よりデューラーの兎	1979(昭和54)	37.3×47.5	リトグラフ・紙	1点	前期
62	吉原 英雄		版画集「ベツショップ」よりプチベツ	1979(昭和54)	35.7×29.0	エッチング・アクアチント・メゾチント紙	1点	後期
63	吉原 英雄		版画集「ベツショップ」より三匹の羊	1979(昭和54)	46.5×38.0	リトグラフ・紙	1点	後期
64	吉原 英雄		版画集「ベツショップ」よりソファの上	1979(昭和54)	29.3×35.8	エッチング・アクアチント・メゾチント紙	1点	後期
65	吉原 英雄		版画集「ベツショップ」よりランチタイム	1979(昭和54)	37.3×47.5	リトグラフ・紙	1点	後期

女性美×かわいい

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
66	小林 千古	1870-1911	ミルク・メイド	1897(明治30)	69.0×50.8	油彩・画布	1面	
67	内島 暁園	1874-1917	異国人物図		199.1×142.0	絹本彩色	1面	後期
68	藤田 嗣治	1886-1968	婦人像(リオ)	1932(昭和7)	81.2×65.0	油彩・画布	1面	
69	マン・レイ	1890-1976	ヴェールをかぶったキキド・モンパルナス	1922	35.8×26.0	ゼラチン・シルバー・プリント	1面	
70	小早川篤四郎	1893-1959	少女全像	1930(昭和5)	130.3×97.0	油彩・画布	1面	
71	児島善三郎	1893-1962	真珠の首飾り	1925~1928頃 (大正14~昭和3頃)	50.5×44.5	油彩・画布	1面	
72	甲斐庄楠音	1894-1978	横櫛	1918(大正7)	165.0×72.0	絹本彩色	1面	前期
73	中西 利雄	1900-1948	マドモアゼルS嬢	1938(昭和13)	62.5×48.4	水彩・紙	1面	前期
74	中西 利雄		婦人像	1940頃(昭和15頃)	63.0×49.5	水彩・紙	1面	後期

おしゃれ×かわいい

No.	作者	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
75	ブハラ(現ウズベキスタン)	刺繍布(スザニ)	19世紀後半	206.0×152.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚	
76	ウズベク人	女性用刺繍靴	20世紀	25.8	革・刺繍	1足	
77	エルサリ族またエルサリ族、トルクメン人	刺繍帽子(ドゥッピ)		18.2×24.6	刺繍	1点	
78	ウズベク人、タシケルガン	刺繍靴	20世紀初頭	19.3×14.8	刺繍	1枚	
79	エルサリ族 トルクメン人	刺繍靴	19世紀中期	18.8×14.8	刺繍	1枚	
80	エルサリ族 トルクメン人	刺繍靴	19世紀中頃	16.0×3.1	木綿布・絹刺繍・ボタン	1枚	
81	ヨムート族 トルクメン人	未婚女性用帽子(グッパ)	19-20世紀	高15.5, 径18.0	銀・鍍金・カーネリアン・絹布	1点	
82	ウズベク人	男性用外衣(チャパン)	19世紀末	129.6×207.7	経絹・緯絹・経緋 裏にプリント木綿・見返し 経緋	1領	
83	ウズベク人	女性用外衣(ハラト)	1900年頃	123.5×127.9	経絹・緯絹・経緋 裏にプリント木綿 見返し赤無地木綿	1領	
84	トルクメン人	鼻輪(アラバク)	19世紀後半	径4.5	金・ガラス	1点	
85	トルクメン人	鼻輪(アラバク)	19世紀中期	径3.4	金・ガラス	1点	
86	トルクメン人	鼻輪(アラバク)	19世紀中期	径5.8	金・トルコ石またはガラス・ガラス・真珠	1点	
87	トルクメン人	鼻輪(アラバク)	19世紀中期	径6.4	金・トルコ石またはガラス・ガラス・真珠	1点	
88	トルクメン人	鼻輪(アラバク)	19世紀後半	径5.7	金・ガラス・珊瑚	1点	
89	テケ族 トルクメン人	こめかみ飾り(テネチル)	19世紀初期	長19.0	銀・鍍金・カーネリアン	1対	
90	テケ族 トルクメン人	こめかみ飾り(テネチル)	18世紀	長20.0	銀・鍍金・カーネリアン	1対	
91	テケ族 トルクメン人	こめかみ飾り(テネチル)	19世紀中期	長26.0	銀・鍍金・カーネリアン	1対	
92	西ヨムート族 トルクメン人	耳飾り(グラク・ハルカ)	18世紀	径 ^{6.1} _{前=(径5.0)}	銀・トルコ石	1対	
93	テケ族 トルクメン人	男児用背飾り(オク・ヤイ)	19世紀前半	幅14.5	銀・鍍金	1点	
94	西ヨムート族 トルクメン人	男児用背飾り(オク・ヤイ)	19世紀後半	幅13.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点	
95	テケ族 トルクメン人	男児用背飾り	19世紀	幅14.5	銀・鍍金・カーネリアン・トルコ石	1点	

第4期 (第3室・第4室)

新収蔵作品展－平成25年度に新しく加わった絵画や工芸作品を中心に

平成27(2015)年 1月16日(金)～4月19日(日)

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	頁数
1	船田 玉樹	1912-1991	滝		57.8×45.4	絹本墨画金泥	1幅
2	船田 玉樹		山嶺	1986 (昭和61)	46.3×54.3	絹本墨画	1幅
3	船田 玉樹		山霊出雨	1979 (昭和54)	27.0×23.8	紙本墨画	1面
4	船田 玉樹		山霊出雨	1988 (昭和63)	26.8×23.8	紙本墨画	1面
5	船田 玉樹		山家	1989 (平成元)	27.0×24.0	紙本墨画	1面
6	船田 玉樹		深山幽屋		26.8×23.9	紙本墨画	1面
7	船田 玉樹		松		27.0×23.8	紙本墨画	1面
8	船田 玉樹		山嶺		26.8×23.8	紙本墨画	1面
9	船田 玉樹		谷間の秋		26.8×23.8	紙本墨画彩色	1面
10	船田 玉樹		雪		26.7×24.0	紙本墨画彩色	1面
11	船田 玉樹		雪		27.0×23.8	紙本墨画	1面
12	船田 玉樹		雪		23.7×27.0	紙本墨画	1面
13	船田 玉樹		流水		36.0×5.6	紙本墨画	1面
14	浜崎左髪子	1912-1989	邪気退散 慶気招来		13.9×20.0	木、彩色	1面
15	浜崎左髪子		万事成功 百業成就		13.9×20.0	木、彩色	1面
16	浜崎左髪子		前に飛ばそか後え出そうか		13.9×20.0	木、彩色	1面
17	浜崎左髪子		出てこい出てこいおさん来い		13.9×20.0	木、彩色	1面
18	浜崎左髪子		夜の夜中に女が一人		13.9×20.0	木、彩色	1面
19	浜崎左髪子		万事大成功		13.9×20.0	木、彩色	1面
20	浜崎左髪子		江波のおさんにだまされて		13.9×20.0	木、彩色	1面
21	浜崎左髪子		饒津の茶店の萩娘		13.9×20.0	木、彩色	1面
22	南 薫造	1883-1950	天野進作宛書簡1	1916 (大正5)	14.3×8.8	葉書(消印:1916年12月12日)	1枚
23	南 薫造		天野進作宛書簡2	1916 (大正5)頃	13.5×8.8	葉書(消印:12月31日)	1枚
24	南 薫造		天野進作宛書簡3	1918 (大正7)	14.2×8.8	葉書(消印:1918年1月1日)	1枚
25	巖 光	1907-1946	団扇(1)虫		22.3×22.8 全長32.7	紙本彩色	1枚
26	巖 光		団扇(2)植物		21.0×24.0 全長31.3	紙本彩色	1枚
27	巖 光		静物	1942 (昭和17)	45.1×37.6	油彩、画布	1面
28	巖 光		ばら	1930 (昭和5)	14.2×21.0	油彩、画布	1面
29	入野 忠芳	1939-2013	広島三菱のクレーン	1955 (昭和30)	37.7×45.4	油彩、画布	1面
30	入野 忠芳		原爆ドームの内壁	1956 (昭和31)	42.4×72.3	油彩、画布	1面
31	入野 忠芳		不確かな行方	1967 (昭和42)	91.0×116.5	油彩、画布	2面
32	入野 忠芳		不確かな行方一待つ一赤	1969 (昭和44)	130.3×162.0	油彩、画布	1面
33	入野 忠芳		浮遊	1970 (昭和45)	117.0×90.9	油彩、画布	1面
34	入野 忠芳		大地	1973 (昭和48)	97.0×145.0	油彩、画布	1面
35	入野 忠芳		流形90-5	1990 (平成2)	182.0×227.2	油彩、画布	1面
36	高橋 秀	1930-	サザエのある静物	1959 (昭和34)頃	12.0×18.0	エッチング、紙	1面
37	高橋 秀		覗いた春	1970 (昭和45)	64.0×48.0	リトグラフ、エンボス、紙	1面
38	高橋 秀		春	1970 (昭和45)	63.8×47.6	シルクスクリーン、紙	1面
39	高橋 秀		フィンガー・ボール-青-(32種の版画)	1973 (昭和48)	69.0×85.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	1面
40	高橋 秀		泉(32種の版画)	1973 (昭和48)	68.0×101.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	1面
41	高橋 秀		レズボール-白-(32種の版画)	1973 (昭和48)	69.0×69.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	1面
42	高橋 秀		愛のはじまり-オレンジ-(32種の版画)	1973 (昭和48)	68.0×57.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	1面
43	高橋 秀		乱	1976 (昭和51)	76.0×56.0	リトグラフ、シルクスクリーン、紙	1面
44	高橋 秀		黒い蝶	1976 (昭和51)	76.0×56.0	リトグラフ、シルクスクリーン、紙	1面
45	高橋 秀		白の瞑想	1980 (昭和55)	65.0×46.2	シルクスクリーン、紙	1面
46	高橋 秀		赤のハート	1984 (昭和59)	64.0×71.0	ドライポイント、アクアチント、紙	1面
47	高橋 秀		はぐくむ(日本の神話)	1987 (昭和62)	60.0×89.0	和紙のコラージュ、アクアチント	1面
48	高橋 秀		うずまき起源(日本の神話)	1987 (昭和62)	60.0×89.0	和紙のコラージュ、アクアチント	1面
49	高橋 秀		いわと(日本の神話)	1987 (昭和62)	60.0×89.0	和紙のコラージュ、アクアチント	1面
50	高橋 秀		くにづくり(日本の神話)	1987 (昭和62)	60.0×89.0	和紙のコラージュ、アクアチント	1面

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	頁数
51	高橋 秀		E94 (a から ω)	1987 (昭和62)	42.0×32.0	ドライポイント、紙	1面
52	高橋 秀		天真爛漫 (a から ω)	1987 (昭和62)	32.0×41.0	ドライポイント、紙	1面
53	高橋 秀		宙	1992 (平成4)	19.0×19.0	シルクスクリーン、紙	1面
54	高橋 秀		遊黒	1995 (平成7)	19.0×19.0	シルクスクリーン、銀箔、紙	1面
55	高橋 秀		ジョーカー	1995 (平成7)	19.0×12.0	シルクスクリーン、紙	1面
56	高橋 秀		おめでとうサン	2000 (平成12)	27.0×24.0	シルクスクリーン、紙	1面
57	高橋 秀		グリーンハート (艶やか)	2010 (平成22)	8.0×8.0	シルクスクリーン、紙	1面
58	高橋 秀		遙か (艶やか)	2010 (平成22)	8.0×8.0	シルクスクリーン、紙	1面
59	高橋 秀		白無垢 (艶やか)	2010 (平成22)	8.0×8.0	シルクスクリーン、紙	1面
60	高橋 秀		祈り (艶やか)	2010 (平成22)	8.0×8.0	シルクスクリーン、紙	1面
61	高橋 秀		儀式 (艶やか)	2010 (平成22)	8.0×8.0	シルクスクリーン、紙	1面
62	高橋 秀		日月図・黄金の天	2010 (平成22)	20.0×60.0	シルクスクリーン、金箔平押し紙コラージュ、紙	1面
63	高橋 秀		日月図・黄丹の天	2010 (平成22)	20.0×60.0	シルクスクリーン、金箔平押し紙コラージュ、紙	1面
64	高橋 秀		日月図 四季・秋	2010 (平成22)	20.0×60.0	シルクスクリーン、金箔平押し紙コラージュ、紙	1面
65	高橋 秀		年賀状1979年	1978 (昭和53)	15.5×20.0	シルクスクリーン、紙	1面
66	高橋 秀		年賀状1987年	1986 (昭和61)	8.0×15.9	シルクスクリーン、紙	1面
67	高橋 秀		年賀状1991年	1990 (平成2)	8.0×17.1	シルクスクリーン、紙	1面
68	高橋 秀		年賀状2000年	2000 (平成12)	4.0×7.0	シルクスクリーン、金箔、紙	1面
69	インド、グジャラート、パタン		象虎文絹経緯緋(ノトラ)	18-19世紀初	363.5×101	絹、経緯緋	1枚
70	インド、グジャラート、パタン		花ハート文絹経緯緋(ノトラ)	19-20世紀	366×131	絹、経緯緋、金糸	1枚
71*	インドネシア、バリ島テンガナン		ノトラ文経緯緋肩掛(グリーンシン)	19-20世紀	148.0×41.8	木綿、経緯緋	1枚
72*	インドネシア、バリ島テンガナン		ノトラ文経緯緋肩掛(グリーンシン)	19-20世紀	199.5×44.9	木綿、経緯緋	1枚
73*	インドネシア、バリ島テンガナン		ノトラ花文経緯緋祭礼布(グリーンシン)	20世紀	170.0×20.7	木綿、経緯緋	1枚
74	河面冬山	1882-1955	大楠公像乾漆額	昭和19-20頃	径31.2 厚2.0	乾漆	1面
75	レンブラント・ファン・レイン	1606-1669	羊飼いたちへの告知	1820頃 (オリジナル1634)	26.2×21.8	エッチング、紙	1面
76	堀尾 貞治	1939-	八丁堀	1972 (昭和47) 3月2日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
77	堀尾 貞治		八丁堀	1972 (昭和47) 3月2日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
78	堀尾 貞治		稲荷町	1972 (昭和47) 3月3日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
79	堀尾 貞治		稲荷町	1972 (昭和47) 3月3日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
80	堀尾 貞治		紙屋町	1972 (昭和47) 3月4日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
81	堀尾 貞治		女学院前	1972 (昭和47) 3月5日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
82	堀尾 貞治		縮景園	1972 (昭和47) 3月5日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
83	堀尾 貞治		家庭裁判所前	1972 (昭和47) 3月5日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
84	堀尾 貞治		広島駅前	1972 (昭和47) 3月6日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
85	堀尾 貞治		広島駅附近	1972 (昭和47) 3月6日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
86	堀尾 貞治		的場町	1972 (昭和47) 3月7日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
87	堀尾 貞治		銀山町	1972 (昭和47) 3月8日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
88	堀尾 貞治		宇品	1972 (昭和47) 3月9日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
89	堀尾 貞治		江波附近	1972 (昭和47) 3月12日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
90	堀尾 貞治		中電前	1972 (昭和47) 3月12日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
91	堀尾 貞治		本通	1972 (昭和47) 3月13日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
92	堀尾 貞治		胡町	1972 (昭和47) 年月14日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
93	堀尾 貞治		横川	1972 (昭和47) 3月17日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
94	堀尾 貞治		福島町	1972 (昭和47年) 3月19日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
95	堀尾 貞治		己斐	1972 (昭和47) 3月19日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
96	堀尾 貞治		己斐附近	1972 (昭和47) 3月19日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
97	堀尾 貞治		己斐附近	1972 (昭和47) 3月19日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
98	堀尾 貞治		十日市前	1972 (昭和47) 3月20日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
99	堀尾 貞治		別院前	1972 (昭和47) 3月20日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
100	堀尾 貞治		皆実町	1972 (昭和47) 3月21日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
101	堀尾 貞治		広島大学前	1973 (昭和48) 8月3日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
102	堀尾 貞治		広島大学前	1973 (昭和48) 8月3日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
103	堀尾 貞治		広電本社前	1973 (昭和48) 8月6日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
104	堀尾 貞治		八丁堀	1973 (昭和48) 8月8日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
105	堀尾 貞治		八丁堀	1973 (昭和48) 8月8日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
106	堀尾 貞治		八丁堀	1973 (昭和48) 8月8日	27.0×38.3	水彩、紙	1面

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	頁数
107	堀尾 貞治		舟入本町	1973 (昭和48) 8月10日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
108	堀尾 貞治		住吉橋	1973 (昭和48) 8月11日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
109	堀尾 貞治		御幸橋	1973 (昭和48) 8月11日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
110	堀尾 貞治		西観音	1973 (昭和48) 8月14日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
111	堀尾 貞治		己斐	1973 (昭和48) 8月14日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
112	堀尾 貞治		相生橋	1973 (昭和48) 8月17日	27.0×38.3	水彩、紙	1面
113	堀尾 貞治		市役所前	1973 (昭和48) 8月21日	27.0×38.3	水彩、紙	1面

Ⅲ 普及活動

1 第2回新県美展(第66回広島県美術展)

本展は「広く県民から美術作品を公募し、優れた作品を展示することにより、創作活動の振興を図るとともに、鑑賞の機会を提供し、もって芸術文化の向上に資すること」を目的に、昭和24年以来開催している。今回は、映像系部門・招待作家本県美術教育・美術文化への貢献者)・入館者人気投票の新設、副賞金の復活など昨年度の改変を引き継ぎ「第2回新県美展」として開催した。応募点数1,353点のうち505点が入選。うち、受賞作品62点(大賞7点、優秀賞14点、奨励賞41点)。また、期間中の入館者人気投票により入館者人気大賞3点、同敢闘賞6点が選定され、招待作家19名の作品を展示した。

主催

広島県

共催

庄原市教育委員会・三次市教育委員会・大崎上島町教育委員会・世羅町教育委員会・福山市教育委員会・府中市教育委員会・安芸高田市教育委員会・竹原市・三原市教育委員会・中国新聞社

後援

NHK広島放送局・中国放送・広島テレビ・広島ホームテレビ・テレビ新広島・広島エフエム放送・FMちゅーピー76.6MHz・エフエムふくやま・尾道エフエム放送・FMはつかいち76.1MHz・広島リビング新聞社

開催会場、期間および観覧者数

市町名	会 場	会 期	観覧者数
広島市(中央展)	広島県立美術館	6月28日(土)～7月13日(日)	7,339人
庄原市	庄原市田園文化センター	7月23日(水)～7月27日(日)	223人
三次市	美術館あーとあい・きさ	7月30日(水)～8月3日(日)	158人
大崎上島町	大崎上島文化センター	8月6日(水)～8月10日(日)	221人
世羅町	世羅町せらにشتاونセンター	8月13日(水)～8月17日(日)	268人
福山市	ふくやま美術館	8月20日(水)～8月24日(日)	949人
府中市	府中市生涯学習センター	8月27日(水)～8月31日(日)	453人
安芸高田市	向原生涯学習センターみらい	9月3日(水)～9月7日(日)	701人
竹原市	たけはら美術館	9月10日(水)～9月14日(日)	391人
三原市	三原市民ギャラリー	9月17日(水)～9月21日(日)	599人

合計 11,302人

入賞者名簿(※◎は大賞、○は優秀賞、無印は奨励賞)

絵 画 系	◎桑原 英美	◎湊 里香	○長岡 明子	○隨行 町子	○中石 梢
	○川本 敬子	齋藤 侖	住川 道子	穴迫 隆宏	森加 祥史
	塚本 淳子	馬本 雅文	竹広 国敬	坂本 麻理	藤原 晋
	石原 詠子	小寺 義雄	安道 隆之	広川ツヤコ	
彫 塑 系	◎正司 強	○吉原 正樹	森近 伸男	山中 洋明	
工 芸 系	◎西原 玲子	○永田 雅治	○馬船 宏明	永谷 早登	三好幸二郎
	沖本 道子	谷本美知恵			
書 系	◎百々 峰玉	○片山 翠江	○四良丸シゲ子	宮川 清圃	八谷 香雪
	藤川 佳三	金垣 清苑	鵜川 恵子	大野 寿翠	中川 雅遊
	児玉 裕美	藤井 峯子			
写 真 系	◎小川 恵司	○西垣 正明	○立花 茂樹	小丸 正文	傳道 秀樹
	今田 淳	表 孝征	瀬尾 清	平野 弘幸	神原 正臣
	渡辺 紘機				
デザイン系	◎田才 準	○小島 信行	藤原 茂美	萩野 憲子	
映 像 系	○川崎 真衣	○西原 美彩	篠原 祐木	宇佐見友里	橋浦 脩人

2 第3回広島県ジュニア美術展

この展覧会は「広島県の児童・生徒等の優れた作品を公募し、展示することにより、創作活動を奨励するとともに、鑑賞の機会を提供し、次世代の美術力(感じる力、考える力、みる・かく・つくる力)の向上を図ること」を目的に、平成24年度から開催した。このたびの第3回展では、応募点数3,762点のうち1,233点が入選。うち、受賞作品149点(大賞8点、優秀賞27点、奨励賞114点)。

主催

広島県

共催

広島県教育委員会・中国新聞社

後援

NHK広島放送局・中国放送・広島テレビ・広島ホームテレビ・テレビ新広島・広島エフエム放送・FMちゅーピー 76.6MHz・エフエムふくやま・尾道エフエム放送・FMはつかいち76.1MHz・リビングひろしま

会場

広島県立美術館 (地階県民ギャラリー)

会期

平成26(2014)年12月17日(水)～平成26年12月25日(木)
※12月19日(金)は19時まで、12月25日(木)は14時まで開場

入館料

無料

観覧者数

4,542人

入賞者名簿(※◎は大賞、○は優秀賞、無印は奨励賞)

絵画系	◎高橋 さくら	◎志 窪 悠 作	◎佐藤 里 菜	◎野村 かなめ
	○角川 星 夏	○内海 航 志	○生野 奏	○和田 心 優
	○渡邊 有希乃	○佐藤 有 希	○田中 幸 子	○佐々木 結 衣
	○荒木 鈴 夏	○新田 晟	○太田 有 香	○伊藤 大 翔
	○猪飼 美 里	○大月 拓 登	○カイアーファ ニコロ亮	
	桑原 伶 奈	中谷 龍 人	宮元 秀 寅	井上 優 心
	新谷 濟	松尾 朱 莉	濱本 洋 平	林 未 来
	横山 乃英瑠	土井 亜依梨	皿海 風	安藤 徳 香
	谷元 遥	中村 桜 子	生野 響	白神 新 太
	青田 隆太郎	坂本 愁 治	大宅 歩 音	塚本 春 花
	高塚 獅 月	兒玉 晶 子	富野 虎之丞	兒玉 明 子
	松原 星 橋	正木 心 愛	中尾 太 智	龜山 遼 平
	三宅 悠 斗	山中 優 心	今田 颯之介	下方 一 晟
	西家 碧 生	小田 美 鈴	金子 卓 仁	北 臺 空
	小林 愛 乃	平林 りん	竹崎 郁 佳	西内 海 斗
	加藤 紗 香	渡邊 倫 子	末廣 凛之介	力 廣 結 月
	中本 帆 香	國光 桜	永島 愛 美	田口 華
	真野 友 喜	川口 冬 輝	濱 尚 美	渡 邊 万 伊

	岩	本	彩	希	岩	田	柚	希	門	馬	千	珠	伊	藤	詩
	河	村	ゆう	すけ	田	島	歩	夢	栗	本	珠	未	原	佳	孝
	角	本	嗣	久	森	田	一	至	山	際	夏	芽	上	岡	舞
	安	原	文	翔	井	出	愛	音	安	井		彰	久	保	步
彫															
刻	◎	新	田	諒	○	木	宙	汰	○	西	内	斗	吉	原	史
系		吉	崎	鈴		尼	皓	暉		松	田	暉	茶	井	響
		北	辰	渚	○	守	夏	実							
工芸(工作)系	◎	藤	田	陽	○	伊	勇	人	○	松	本	尋	○	丹	智
		岡	田	生	○	小	健	太		田	浦	大		成	健
		山	野	穂	○	富	遥	己		古	川	菜		山	涼
		林	瑞	海		田	友	誠		矢	熊	苗		黒	晃
		白	望	菜		川	夕	夏		重	川	貴		片	陽
		須	鈴	来								一			
写	◎	栢	里	加	○	倉	芽	美	○	渡	邊	元	神	田	涼
真		先	幸	子		藤	大	樹		田	中	雪	森	本	光
系		河	朱	那		黒	晃	希		湯	浅	斗	宮	田	太
		村	優	花	○	笠	志	步		○	原	衣	○	阿	依
		中	杏	美		秋	岳	大		米	田	衣		座	咲
		加	紗	香		渡	倫	子		高	本	愛		上	志
		織	恵	奈		松	風	希		井	出	音		橋	櫻
デザイン系		下	日	和										高	井

3 博物館実習

大学及び短期大学における博物館学講座の単位習得の一環として、博物館学を履修する学生を一時的に受け入れ、博物館現場における知識及び技能を修得させることにより、人材の育成を図ることを目的として実施している。

開設日時とカリキュラム、および受入先は次のとおり。

開設日時と内容

8月21日(木)	9:30～9:45	開講あいさつ・美術館と学芸活動
	10:15～11:00	オリエンテーション
	11:00～12:00	館長講和(美術館とマネジメント)
	13:00～14:00	美術館の展示環境
	14:00～15:00	所蔵作品展会場見学
8月22日(金)	9:30～12:00	作品取扱い実習・調書作成(絵画・彫塑)
	13:00～15:00	作品取扱い実習・調書作成(工芸)
	15:00～16:00	「ムーミン展」会場見学
8月23日(土)	9:30～10:30	展覧会を取材する(館内取材・資料調査)
	10:30～12:00	展覧会を紹介する(短評作成・相互批評)
	13:00～14:00	ミニ企画展実習(2企画-討議)
	14:00～16:00	ミニ企画展実習(3企画-立案)
8月25日(月)	9:30～10:30	ミニ企画展実習(4企画-集約)
	10:30～12:00	ミニ企画展実習(5企画-制作)
	13:00～16:00	ミニ企画展実習(6企画-制作)
8月26日(火)	9:30～12:00	ミニ企画展実習(7企画-発表準備)
	13:00～14:30	ミニ企画展実習(8発表)
	15:00～16:00	受講生ディスカッション

受講生所属大学

広島市立大学、広島女学院大学、広島大学、比治山大学、女子美術大学、大阪芸術大学、大阪国際大学(計15名)

ミニ企画展実習

メインカリキュラムの「ミニ企画展実習」では、仮想の展覧会を企画することにより、美術館業務を体験することをねらいとする。受講生は3班に分かれ、グループワークにより、今回は、主たるターゲット層を設定し、ターゲットに訴求するテーマに基づき当館所蔵作品5点程度で展覧会を企画・構成し、あわせて、広報イメージ・子ども向けワークシート・関連イベント等を考案し、プレゼンテーションを行うという課題にとりくんだ。各班から提案された展覧会企画は次のとおり。

①	広島紀行～絵画でめぐる新しい広島～ ターゲットを観光客とし、観光地以外も含む広島の各地が描かれた作品を展示することにより、広島の多彩な表情を紹介し、実際にその地域を訪れるきっかけを作り、地域の活性化にもつなげることを目的とする。
②	所蔵コレクション名品展 月明かりの美術館 主なターゲットを若いカップルとし、月をテーマとした作品を展示することにより、ロマンチックな夜景をイメージできるデートスポットとしての美術館を提案する。若年層のほか近隣他施設との連携により、夫婦や子どもたちも楽しめるイベントを企画し、親しまれる美術館を目指す。
③	SHO展 書道と現代アート 外国人をターゲットとして、隣接する国の名勝・縮景園を訪れる外国人の興味・関心を引いて来館を促すため、日本の伝統文化「書」をテーマに、書作品を中心に、書から派生した現代アートや書にまつわる調度品により展覧会を構成する。

(本研修担当者：宮本真希子)

4 学校、地域との連携事業

美術作品鑑賞教室

事業内容

所蔵作品や鑑賞補助教材を活用した授業や講座を出張して行うことにより、学校や地域における美術鑑賞活動を支援し、美術館と学校や地域との相互交流を促進する。

(1) 美術作品鑑賞教室（作品持参）

今日の学校における美術教育では、生活の中の造形や美術の働き、美術文化に関心をもって生涯にわたり主体的にかかわっていく態度を育むことが求められ、表現と並んで鑑賞指導の重要性が認識されていることから、児童・生徒の美術への関心や鑑賞力を高めることを目的として、当館が所蔵する美術作品を学校（年間3校）に持ち込み、本物の美術作品に身近に接する機会を提供する。

①広島大学附属福山高等学校

「新しい価値観を身に付け、成長するきっかけにしたい」との学校側の意図を受け、「美術の持つ多様な価値観を体験する。複数の造形的視点から読み解きのできる作品を鑑賞する」を方針として授業を構成した。また、実物作品と作品画像との違いを体感させるために、担当教諭が画像による事前授業を実施した。

実施月日：平成26年11月18日(火)

鑑賞作品：トルクメンジュエリー《首胸飾り(ブカウ)》、鯉江良二《vessel》、
佐藤敏《MAN面MAN》、角浩《平和のメリーゴーランド》、
菅井汲《FESTIVAL DE TOKYO》

参加人数：1年生38名

授業実施：牧原竜浩(美術科教諭教諭)、宮本真希子(当館学芸員)

②安芸太田町立戸河内中学校

「山間部の学校で豊かな自然に恵まれているが、美術作品に接する機会が少ない」との学校側の事情に鑑み、「自然の恵みを利用したり、自然から触発されて制作された作品を鑑賞することにより、自然の大切さを再認識するとともに、自然と美術の相互関係に気づき、双方に親近感を醸成すること」を方向性として授業を構成した。

実施月日：平成26年12月5日(金)

鑑賞作品：小林和作《秋山》、トルクメンジュエリー《護符入れ(トゥマル)》、
五代金城一國齋《高盛絵四季寄花硯箱》、木村芳郎《碧釉躍篋文鉢》、
柳原睦夫《空の力学》

参加人数：1 - 3年生56人

授業実施：宮本真希子(当館学芸員)

③呉市立長迫小学校

学校側の希望が「児童が親近感の持てる観点やテーマの作品を鑑賞し、良い作品とはどのようなものか、鑑賞することは何をすることかを体験しながら学ばせたい」というものだったので、「美術作品には様々な素材や表現法、価値観があり、良い作品は一つの基準では測れないこと、作品の受け止め方にも皆に共通する部分と個人により異なる部分があることを体験すること」を方向性として授業を構成した。

実施月日：平成26年12月16日(火)

鑑賞作品：鯉江良二《vessel》、楠部彌弍《緑釉向日葵花瓶》、名井万亀《憩い》、
平山郁夫《みのり》、菅井汲《FESTIVAL DE TOKYO》

参加人数：1 - 3年生90人

授業実施：宮本真希子(当館学芸員)

(2) 美術作品鑑賞教室（出張講座）

本講座は、県立美術館の館長をはじめ学芸員が公民館や生涯学習センター、学校などに出向き、スライドなど鑑賞補助教材を用いて行うもので次の3つのコースにより構成する。

A 館長トーク 館長が美術館マネジメントや専門研究分野について行う講座（2講座）

B コレクション・トーク 当館所蔵作品をテーマに学芸員が行う講座（18講座）

C 特別展のためのとくべつ講座 当該年度に開催する特別展を学芸員が紹介する講座（6講座）

平成26年度における実施状況は次表のとおりで、地域や学校における美術鑑賞活動を支援するとともに、特別展を普及広報し、美術館への関心や親しみを醸成した。

No.	開催日	会 場	講師	講座コース・タイトル	参加(人)
1	7月13日(日)	広島市湯来南公民館	角田	水彩画の魅力	11
2	7月13日(日)	千代田中央公民館	福田	ムーミンママのお料理に挑戦!	19
3	7月16日(水)	広島県立広島中央特別支援学校	福田	シルクロードの工芸と民族衣装 布をめぐるミクロとマクロのおはなし	4
4	7月18日(金)	広島市高陽公民館	越智(館長)	日本美術と海外交流 - 桃山・江戸時代を中心に	30
5	7月18日(金)	広まちづくりセンター	山下	ダリって誰?	525
6	7月30日(水)	熊野町民会館	福田	ムーミンママのお料理に挑戦!	29
7	7月31日(木)	広島市高陽公民館	福田	ムーミンママのお料理に挑戦!	9
8	8月11日(月)	広島市船越公民館	福田	ムーミンママのお料理に挑戦!	26
9	8月12日(火)	竹原市大井公民館	福田	ムーミンママのお料理に挑戦!	25
10	8月18日(月)	広島市早稲田公民館	福田	ムーミンママのお料理に挑戦!	19
11	8月19日(火)	福山市緑ヶ丘公民館	福田	びじゅつかんのおしごと	12
12	8月25日(月)	広島市段原公民館	角田	水彩画の魅力	70
13	8月28日(木)	宮島市民センター	向田	厳島神社の工芸品	30
14	9月5日(金)	広島市立安西小学校	角田	水彩画の魅力	70
15	9月18日(木)	広島市立五日市観音西小学校	藤崎	フジタさんの絵のヒミツ	85
16	9月29日(月)	尾道市立向東小学校	角田	水彩画の魅力・風景画を楽しむ	70
17	10月2日(木)	クルトピア明郷	越智(館長)	日本美術と海外交流 - 桃山・江戸時代を中心に	150
18	10月5日(日)	広島市己斐公民館	福田	シルクロードの民族料理パラオを作って食べよう!	11
19	10月6日(月)	三原市立久井小学校	宮本	鬚光(アートカードを用いて)	79
20	10月7日(火)	安芸高田市立高宮中学校	藤崎	自画像を楽しむ	54
21	10月9日(木)	広島市大塚公民館	石川	ポーラ美術館コレクション展	48
22	10月15日(水)	広島市立古市小学校	石川	野外彫刻をめぐる旅	90
23	10月16日(木)	廿日市市立吉和中学校	向田	厳島神社の工芸品	17
24	10月22日(水)	廿日市市立宮内小学校	山下	ダリって誰?	80
25	10月23日(木)	広島市利松公民館	福田	シルクロードの工芸と民族衣装	10
26	10月23日(木)	安芸高田市立美土里中学校	藤崎	自画像を楽しむ	48

27	10月28日(火)	広島市立美鈴が丘中学校	向田	厳島神社の工芸品	100
28	10月28日(火)	竹原市立東野公民館	石川	ポーラ美術館コレクション展	30
29	10月28日(火)	広島三育学院小学校	角田	水彩画の魅力・風景画を楽しむ	59
30	10月29日(水)	広島市立高南小学校	石川	ポーラ美術館コレクション展	48
31	10月31日(金)	府中町立府中東小学校	藤崎	自画像のひみつ	59
32	11月5日(水)	北広島町立大朝中学校	藤崎	自画像を楽しむ -郷土の画家・鬨光に因んで-	49
33	11月5日(水)	竹原市立大乘小学校	宮本	鬨光(アートカードを用いて)	36
34	11月6日(木)	広島市利松公民館	福田	シルクロードの民族料理パラオを作って 食べよう!	10
35	11月6日(木)	府中町立府中北小学校(視聴覚室)	山下	ダリって誰?	98
36	11月13日(木)	江田島市大柿公民館	宮本	六角紫水	20
37	11月15日(土)	広島市白木公民館	福田	びじゅつかんのおしごと	15
38	11月25日(火)	世羅町立せらにし小学校	山下	ダリって誰?	69
39	11月27日(木)	県立尾道特別支援学校	宮本	鬨光(アートカードを用いて)	107
40	11月28日(金)	広島市立五日市東小学校	角田	水彩画の魅力・風景画を楽しむ	80
41	11月28日(金)	広島県立三次看護学校	向田	厳島神社の工芸品	59
42	12月12日(金)	広島市立落合東小学校	山下	ダリって誰?	53
43	12月13日(土)	安佐北区三入東児童館	宮本	鬨光(アートカードを用いて)	15
44	1月17日(土)	江田島市立能美図書館	宮本	美術作品を通して瀬戸内を学ぶ	7
45	1月19日(月)	呉市立倉橋中学校	宮本	文様でつながるアジアの心	76
46	1月19日(月)	修道高等学校	山下	ダリって誰?	300
47	1月20日(火)	福山市綱引公民館	福田	工芸作品を守る	25
48	1月21日(水)	広島市立飯室小学校	福田	シルクロードの民族料理パラオを作って 食べよう!	41
49	1月24日(土)	中央勤労青少年ホーム	隅川	ジャパン・ビューティー -描かれた日本美人-	7
50	1月26日(月)	広島市祇園公民館	石川	野外彫刻をめぐる旅	70
51	1月29日(木)	県立広島中央特別支援学校	宮本	文様でつながるアジアの心	4
52	2月5日(木)	Kultピア明郷	向田	厳島神社の工芸品	150
53	2月6日(金)	呉市立音戸小学校	山下	ダリって誰?	104
54	2月9日(月)	廿日市市立宮内小学校	角田	水彩画の魅力・風景画を楽しむ	74
55	2月10日(火)	福山市神辺公民館	福田	シルクロードの民族料理パラオを作って 食べよう!	20
56	2月13日(土)	広島市観音台公民館	宮本	第61回日本伝統工芸展	25
57	2月18日(水)	広瀬集会所	向田	厳島神社の工芸品	9

(全 57 会場 / 参加合計 3,440 人)

5 新規作成ワークシート・リスト


来館者の鑑賞を支援するため、おおむね小学校高学年以上を対象とした所蔵作品のワークシートを作成している。平成26年度は新たに16種類のワークシートを作成し、合わせて306種となった。

No.	所蔵品番号	作者名・制作地	作品名	制作年	材質・技法
1	J-337	船田 玉樹	日輪	1940年	紙本彩色
2	O-782	緒方 亮平	南の室	1959年	油彩・画布
3	D-257	巖 光	花	1941年頃	紙本淡彩
4	O-540	高橋 秀	かにかのある静物	1960年	油彩・画布
5	O-472	金光 松美	AUGUST	1960年	油彩・画布
6	HB-236	インド	藍地葉文更紗	18世紀	木綿・手描防染
7	HC-281 ～756のうち	トルクメン人	指輪		銀・鍍金・カーネリアン・トルコ石・ガラス
8	HC-030	北ヨムート族、トルクメン人	花嫁用頭飾り	1342年 (西暦1923-24年)	銀・鍍金・ガラス
9	HC-016	ホラーサーン地方	青銅銀象嵌大水盤	12世紀中期	青銅・鑄造
10	HC-019	ホラーサーン地方	青銅銀銅象嵌蓋付インク壺	12世紀	鑄造・彫金
11	HC-009	清水 南山	猫金具付小児用手提	1939年	銀・彫金・布
12	HC-773	清水 南山	飛龍躍浪文硯屏	1942年	銀・彫金
13	HA-236	宮永 理吉	天空の森(+型紙)	1997年	磁器
14	HB-020	芹沢 銈介	みのケラ屏風	1955年	紬・型染
15	HB-011	宗廣 力三	茜茶ほぐし どぼんこ染緋着物	1985年	絹・紬
16	SD-026	吉田 正浪	座像	1979年	ブロンズ

ワークシート作例

HC-030

花嫁用頭飾り
銀・金メッキ・ガラス



トルクメン・北ヨムート族「花嫁用頭飾り」の写真

シルクロードの中心部、中央アジアのトルクメンは、大ぶりの存在感あるさまざまなジュエリーを好みます。

広島県立美術館

花嫁の頭飾りに刻まれた文字

トルクメンのジュエリーには、文字が刻まれる場合があります。この頭飾りには文字の輪郭を美しく彫刻し、一部(年)には鍍金が施された華やかな装飾が存在します。

中央には、「アマル・バイラム・ムハンマド」は作った人・工房名のバイラム・ムハンマド作、「ヤーハイ」「ヤカイユム」は意味不明、「1342サナ」はヒジュラ暦「1342年」(西暦1923-24年)が刻まれています。左側には「銀の重量 135ミスカル」、右側には「金の重量2ミスカルと4」と書かれています。

ミスカル(مِسْكَال)とは、イスラム文化圏で使用される重さの単位で、1ミスカル=4.64gです。計算すると、金の重量は2.4年10.71g、銀の重量は135年602.64gとなり、合計して613.35グラムとなります。これには、色ガラスが含まれていません。全体を計量したところ、644グラムでした。

文字は、花嫁側からの贈りもののひとつとして、家宝の価値、家の格や豊かさを誇示するために刻まれたのかもしれませんが、ジュエリーの価格を金銀の重量で決める商習慣は現代でも行われており、花嫁のための頭飾りの価値を重視するものとして考えていたことが伺えます。

広島県立美術館

J-337

日輪
1940(昭和15)年
紙・彩色・屏風



船田 玉樹 1912-1991(大正元-平成3)年
広島県呉市出身。同じ広島県出身の丸木位里らと「展覧美術協会」を結成し、日本画の伝統をふまえた上で、斬新な表現を試みます。しばらく東京で活躍しましたが、やがて活動の場を広島に移しました。

広島県立美術館

O-781

花
1941(昭和16)年頃
油彩・板



巖 光 1907(明治40)年-1946(昭和21)年
現在の広島県山県郡北広島町に生まれました。目に見える様子よりも自分の感じた世界を大切に描きました。自画像が代表的な作品です。

広島県立美術館

6 学校等による利用状況

No	学校名	住所	利用年月日	生徒	引率	計
1	広島大学付属小学校	広島市南区翠 1丁目1-1	平成26年4月17日	76	2	78
2	広島朝鮮初中高級学校	広島市東区山根町37-50	4月18日	22	2	24
3	広島県立御調高等学校	広島県尾道市御調町神204-2	4月22日	53	6	59
4	広島県立宮島工業高等学校	広島県廿日市市物見西2-6-1	4月22日	38	2	40
5	広島市立長東小学校	広島市安佐南区長東4丁目15-1	5月2日	89	4	93
6	益田市立益田中学校	島根県益田市栄町14-6	5月17日	39	2	41
7	愛知教育大学付属名古屋中学校	愛知県名古屋市中区大幸南1丁目126番地	5月21日	1	0	1
8	岩国市立平田中学校	山口県岩国市平田6丁目26-13	5月21日	10	1	11
9	岩国市立灘中学校	山口県岩国市藤生町2-25-1	5月22日	34	1	35
10	笠岡市立笠岡東中学校	岡山県笠岡市西大島新田15-3	5月23日	19	0	19
11	岩国市立川下中学校	山口県岩国市中津町2丁目22-25	5月23日	15	0	15
12	北広島町立八重東小学校	広島県山県郡北広島町有田1897番地1	6月27日	39	4	43
13	学校法人三幸学園 飛鳥未来高等学校	広島市南区松原町10-26	7月15日	10	2	12
14	広島市立中島小学校	広島市中区加古町10-8	7月17日	59	34	93
15	広島県立井口高等学校	広島市西区井口明神2丁目11-1	7月23日	36	2	38
16	岩国市立麻理布中学校	山口県岩国市室の木町2丁目7-11	7月23日	25	1	26
17	広島県立熊野高等学校	広島県安芸郡熊野町川角5丁目9-1	7月24日	10	10	20
18	柳井市立柳井中学校	山口県柳井市柳井4155	8月8日	31	1	32
19	東広島市立高屋中学校	東広島市高屋町中島760	8月20日	11	1	12
20	岩国市立岩国中学校	山口県岩国市錦見2-5-80	8月20日	43	4	47
21	廿日市市立七尾中学校	広島県廿日市市平良2丁目2-34	8月28日	22	1	23
22	広島市立吉島東小学校	広島市中区吉島東3丁目2-9	8月29日	87	5	92
23	広島市立幟町中学校	広島市中区上幟町6-29	8月29日	11	1	12
24	広島市立段原小学校	広島市南区的場町2丁目4-19	9月2日	67	2	69
25	広島市立似島小学校	広島市南区似島町大黃2410	9月5日	11	2	13
26	広島市立広島特別支援学校	広島市南区出島4丁目1-1	9月5日	72	26	98
27	中川学園 広島総合教育専門学校	広島市東区愛宕町3-14	9月5日	17	1	18
28	安芸太田町立加計小学校	広島県山県郡安芸太田町加計3525-2	9月17日	27	3	30
29	江田島市立大古小学校	江田島市大柿町大原1270-1	9月19日	28	2	30
30	東広島市三ツ城小学校	東広島市西条中央	9月24日	138	7	145
31	竹原市立大乘小学校	竹原市高崎町185番地7	10月9日	42	5	47
32	邑南町立口羽小学校	島根県邑智郡邑智町下口羽550-1	10月14日	18	4	22
33	国立斗六高級家事商業学校	台湾雲林	10月15日	24	11	35
34	北広島町教育委員会 千代田中央公民館	広島県山県郡北広島町有田1220-1	10月19日	16	2	18
35	大崎上島町立木江小学校	広島県豊田郡大崎上島町沖浦249番地	10月30日	30	4	34
36	名古屋市立北高等学校	名古屋市北区如來町50番地	10月30日	6	2	8
37	三次市立吉舎町小学校	三次市吉舎町三玉444	10月31日	42	4	46
38	静岡県立御殿場特別支援学校	静岡県御殿場市神山1553-3	11月7日	13	3	16
39	守山市立守山小学校	滋賀県守山市勝部1丁目13-1	11月14日	25	2	27
40	安田女子中学高等学校	広島市中区白島北町1-41	11月26日	26	1	27
41	広島市立美鈴が丘小学校	広島市佐伯区美鈴が丘1丁目8-1	12月2日	74	4	78
42	広島市立石内小学校	広島市佐伯区五日市町石内3276	12月2日	76	4	80
43	安田女子中学高等学校	広島市中区白島北町1-41	12月3日	28	1	29
44	広島市立可部小学校	広島市安佐北区可部4-9-1	12月4日	130	4	134
45	広島女学院中学校	広島市中区上幟町11-32	12月16日	14	1	15
46	中川学園 広島総合教育専門学校	広島市東区愛宕町3-14	平成27年1月16日	20	1	21
47	広島市立温品小学校	広島市東区温品7丁目8-8	1月23日	2	2	4
48	広島女学院中学高等学校	広島市中区上幟町11-32	2月13日	10	4	14
49	広島インターナショナルスクール	広島市安佐北区倉掛3-49-1	2月27日	21	9	30
50	広島市立矢賀小学校	広島市東区矢賀2丁目10-67	3月4日	51	3	54
51	広島インターナショナルスクール	広島市安佐北区倉掛3-49-1	3月11日	26	4	30
計				1,834	204	2,038

7 平成26年度県民ギャラリー利用状況

平成26年4月1日～平成27年3月31日まで

利用団体数		延べ開催日数	入場者数
入場有料の場合	10団体	60日	48,275人
入場無料の場合	88団体	528日	85,937人
計	98団体	588日	134,212人

平成26年度県民ギャラリー利用団体一覧表

展覧会名	会期	展示室	内 容	出品点数	入 場 料 金	入場者数
第1回 はなが女子	3/31～4/7	1	絵画	62点	無料	709
平和へのアプローチ ゼロ・ヒガシダ展	3/31～4/7	2	彫塑	10点	無料	600
のんびり絵画教室10人展	3/31～4/7	3	絵画、彫塑	71点	無料	1,500
第34回 路展	3/31～4/7	45	絵画	67点	無料	1,057
第17回 全陶展広島支部展	4/7～4/14	1	工芸	20点	無料	605
第17回 広島水墨画会展	4/7～4/14	23	絵画	79点	無料	720
高倉百合子写真展 「凍てつく朝に」	4/7～4/14	4	写真	55点	無料	1,074
第10回 手織適塾SAORI広島展	4/7～4/14	5	工芸	100点	無料	669
公募・第35回記念 関西綜美会展	4/14～4/21	12345	絵画、彫塑、工芸、書、写真	176点	無料	1,542
第19回 グループ宙遊展	4/21～4/28	1	絵画	34点	無料	741
第32回 A R Gグループ絵画展	4/21～4/28	2	絵画	82点	無料	919
第11回 むいち会展	4/21～4/28	5	絵画	43点	無料	633
第77回 自由美術巡回展	4/28～5/5	12345	絵画	105点	無料	626
第56回 新協展	5/5～5/12	12345	絵画、工芸	138点	一般 600円 高大生 500円 中学生以下無料	2,262
M4アート展	5/12～5/19	1	絵画、写真	42点	無料	588
武蔵野美術大学広島支部 第43回 MUSABI展	5/12～5/19	2	絵画、彫塑、版画	28点	無料	853
第54回 新制作広島グループ展	5/12～5/19	345	絵画、彫塑	56点	無料	1,578
第19回 墨林会水墨画展	5/19～5/26	1	絵画	40点	無料	652
第48回 みのん展	5/19～5/26	2	絵画	80点	無料	837
第45回 広島県日本画展	5/19～5/26	345	絵画	80点	無料	1,523
第62回 光陽展	5/26～6/2	12345	絵画	117点	一般 500円 高校生以下無料	1,717
第100回記念 光風会展	6/2～6/9	12345	絵画、工芸	183点	一般 600円 高大生 500円 中学生以下無料	9,680
第11回 Petals美術展	6/9～6/16	1	絵画	25点	無料	394
第17回 広島県伝統工芸能面展	6/9～6/16	2	工芸	80点	無料	563
第20回 NHK文化センター写真教室(Ⅱ)作品展	6/9～6/16	3	写真	110点	無料	1,329
第49回 広島県写真連盟展	6/9～6/16	45	写真	298点	無料	1,401
第53回 大調和会広島巡回展	6/16～6/23	123	絵画	86点	無料	1,822
守長グループ絵画展	6/16～6/23	45	絵画	87点	無料	923
第54回 日本版画会展(広島会場)	7/21～7/28	123	絵画	155点	無料	1,402
山・水・花・鳥-趙同家・劉応建二人展	7/21～7/28	4	絵画	30点	無料	307
第50回 広島形象派展	7/21～7/28	5	絵画	50点	無料	484

展 覧 会 名	会期	展示室	内 容	出品点数	入 場 料 金	入場者数
第80回記念 東光展	7/28～8/4	12345	絵画	176点	一 般 600円 高大生 500円 中学生以下無料	5,527
第57回 広島県児童画連盟展	8/4～8/11	1	絵画、工芸	350点	無料	702
第33回 中国七宝協会展と公募展	8/4～8/11	2	七宝(絵画、工芸)	55点	無料	652
公益社団法人 日本七宝作家協会選抜広島展(公募)	8/4～8/11	3	七宝(絵画、工芸)	72点	無料	652
第10回 墨韻会展	8/4～8/11	4	水墨画	52点	無料	362
第46回 黄人展	8/4～8/11	5	絵画、工芸	35点	無料	528
平成26年度 広島県特別支援学校美術・工芸展	8/11～8/18	12	絵画、彫塑、工芸	750点	無料	672
第17回 広島墨彩画展	8/11～8/18	345	絵画	135点	無料	793
第28回 日洋展広島会場	8/18～8/25	12345	絵画	134点	一 般 600円 大学生以下無料	2,591
第66回 毎日書道展中国展	8/25～9/1	12345	書	895点	一 般 800円 高校生以下無料	5,227
藤喜三次77陶展	9/1～9/8	1	工芸	70点	無料	400
第37回 グループ「集」展	9/1～9/8	2	絵画	34点	無料	1,034
第26回 クロッキー同好会 人物素描展	9/1～9/8	3	絵画	48点	無料	726
第49回 グループいしがき展	9/1～9/8	45	絵画	87点	無料	835
第42回 広島彫刻会展	9/8～9/15	1	彫塑	25点	無料	440
第23回 ぐるーぶNAN作品展	9/8～9/15	2	絵画	54点	無料	1,160
第8回 新展広島公募展	9/8～9/15	3	絵画、写真、工芸、その他 (版画、陶芸)	33点	無料	802
第58回 三師会展	9/8～9/15	4	絵画	52点	無料	808
第33回 互の会日本画展	9/8～9/15	5	絵画	83点	無料	1,059
写真展 「和紙に甦る」	9/15～9/22	1	絵画、写真	30点	無料	352
第26回 新滴展	9/15～9/22	2	絵画	40点	無料	1,007
第18回 グループ「Z」水彩展	9/15～9/22	3	絵画	21点	無料	708
第60回 広島職場美術展	9/15～9/22	45	絵画、工芸、書、写真、その他 (絵本、CG)	148点	無料	932
第40回 ヒロシマ・ラボ・クラブ写真展	9/22～9/29	1	写真	55点	無料	537
第30回 一般社団法人 新興美術院 広島支部展	9/22～9/29	2	絵画	25点	無料	988
第6回 広島国展(絵画・工芸)	9/22～9/29	345	絵画、工芸	72点	無料	737
第31回 産経国際書展瀬戸内展	9/29～10/6	12345	書	302点	無料	928
第27回 広島日展会展	10/6～10/12	12345	絵画、彫塑、工芸、書	137点	一 般 400円 高大生 300円	3,466
「松田りえ作品展」	10/13～10/20	1	絵画	32点	無料	214
第36回 二科会写真部広島支部公募展	10/13～10/20	2345	写真	442点	無料	2,064
第28回 NOA写真展	10/20～10/27	1	写真	69点	無料	663
「東亜同文書院大学から愛知大学へ」 広島展示会・講演会	10/20～10/27	2	書、その他(実物資料)	114点	無料	274
第13回 「彩び」展	10/20～10/27	3	絵画、工芸、ジュエリー、 パッケージデザイン、スタンドグラス	110点	無料	899
第4回 暮らしの中の布絵展	10/20～10/27	4	布絵	70点	無料	1,129
第96回 北翔展	10/20～10/27	5	絵画	37点	無料	798
「Free angle」展	10/27～11/3	1	絵画、立体、デザイン	28点	無料	506
第3回 新構造広島巡回展	10/27～11/3	234	絵画、工芸、写真、版画、彫刻	82点	無料	1,966
第44回 渦展	10/27～11/3	5	絵画	54点	無料	915
第22回 ROSÉ野ばら会作品展	11/3～11/10	12	絵画	77点	無料	778

展 覧 会 名	会期	展示室	内 容	出品点数	入 場 料 金	入場者数
京都造形芸術大学 通信教育部 広島学習会 第10回歩展	11/3～11/10	3	絵画、その他	37点	無料	479
広島YMCA学園 2014生徒作品展 「芸大美大受験科」「美術教室」	11/3～11/10	45	絵画、その他	471点	無料	722
第38回広島県高等学校総合文化祭 第46回広島県高等学校書道展	11/10～11/17	1234	書	358点	無料	756
第38回広島県高等学校総合文化祭 第46回広島県高等学校写真展	11/10～11/17	5	写真	289点	無料	364
第38回広島県高等学校総合文化祭 第46回広島県高等学校美術・工芸展	11/17～11/24	12345	絵画、彫塑、工芸、デザイン	550点	無料	1,624
第78回 新制作絵画展	11/24～12/1	12345	絵画	104点	一般 600円 高大生以下無料	4,664
あいサポートアート展	12/1～12/8	12345	絵画、工芸、書、陶芸、 立体造形、版画	381点	無料	977
第3回 「木絆会」版画展	12/8～12/15	1	絵画	63点	無料	677
第45回 元陽展 広島会場	12/8～12/15	234	絵画	90点	無料	2,921
第11回 フォルマーレ展	12/8～12/15	5	絵画	45点	無料	483
第99回 二科展(第59回広島巡回展)	1/5～1/12	12345	絵画、彫塑、写真、デザイン	570点	一般 600円 高大生 400円 中学生以下無料	6,869
第67回 広島県児童生徒書道展	1/12～1/19	12345	書	3,500点	無料	5,784
比治山大学短期大学部 美術科 本科 第47回 卒業制作展 専攻科 第13回 修了制作展	1/19～1/26	12345	絵画、工芸、デザイン、マンガ、 映像	543点	無料	903
第23回 広島県シルバー作品展	1/26～2/2	12345	絵画、彫塑、工芸、書、写真	317点	無料	2,321
第68回 二紀展 広島巡回展	2/2～2/9	12345	絵画、彫塑	131点	一般 600円 高大生 500円 中学生以下無料	6,272
第46回 安田女子大学 書道学科 卒業制作展併催 安田女子大学書道学科 安田学園小・中・高等学校 併設展 平成26年度広島県立熊野高等学校 芸術類型美術コース・書道コース 卒業作品展	2/9～2/16	12345	書	247点	無料	1,318
2015全日本写真連盟広島県本部展 第74回国際写真サロン 第18回朝日写真サロン中国 第15回広島県本部展	2/16～2/23	345	写真	101点	無料	1,235
JPA展 第25回日本写真作家協会会員展 第12回日本写真作家協会公募展	2/23～3/2	12345	写真	500点	無料	1,170
第53回広島大学大学院教育学研究科 造形芸術教育学専修・教育学部 造形芸術系コース修了・卒業制作展/論文発表会	3/2～3/9	12	絵画、彫塑、工芸、デザイン、 その他	50点	無料	590
穴吹デザイン専門学校 卒業修了制作展2015	3/2～3/9	345	デザイン、マンガ	230点	無料	725
第63回 書の友全国書道展覧会	3/9～3/16	12345	書	3,651点	無料	2,041
ひろしま美術研究所・広島芸術専門学校 合同作品展及び 第30回広島芸術専門学校卒業制作展	3/16～3/23	123	絵画、工芸、立体	483点	無料	602
第38回 広島県工芸美術作家協会展	3/16～3/23	4	工芸	21点	無料	392
シード展 シード美術研究所2014年度 在籍生徒作品展	3/16～3/23	5	絵画	214点	無料	360
第2回 はなが女子展	3/23～3/30	1	絵画	39点	無料	779
第33回 彩友会展	3/23～3/30	23	絵画	81点	無料	980
窓竹書道会三十人展	3/23～3/30	45	書	92点	無料	1,190
合 計						134,212

8 友の会事業報告

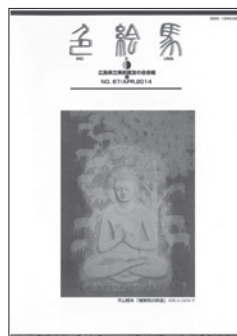
「すぐれた美術作品に接し、それを鑑賞する楽しさを分かち合いながら、自分自身を高めてゆく」ことを目的に昭和47年1月21日に発足した。平成3年から平成8年までの新館工事中は会自体が休止状態にあったが、リニューアルオープンを機に友の会もボランティアで運営する新しい組織となり、会員相互の親睦と美術館の事業にも協力・支援することを目的として、平成9年4月1日付けで再出発した。

会員数961人(個人673人 家族273人 学生3人 賛助11人 特別賛助1人)

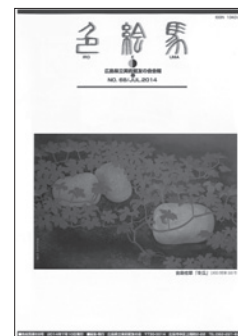
1. 会報の発行

発発行 67号、68号、69号、70号

配布先 会員、美術館関係他



『色絵馬』No.67



『色絵馬』No.68

2. 美術情報及び友の会ニュースの発行

・美術情報 97号、98号、99号

・友の会ニュース 123号～131号

3. HPAM コレクション展のボランティアによるギャラリーガイド

・定時 火曜日～金曜日は毎日 14時から実施
土曜日、日曜日、祝日 11時及び14時から実施
特別展開催中は、月曜日も14時から実施

・臨時 団体申し込み及び美術館の要請により随時実施

・ギャラリーガイド実績

定時 905名(ガイド延人員 443名)

臨時 20件(鑑賞者 441名、ガイド人員 35名)



『色絵馬』No.69



『色絵馬』No.70

4. ボランティア・ギャラリーガイド研修

◆HPAMコレクション展研修(美術館と共催・展示替えの時期)

平成26年 5月10日(土)、9月6日(土)、12月6日(土)、平成27年3月7日(土)

◆研修会

◇平成27年1月10日(土) 頼山陽史跡資料館：「田中頼璋とその一門」展
作品解説と作品制作実演見学

◇平成27年1月24日(土)「私とやきもの」
講師：木村 芳郎(陶芸家)

◇平成27年2月7日(土)「『高蒔絵と高盛絵』技法から見る表現の可能性」
講師：七代 金城一国斎(漆芸家)

◆ギャラリーガイド6期生養成講座

◇平成26年 6月21日(土)、7月5日(土)、7月19日(土)、8月2日(土)、8月23日(土)
9月13日(土)

◇養成人員 4名

5. 日本伝統工芸出張授業の支援

- ◆平成26年10月31日(金) 広島市立湯来南小学校
講師：松岡 裕治(木工)
- ◆平成26年11月19日(水) 広島市立吉島小学校
講師：山根 宏造(陶芸)
- ◆平成26年11月26日(水) 廿日市市立津田小学校
講師：馬船 宏明(漆芸)
- ◆平成27年2月17日(火) 広島市立美鈴が丘小学校
講師：小林 松斎(木工)
- ◆参加児童 159名、ボランティア 10名

6. 講演会(美術館と共催)

- ◆平成26年4月27日(日)「星星會」展
演題：「日本画の伝統と未来」
講師：田渕 俊夫(日本画家)
参加者：202名
- ◆平成26年5月3日(土・祝)「平山郁夫」展
演題：「平山郁夫の芸術」
講師：尾崎 正明(茨城県立近代美術館館長)
参加者：71名
- ◆平成26年8月9日(土)「MOOMIN! ムーミン展」
演題：「ムーミン童話におけるトーベ・ヤンソンの心」
講師：渡部 翠(フィンランド語・スウェーデン語文学研究翻訳家)
参加者：118名
- ◆平成26年9月27日(土)「ポーラ美術館コレクション モネ、ルノワールからピカソまで」展
演題：「モネからピカソ 色彩とかたちの展開」
講師：岩崎余帆子(ポーラ美術館学芸課長)
参加者：180名
- ◆平成26年10月12日(日)「ポーラ美術館コレクション モネ、ルノワールからピカソまで」展
演題：「コレクターの眼差し」
講師：古谷 可由(ひろしま美術館学芸部長)
参加者：120名
- ◆平成26年11月2日(日)「ポーラ美術館コレクション モネ、ルノワールからピカソまで」展
演題：「彫刻と印象主義」
講師：カトリーヌ・シュヴィヨ(フランス国立ロダン美術館長)
参加者：150名
- ◆平成26年11月23日(日・祝)「榮久庵憲司の世界」展
第1部 講演会
演題：「わたしと広島」
講師：榮久庵憲司(GKデザイン機構会長)



11月2日 カトリーヌ・シュヴィヨ氏講演会

第2部 対談

演 題：「明日のデザインと迎賓の心」

講 師：榮久庵憲司(GKデザイン機構会長)

(対談) 上田 宗岡(茶道上田宗箇流家元)

参加者：400名

◆平成27年1月12日(月・祝)「ジャパン・ビューティー」展

演 題：「近代美人画の誕生と移り変わり」

講 師：菊屋 吉生(山口大学教育学部教授)

参加者：95名

◆平成27年2月28日(土)「第61回日本伝統工芸展」

演 題：「金工と私の人生」

講 師：山本 晃(重要無形文化財「彫金」保持者)

参加者：102名

7. 「もっと知ろうシリーズ」(美術館と共催)

◆第35回

期 日：平成26年5月21日(水)

演 題：「広島・瀬戸内からつながる“わ”」

講 師：宮本真希子(広島県立美術館主任学芸員)

参加者：35名

◆第36回

期 日：平成26年10月5日(日)

演 題：「近代日本画の青春」

講 師：福田 道宏(広島女学院大学准教授)

参加者：45名

◆第37回

期 日：平成27年3月22日(日)

演 題：「おしどり画家－山中雪人と水谷愛子の日本画」

講 師：倉橋 清方(元呉市立美術館長)

参加者：38名

8. 美術鑑賞の旅

◆お散歩美術鑑賞会

◇大野ギャラリー「小磯良平作品展」

平成26年6月4日(水) 午前 21名、午後 25名

ギャラリートーク：笠岡あゆみ(大野ギャラリー学芸員)

◇呉市立美術館「ジョルジュ・ルオー展」

平成26年10月11日(土) 21名

ギャラリートーク：角田 知扶(呉市立美術館学芸員)

◇ひろしま美術館「日本洋画 珠玉のコレクション 風景編」

平成27年1月31日(土) 午前 50名、午後 35名

ギャラリートーク：古谷 可由(ひろしま美術館学芸部長)

◆日帰り美術鑑賞旅行

◇新見美術館「佐藤太清」展

岡山県立美術館 「岸田吟香・劉生・麗子」展

第1班 平成26年5月9日(金) 40名

第2班 平成26年5月11日(日) 31名

◇島根県立美術館「水辺のアルカディア」展

奥田元宋・小由女美術館「魅惑の清朝陶磁」展

平成26年6月9日(月) 42名

◇九州国立博物館「クリーブランド美術館」展

平成26年8月20日(水) 36名

◇圓鍔勝三彫刻美術館「圓鍔勝三の世界」

ふくやま美術館「安井曾太郎の世界」展

広島県立歴史博物館「尾張徳川家の名宝 - 優美なる茶と香の世界 -」展

第1班 平成26年11月1日(土) 33名

第2班 平成26年11月6日(木) 36名

◇ふくやま美術館「夜の画家たち」展

姫路市立美術館 「竹内栖鳳」展

第1班 平成27年3月12日(木) 33名

第2班 平成27年3月14日(土) 27名

◆宿泊美術鑑賞旅行

◇「北海道の美術館を巡る新緑の美術鑑賞 3日間」 2泊3日

期日：平成26年5月28日(水)～5月30日(金)

参加者：33名

訪問美術館：北海道立三岸好太郎美術館、モエレ沼公園、後藤純男美術館、
拓真美術館、西美の杜美術館、三浦綾子記念文学館、小樽貴賓館、海陽亭



3月13日 姫路市立美術館「竹内栖鳳展」

9. その他

◆ビブリオバトル

期日：平成26年11月8日(土)

参加者(バトル)：5名

バトル観戦者：23名

◆日本伝統工芸展イベント支援

「子どもワークショップ“ミニチュアお椀のストラップ”をつくろう」

講師：田代 昭夫(漆芸家)

期日：平成27年3月8日(日)

支援人員：3名

参加者：27名

Ⅳ 事業実施状況

事業名	事業内容	実施期間
展覧会開催事業 入館者数 257,161名		
所蔵作品展 入館者数 72,492名	広島県ゆかりの美術作品、日本とアジアの工芸作品、1920-30年代の美術作品をテーマとする当館の所蔵作品を展示し、県民の鑑賞に供した。	常時
特別展 入館者数 184,669名	県民に多様な美術作品の鑑賞機会を提供し本県の芸術文化の向上に資するため、特別展を開催した。	
平山郁夫展 -文化財赤十字への道- 入館者数 12,417名	幼少期から晩年までの画業を、本画やスケッチ、下図等を含めた約80点とあわせて、画家が長年提唱してきた「文化財赤十字」構想にも焦点を当て、創作と一体的な関係を持つ文化財保護活動も含めた、画家の広範な活動の軌跡をたどり紹介した。	平成26年4月8日 ～6月1日
星星會展 -日本画の伝統と未来へ 入館者数 7,777名	現代日本画の重鎮である下田義寛、竹内浩一、田淵俊夫、牧進の4名の日本画家が所属する団体の枠を超えて結成されたグループ星星會。本展覧会では、大作を中心とした各回の星星會展出品作約70点を一堂に展示した。	平成26年4月17日 ～5月25日
広島県主催事業 第2回新県美展 (第66回広島県美術展) 入館者数 7,339名	県民の創作活動の奨励と鑑賞の機会を提供するための公募展を開催した。 応募総数1,353点 大賞7点、優秀賞14点、奨励賞41点、入選数505点	平成26年6月28日 ～7月13日
トーベ・ヤンソン生誕100年記念 MOOMIN! ムーミン展 入館者数 57,649名	フィンランド出身の画家・小説家である、ムーミン童話の原作者トーベ・ヤンソンの生誕100年を記念して、日本初公開の150余点を含む原画・習作等約200点を紹介した。	平成26年8月8日 ～9月6日
ポーラ美術館コレクション モネ、ルノワールからピカソまで 入館者数 57,761名	モネ、ルノワールをはじめとする印象派から、セザンヌ、ファン・ゴッホ、ゴーガン、ピサロなどポスト印象派、さらにルドン、ローランサン、マティス、ブラック、ピカソなど20世紀巨匠の絵画まで、ポーラ美術館所蔵の名画72点を紹介した。	平成26年9月13日 ～11月9日
広島が生んだデザイン界の 巨匠 榮久庵憲司の世界展 入館者数 15,253名	インダストリアル・デザイン界の世界的巨匠である榮久庵憲司(1929-)のモダンデザインと東洋思想を融合させながら、「人」と「道具」のあるべき関係をデザインによって提案し続けてきた、デザインの業績とものづくりの世界を紹介した。	平成26年11月18日 ～9月23日
広島県主催事業 第3回広島県ジュニア美術展 入館者数 4,542名	県内の児童・生徒達を対象に創作活動を奨励するとともに鑑賞の機会を提供し、次世代の美術力の向上を図ることを目的として公募展を開催した。	平成26年12月17日 ～12月25日
ジャパン・ビューティー -描かれた日本美人- 入館者数 12,458名	これまで知られていなかったプライベート・コレクションから、近代の代表的日本画家に明治・大正期から昭和初期にかけて活躍した美人画の三大巨匠と謳われる上村松園、鏗木清方、伊東深水をはじめ、竹久夢二、北野恒富、甲斐庄楠音などの絢爛多彩な美人画の名作を体系的に紹介した。	平成27年1月2日 ～2月15日
第61回日本伝統工芸展広島展 入館者数 9,473名	わが国の優れた工芸技術を受け継いだ陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸作品を、人間国宝から新進気鋭の若手まで広島県内作家を含め日本を代表する作家の作品320点で紹介した。	平成27年2月25日 ～3月15日
学習支援事業	所蔵作品展、特別展等それぞれの事業に応じた学習の機会を提供することにより、県民の美術作品に対する関心を高め、理解を深めた。	
一般		
美術講演会 1,630名		
(63名)	「平山郁夫と文化財保護活動について」 講師：平山助成(平山美術館館長)	平成26年4月13日 (13:30～)
(202名)	「日本画の伝統と未来」 講師：田淵俊夫(日本画家、日本美術院代表理事)	平成26年4月27日 (13:30～)
(71名)	「平山郁夫の芸術」 講師：尾崎正明(美術史家)	平成26年5月3日 (14:00～)

事業名	事業内容	実施期間
(118名)	「ムーミン童話におけるトーベ・ヤンソンの心」 講師：渡部 翠(フィンランド語・スウェーデン語文学研究翻訳家) 演奏協力：上野 真樹 聞き手：福田 浩子(当館主任学芸員)	平成26年8月9日 (13:30～)
(180名)	「モネからピカソ 色彩とわたちの展開」 講師：岩崎余帆子(ポーラ美術館学芸課長)	平成26年9月27日 (13:30～)
(45名)	「近代日本画の青春－美術華やかにし日の日本画の画塾と塾展－」 講師：福田 道宏(広島女学院大学準教授)	平成26年10月5日 (13:00～)
(92名)	「もっと水辺が好きになる」 講師：雁木組	平成26年11月1日 (13:30～)
(150名)	「彫刻と印象主義」 講師：カトリーヌ・シュヴィヨ(フランス国立ロダン美術館館長)	平成26年11月2日 (13:30～)
(400名)	第一部「わたしと広島」 講師：榮久庵憲司(GKデザイングループ会長) 第二部「明日のデザインと迎賓の心」 講師：榮久庵憲司、上田宗岡(茶道上田宗箇流家元)	平成26年11月23日 (13:30～)
(74名)	「榮久庵憲司の世界」 講師：及川 久男(広島市立大学教授)	平成26年12月13日 (14:00～)
(95名)	「近代美人画の誕生と移り変わり」 講師：菊屋 吉生(本展監修者・山口大学教育学部教授)	平成27年1月12日 (13:30～)
(102名)	「金工と私の人生」 講師：山本 晃(重要無形文化財「彫金」保持者) 公演終了後に展示室にて金工作品の作品解説会開催	平成27年2月28日 (13:30～)
(38名)	「おしどり画家－山中雪人と水谷愛子の日本画」 講師：倉橋 清方(元呉市立美術館長)	平成27年3月22日 (13:30～)
特別対談等		
282名		
(282名)	「広島から世界に発信するデザイン」 講師：前田 育男(マツダ株式会社執行役員デザイン本部長) 山田 晃三(GKデザイン機構代表取締役社長)	平成26年11月30日 (13:30～)
ギャラリートーク	特別展等について、展示場で作品に接しながら、分かりやすく作品解説をした。	
1,976名		
125名	平山郁夫展	平成26年4月11日
(10名)	当館主任学芸員 藤崎 綾	4月18日
(28名)		4月25日
(15名)		5月2日
(32名)		5月9日
(18名)		5月16日
(42名)		5月23日
(8名)		5月30日
(15名)		
80名	星星會展	平成26年4月18日
(15名)	当館学芸員 山下 寿水	4月25日
(15名)	講師：永井 明生(奥田元宋・小由女美術館学芸員) ※ 4月18日招聘	5月2日
(14名)		5月9日
(16名)		5月16日
(20名)		
276名	ムーミン展	平成26年8月8日
(20名)	当館主任学芸員 福田 浩子	8月15日
(52名)		8月22日
(55名)		8月29日
(53名)		9月5日
(96名)		

事業名	事業内容	実施期間
455名 (75名) (55名) (55名) (60名) (50名) (65名) (45名) (50名)	ポーラ美術館コレクション展 当館主任学芸員 石川 哲子	平成26年9月19日 9月26日 10月3日 10月10日 10月17日 10月24日 10月31日 11月7日
225名 (74名) (16名) (75名) (23名) (37名)	榮久庵憲司の世界展 当館主任学芸員 角田 新	平成26年11月21日 11月28日 12月5日 12月12日 12月19日
139名 (27名) (15名) (8名) (29名) (18名) (14名) (28名)	ジャパン・ビューティー展 当館学芸員 隅川 明宏	平成27年1月2日 1月9日 1月16日 1月23日 1月30日 2月6日 2月13日
415名 (17名) (20名) (92名) (39名) (23名) (45名) (38名) (64名) (35名) (42名)	日本伝統工芸展 宮本真希子(当館主任学芸員) 小林 松斎(木工作家) 金城一国斎(漆芸作家) 菅坂 安子(七宝作家) 宮本真希子(当館主任学芸員) 井戸川 豊(陶芸作家) 松岡 裕治(染織作家) 栗根 仁志(七宝作家) 宮本真希子(当館主任学芸員) 今田 拓志(陶芸作家)	平成27年2月27日 2月28日 3月1日 3月1日 3月6日 3月7日 3月7日 3月8日 3月13日 3月14日
163名 (15名) (24名) (31名) (38名) (55名)	新潟美展 稲田 全示(デザイン系審査員) 森長 俊六(彫塑系審査員) 若山 裕昭(工芸系審査員) 青原さとし(映像系審査員) 福原 匠一(絵画系審査員)	平成26年6月28日 平成26年7月5日 平成26年7月5日 平成26年7月6日 平成26年7月6日
98名 (12名) (8名) (16名) (4名) (42名) (16名)	HPAMコレクション展 キュレーターズ・トーク「瀬戸内編～瀬戸内を中心テーマに」 講師：宮本真希子(当館主任学芸員) キュレーターズ・トーク「平和編～両大戦間と平和・友好を中心テーマに～」 講師：山下寿水(当館学芸員) おとなむけGT「戦時下から戦後。美術から見る平和のカタチ」 講師：山本恵子(当館指定管理者学芸員) こども向けGT「平和ってなんだろう？みんなで感じる平和のカタチ」 講師：山本恵子(当館指定管理者学芸員) 学芸員リレートーク 講師：当館各担当学芸員 超絶技巧の染織品パトラの謎に迫ろう！ 講師：福田浩子(当館主任学芸員)	平成26年5月16日 平成26年6月13日 平成26年8月2日 平成26年8月16日 平成26年9月28日 平成27年3月21日

事業名	事業内容	実施期間
美術講座 128名	特別展等に関連したテーマのもと、学芸員を講師として開催した。	
(75名)	「近代ヨーロッパ絵画に見る日本」 講師：石川哲子(当館主任学芸員)	平成26年10月18日 (13:30～)
(53名)	「美人画を楽しむ」 講師：隅川明宏(当館学芸員)	平成27年1月25日 (13:30～)
30名	H P A Mコレクション展	
(2名)	おとな向け講座「こどもと一緒に美術館を楽しむ方法」 講師：山本恵子(当館指定管理者学芸員)	平成26年7月13日
(22名)	「圓鋸勝三の彫刻」 講師：石川哲子(当館主任学芸員)	平成26年12月14日
(6名)	こども向け講座「学芸員のおしごと(実技少々あり)」 講師：福田浩子(当館主任学芸員)	平成26年8月17日
平山郁夫連続セミナー 167名	「平山郁夫絵画の美と人生を語る」をテーマにして連続セミナーを開催した。	
(61名)	第1回「再興日本美術院百年史」	平成26年8月2日
(37名)	第2回「玄奘三蔵苦難の旅と平山郁夫の菩薩行」	9月6日
(37名)	第3回「平山郁夫が提唱したシルクロード世界遺産の道」	10月4日
(32名)	第4回「トルコ文明の十字路を行く」	11月1日
美術作品鑑賞教室 (出張講座) 3,440名	所蔵作品や特別展について、当館の館長及び学芸員を講師として公民館や生涯学習センターなどで、見どころをわかりやすく紹介した。	
(11名)	広島市湯来南公民館 (主任学芸員 角田 新)	平成26年7月13日
(19名)	千代田中央公民館 (主任学芸員 福田 浩子)	7月13日
(4名)	広島県立広島中央特別支援学校 (主任学芸員 福田 浩子)	7月16日
(30名)	広島市高陽公民館 (館長 越智裕二郎)	7月18日
(525名)	広まちづくりセンター (学芸員 山下 寿水)	7月18日
(29名)	熊野町民会館 (主任学芸員 福田 浩子)	7月30日
(9名)	広島市高陽公民館 (主任学芸員 福田 浩子)	7月31日
(26名)	広島市船越公民館 (主任学芸員 福田 浩子)	8月11日
(25名)	竹原市大井公民館 (主任学芸員 福田 浩子)	8月12日
(19名)	広島市早稲田公民館 (主任学芸員 福田 浩子)	8月18日
(12名)	福山市緑ヶ丘公民館 (主任学芸員 福田 浩子)	8月19日
(70名)	広島市段原公民館 (主任学芸員 角田 新)	8月25日
(30名)	宮島市民センター (学芸統括マネージャー 向田 裕始)	8月28日
(70名)	広島市立安西小学校 (主任学芸員 角田 新)	9月5日
(85名)	広島市立五日市観音西小学校 (主任学芸員 藤崎 綾)	9月18日
(70名)	尾道市立向東小学校 (主任学芸員 角田 新)	9月29日
(150名)	クルトピア明郷 (館長 越智裕二郎)	10月2日
(11名)	広島市己斐公民館 (主任学芸員 福田 浩子)	10月5日
(79名)	三原市立久井小学校 (主任学芸員 宮本真希子)	10月6日
(54名)	安芸高田市立高宮中学校 (主任学芸員 藤崎 綾)	10月7日
(48名)	広島市大塚公民館 (主任学芸員 石川 哲子)	10月9日
(90名)	広島市立古市小学校 (主任学芸員 石川 哲子)	10月15日
(17名)	廿日市市立吉和中学校 (学芸統括マネージャー 向田 裕始)	10月16日
(80名)	廿日市市立宮内小学校 (学芸員 山下 寿水)	10月22日
(10名)	広島市利松公民館 (主任学芸員 福田 浩子)	10月23日
(48名)	安芸高田市立高宮中学校 (主任学芸員 藤崎 綾)	10月23日
(100名)	広島市立美鈴ヶ丘中学校 (学芸統括マネージャー 向田 裕始)	10月28日
(30名)	竹原市立東野公民館 (主任学芸員 石川 哲子)	10月28日
(59名)	広島三育学院小学校 (主任学芸員 角田 新)	10月28日
(48名)	広島市立高南小学校 (主任学芸員 石川 哲子)	10月29日
(59名)	府中町立府中東小学校 (主任学芸員 藤崎 綾)	10月31日
(49名)	北広島町立大朝中学校 (主任学芸員 藤崎 綾)	11月5日

事業名	事業内容	実施期間
(36名)	竹原市立大乘小学校 (主任学芸員 宮本真希子)	11月5日
(10名)	広島市利松公民館 (主任学芸員 福田 浩子)	11月6日
(98名)	府中町立府中北小学校(視聴覚室) (学芸員 山下 寿水)	11月6日
(20名)	江田島市大柿公民館 (主任学芸員 宮本真希子)	11月13日
(15名)	広島市白木公民館 (主任学芸員 福田 浩子)	11月15日
(69名)	世羅町立せらにし小学校 (学芸員 山下 寿水)	11月25日
(107名)	県立尾道特別支援学校 (主任学芸員 宮本真希子)	11月27日
(80名)	広島市立五日市東小学校 (主任学芸員 角田 新)	11月28日
(59名)	広島県立三次看護学校 (学芸統括マネージャー 向田 裕始)	11月28日
(53名)	広島市立落合東小学校 (学芸員 山下 寿水)	12月12日
(15名)	安佐北区三入東児童館 (主任学芸員 宮本真希子)	12月13日
(7名)	江田島市立能美図書館 (主任学芸員 宮本真希子)	平成27年1月17日
(76名)	呉市立倉橋中学校 (主任学芸員 宮本真希子)	1月19日
(300名)	修道高等学校 (学芸員 山下 寿水)	1月19日
(25名)	福山市綱引公民館 (主任学芸員 福田 浩子)	1月20日
(41名)	広島市立飯室小学校 (主任学芸員 福田 浩子)	1月21日
(7名)	中央勤労青少年ホーム (学芸員 隅川 明宏)	1月24日
(70名)	広島市祇園公民館 (主任学芸員 石川 哲子)	1月26日
(4名)	県立広島中央特別支援学校 (主任学芸員 宮本真希子)	1月29日
(150名)	クルトピア明郷 (学芸統括マネージャー 向田 裕始)	2月5日
(104名)	呉市立音戸小学校 (学芸員 山下 寿水)	2月6日
(74名)	廿日市市立宮内小学校 (主任学芸員 角田 新)	2月9日
(20名)	福山市神辺公民館 (主任学芸員 福田 浩子)	2月10日
(25名)	広島市観音台公民館 (主任学芸員 宮本真希子)	2月13日
(9名)	広瀬集会所 (学芸統括マネージャー 向田 裕始)	2月18日
ワークショップ	所蔵作品展及び開催中の特別展に関連したワークショップを開催した。	
338名		
34名	平山郁夫展・星星會展(共同企画)	
(18名)	「日本画の画材で塗り絵をしよう！」 講師：廣藤良樹(日本画家、日本美術院院友)	平成26年5月6日 (13：30～)
(16名)	「日本画の画材でブックカバーを作ろう！」 講師：廣藤良樹(日本画家、日本美術院院友)	平成26年5月11日 (13：30～)
36名	ムーミン展	
(20名)	「わたしだけのムーミン作ろう！」 講師：谷口千代(人形作家)	平成26年8月17日 (13：00～)
(16名)	「みてみてムーミン！」 講師：松尾真由美(広島市立大学芸術学部講師)	平成26年8月20日 (13：30～)
21名	ポーラ美術館コレクション展	
(21名)	「色と線-光にすかして」 講師：松尾真由美(広島市立大学芸術学部講師)	平成26年10月11日 (13：30～)
12名	ジャパン・ビューティー展	
	セルフフォトワークショップ「絵になる人！」 協力：石田あさきトータルファッション専門学校	会期中
(12名)	「紋・アラカルト」 講師：松尾真由美(広島市立大学芸術学部講師)	平成27年1月17日 (13：30～)
27名	日本伝統工芸展	
(27名)	「ミニチュアお椀のストラップを作ろう！」 講師：田代昭夫(漆芸家 日本工芸会正会員)	平成27年3月8日 (13：30～)
174名	HPAMコレクション展	
(18名)	「はくの、わたしの瀬戸内をかこう！」 講師：宮本真希子(当館主任学芸員) 山下寿水(当館学芸員)、山本恵子(当館指定管理者学芸員)	平成26年5月4日

事業名	事業内容	実施期間
(29名)	「アーティストは観察の達人？観察して描いてみよう」 講師：山本恵子(当館指定管理者学芸員)	平成26年7月20日
(16名)	「あなたはどんな人ですか？お話しを作ってみよう」 講師：山本恵子(当館指定管理者学芸員)	平成26年7月27日
(23名)	「フロッタージュに挑戦？あなただけの博物誌を作ろう」 講師：山本恵子(当館指定管理者学芸員)	平成26年8月3日
(29名)	「カタチとカタチ？組み合わせで描いてみよう」 講師：山本恵子(当館指定管理者学芸員)	平成26年8月23日
(29名)	「美術館でかくれんぼ？作品を見てみよう」 講師：山本恵子(当館指定管理者学芸員)	平成26年8月31日
(30名)	「小さい春見つけた！自然の中の“かわいい”を探そう！」 講師：山本恵子(当館指定管理者学芸員)	平成27年3月15日
34名	コレクションを描いてみよう♪	
(2名)		平成26年5月17日
(9名)		5月18日
(10名)		8月16日
(13名)		8月17日
各種イベント	開催中の特別展にちなんだイベントを開催した。	
9,077名		
138名	平山郁夫展・星屋會展	
(45名)	アートと私の美味しい時間 解説：藤崎 綾(当館主任学芸員)、山下 寿水(当館学芸員) ゲスト：今田 美穂(今田酒造杜氏) 司会：越智裕二郎(当館館長)	平成26年4月25日 (17:00～)
(93名)	「広島レモン」の販売 瀬戸田レモン250kg 売り切れ次第終了	平成26年5月24日
1,876名	ムーミン展	
(18名)	「ムーミンの作者トーベ・ヤンソンさんにバースデー・カードを贈ろう！」	平成26年7月31日 ～8月8日
(57名)	ムーミンの日記念「誕生日の方にバースデー・プレゼント」	平成26年8月9日
(65名)	親子のための読み語り「ムーミンの絵本から」	平成26年8月22日
(57名)	出演：渡辺 美佳、五十嵐 愛(広島ホームテレビアナウンサー)	8月29日 (13:30～)
(44名)	おとなのための「ムーミン童話」	平成26年8月22日
(62名)	出演：串山 真理、五十嵐 愛(広島ホームテレビアナウンサー)	8月29日 (18:30～)
(728名)	ムーミンたちがやってくる！	平成26年8月23日
(782名)	10時、13時、15時(各回30分)	8月24日
(63名)	緊急イベント ムーミンクイズ大会 福田 浩子(当館主任学芸員)	平成26年9月5日 (17:30～)
336名	ポーラ美術館コレクション展	
(30名)	中国新聞ちゅーピーくらぶ向け鑑賞会 講師：石川哲子(当館主任学芸員)	平成26年10月7日 (10:00～)
(30名)		10月22日 (15:30～)
(100名)		10月23日 (14:00～)
(176名)	映画「セラフィヌの庭」上映 主催：広島映画サークル協議会	平成26年11月3日 (13:00～)
74名	榮久庵憲司の世界展	
(74名)	いちだいい知のトライアスロン 演題：「榮久庵憲司の世界」 講師：及川久男(広島市立大学教授)	平成26年12月13日 (14:00～)

事業名	事業内容	実施期間
6,354名	ジャパン・ビューティー展	
(118名)	ふるまい酒：原本店「蓬莱鶴」(白鳥九軒町) 100杯限定	平成27年1月2日
(133名)		1月3日
(46名)	アートと私の美味しい時間 解説：隅川 明宏(当館学芸員) ゲスト：大山 晴彦(大和屋酒舗店長) 司会：越智裕二郎(当館館長)	平成27年1月23日 (17:00～)
(112名)	十二単着付けショー「日本美人にあこがれて」 出演：なごみ会	平成27年1月31日 (11:00～)
(153名)		(14:00～)
(121名)		2月1日(11:00～)
(182名)		(14:00～)
(5,489名)	「あなたはどの美人がお好きですか？ 美人画人気投票」	会期中
204名	日本伝統工芸展	
(52名)	アートと私の美味しい時間“日本酒が繋ぐ、イタリア料理と伝統工芸” 解説：宮本真希子(当館主任学芸員) ゲスト：畠 崇(八幡川酒造株式会社品質管理部長) 司会：越智裕二郎(当館館長)	平成27年3月6日 (17:00～)
(152名)	きものDE美術館	会期中
95名	ウェブレポーター	
(7名)	平山郁夫展	平成26年4月11日
(4名)	星星會展	平成26年4月18日
(3名)	HPAMコレクション展	平成26年4月25日
(32名)	ムーミン展	平成26年8月8日
(21名)	ポーラ美術館コレクション展	平成26年9月19日
(14名)	榮久庵憲司の世界展	平成26年11月21日
(9名)	ジャパン・ビューティー展	平成27年1月9日
(5名)	日本伝統工芸展	平成27年2月27日
コンサート	開催中の特別展に関連したコンサートや木管楽器や弦楽器などの演奏会を1階メインロビー等で開催することにより、来館者に美術鑑賞と一体となった憩いのひとときを提供した。	
5,919名		
4,441名	ロビーコンサート	
(52名)	演奏者：平井千香子、山本 愛子、谷崎 友美	平成26年4月12日
(57名)	演奏者：三上 梨菜、坂本 黎子、中尾 友香	4月19日
(69名)	演奏者：神田 真枝、馬場沙也香、原 彩佳	4月26日
(108名)	演奏者：岩本 未来、滝口亜利沙、森岡 奏山	5月3日
(167名)	演奏者：石原有希子、岡野 希美、浅田 真生	5月10日
(80名)	演奏者：静間 千聖	5月17日
(126名)	演奏者：上田 愛彦	5月24日
(61名)	演奏者：若岡 史子、福島 由美、森岡 奏山	5月31日
(58名)	演奏者：広島文化学園大学	6月28日
(91名)	演奏者：カウオティム・リコーダー・アンサンブル	7月5日
(102名)	演奏者：上谷遼太郎、下瀬 智子	7月12日
(157名)	演奏者：高口かれん	8月16日
(110名)	演奏者：塩見 貴子	8月23日
(91名)	演奏者：森田 夕貴、大下枝里子	8月30日
(131名)	演奏者：城本 朝子、笠井 悦子	9月6日
(74名)	演奏者：広島文化学園大学	9月13日
(71名)	演奏者：広島文化学園大学	9月20日
(164名)	演奏者：上野 眞樹、吉野 妙	9月27日
(172名)	演奏者：末永 幸子、永井 祐子	10月4日
(123名)	演奏者：平井千香子、田中愛優子	10月11日
(167名)	演奏者：二野宮賀子、福政 歩	10月18日

事業名	事業内容	実施期間
(185名)	演奏者：白井 朝香、木原 宏寿	10月25日
(188名)	演奏者：平福 知夏、三島 良子	11月1日
(228名)	演奏者：石原有希子、大下枝里子、浅田 真生	11月8日
(106名)	演奏者：「piko*toano」尼子 結衣、松尾 友紀	11月22日
(82名)	演奏者：城本 朝子、竹本 直子、笠井 悦子	11月29日
(77名)	演奏者：平井千香子、田中愛優子	12月6日
(71名)	演奏者：MEGU	12月13日
(88名)	演奏者：上谷遼太郎、下瀬 智子	12月20日
(137名)	演奏者：上田 愛彦、荒谷 心里	平成27年1月2日
(117名)	演奏者：福原 一閑、岩村 尚子(福原一閑社中)	1月3日
(114名)	演奏者：森岡 奏山、尼子 琴美、尼子 結衣	1月10日
(48名)	演奏者：下瀬 智子	1月17日
(83名)	演奏者：広島文化学園大学	1月24日
(128名)	演奏者：川東 陽華、中村あゆみ	2月7日
(142名)	演奏者：光原 大樹、長増 野枝、濱田 結衣	2月14日
(124名)	演奏者：西原真里奈、隠居 結華、岡本 優海	2月28日
(109名)	演奏者：森岡 奏山、高橋 洋子ほか	3月7日
(183名)	演奏者：岩本 未来、尾方 護、小城 明子	3月14日
243名	ムーミン展	
(243名)	ロビーコンサート「ムーミン！観てみる？聴いてみる？ ムーミンが大好きな上野真樹・吉野妙と一緒に祝うトーベの誕生日！」 演奏者：上野 真樹(ヴァイオリン)、吉野妙(ピアノ)	平成26年8月9日
585名	ポーラ美術館コレクション展	
(158名)	特別ロビーコンサート 演奏者：堀澤麻衣子(ヤマハミュージックコミュニケーションズ)	平成26年9月28日
(427名)	特別記念オペラコンサート「新たなる出逢いー画家・詩人・作曲家、そして作品」 演奏者：大城 薫(ソプラノ)、柳 清美(ソプラノ)、 藤田 卓也(テノール)、枝川 泰子(ピアノ) 協力：ひろしまオペラ・音楽推進委員会	平成26年10月12日
650名	榮久庵憲司の世界展	
(650名)	大植英次プロデュース 威風堂々クラシックコンサート in Hiroshima 2014	平成26年11月30日
ハイビジョンブース	当館制作のハイビジョン番組(22番組)の視聴	常時
デジタルミュージアム	当館の案内や所蔵作品の検索、世界の美術館の情報などを検索	常時
美術館ホームページ運用	当館のホームページで、当館の情報を自由に検索 http://www.hpam.jp/	常時
児童・生徒		
学校、地域との関連事業 美術作品鑑賞教室(作品持参)	当館の所蔵作品を学校へ持ち込み、学芸員が自ら解説を行うことにより、児童生徒が豊かな感性を育む機会を提供するとともに、学校連携を深めることに努めた。	
184名		
(38名)	広島大学附属福山高等学校(1年生)	平成26年11月18日
(56名)	安芸太田町立戸河内中学校(1年生、2年生、3年生)	12月5日
(90名)	呉市立長迫小学校(1年生、2年生、3年生)	12月16日
ゲンバ探検ツアー	美術館と縮景園が連携して、普段見ることのない美術館の裏側や縮景園ならではの歴史や園内環境を紹介した。	平成26年7月26日
12名		
親子ギャラリートーク	子どもたちが保護者とともに美術作品に親しめるよう、主に小学5、6年生(特別支援学校の相当学年を含む。)を対象として、学芸員又は友の会ギャラリーガイドが所蔵作品展示をわかりやすく解説した。	毎月第4土曜日 (11:00～)
11名		
ワークシートの作成	所蔵作品を鑑賞する児童・生徒に対し、学習補助教材として主要作品のワークシートを提供した。 (現在306種)	
日本伝統工芸展出張授業	希望校に日本工芸会正会員等が出向いて授業を行うことで、児童の制作の現場に接する機会を提供し、伝統工芸への理解を促進した。	
177名		

事業名	事業内容	実施期間
(26名)	広島市立湯来南小学校 講師：松岡 裕治(木工)	平成26年10月31日
(39名)	広島市立吉島小学校 講師：山根 宏造(陶芸)	11月19日
(23名)	廿日市市立津田小学校 講師：馬船 宏明(漆芸)	11月26日
(18名)	福山市立山南小学校 講師：粟根 仁志(七宝)	平成27年1月30日
(71名)	広島市立美鈴が丘小学校 講師：小林 松斎(木工)	2月17日
手で見る展覧会	縮景園の「梅実収穫行事」に併せ、特別支援学校(視覚障害)の児童・生徒が作品に直接触れて美術を鑑賞する機会を提供した。	平成26年6月3日
各種リーフレット作成	施設案内、年間スケジュール等の美術館の活動について、広く県民へ告知した。	
友の会ギャラリーガイド	県立美術館友の会のボランティアのギャラリーガイドにより所蔵作品展の解説をした。	
(一般ガイド) 905名 (団体ガイド) 441名	火～金曜日の14:00から実施(土・日・祝日は11:00からも実施)	
展示施設等貸出	展示施設等(県民ギャラリー・講堂)を貸出することにより、生涯学習の発表の場及び機会を提供し、県民の創作活動を支援した。	
観覧者等 134,212名	県民ギャラリー 利用団体数 98団体、利用日数 延 558日 講堂(県民ギャラリー全室利用に併せ、展示室として利用)	平成26年4月1日 ～平成27年3月31日
利用者 6,247名	講堂 利用団体数 46団体、利用日数 64日	平成26年4月1日 ～平成27年3月31日

V 業務一覧

広島県立美術館学芸員が平成26年度に行なった業務を報告する。

内容は、1. 美術館内での業務等(館主体事業)、2. 美術館外での業務等(他からの招聘等)、3. 調査・研究活動、4. 社会貢献活動等、に分類・配列し、記載している。

学芸課職員の構成及び担当分野は次のとおり。

向田 裕始(学芸総括マネージャー)	宮本真希子(主任学芸員、工芸)
角田 新(主任学芸員、日本洋画)	福田 浩子(主任学芸員、工芸)
石川 哲子(主任学芸員、彫塑)	藤崎 綾(主任学芸員、日本洋画)
山下 寿水(学芸員、西洋美術)	隅川 明宏(学芸員、日本画)

■ 向田 裕始

1 美術館内での業務

【担当業務】

- ・学芸課の総括

【教育支援(教育普及)】

- ・博物館実習講義「美術館と学芸業務」
- ・美術作品鑑賞教室(出張講座)

「厳島神社の工芸品」8/28(宮島市民センター)、10/16(廿日市市立吉和中学校)、10/28(広島市立美鈴が丘中学校)、11/28(広島県立三次看護学校)、2/5(クルトピア明郷(府中市))、2/18(広瀬集会所(広島市))

2 美術館外での業務

【講座・講演等】

- ・10/18 広島県ヘリテージマネージャー養成講習会講師「文化財保護制度」、「広島県の文化財」(広島県建築士会)
- ・2/27 三次市観光ボランティアガイド養成講座講師「雲石街道(銀山街道)とその文化的景観について」(三次市観光キャンペーン実行委員会)

3 調査研究活動

- ・「原子力災害とどう対峙するか」『考古学研究会60周年記念誌 考古学研究60の論点』執筆
- ・「石見焼の流通と生産について－広島県を中心として－」『広島県の考古学と文化財保護－松下正司先生喜寿記念論集』執筆
- ・「木原保満の造塔活動について」『東広島市の石造物』執筆

4 社会貢献活動

【外部委員等】

- ・「近世・近代の石見焼の研究」客員研究員検討会協力員(鳥根県教育庁)
- ・三原市文化財保護審議会委員(三原市教育委員会)
- ・世羅町文化財保護委員会委員(世羅町教育委員会)
- ・世羅町大田庄歴史館運営委員会会長(世羅町教育委員会)
- ・三原市佛通寺文化財等調査委員会委員(三原市教育委員会)

【公募展審査・作品評価】

- ・第8回ひろしま建築文化賞審査委員

■ 宮本真希子

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「第61回日本伝統工芸展」(主担当)
- ・所蔵作品展第1期「瀬戸内しまのわ2014応援企画 広島、瀬戸内からつながる“わ”」(2階第3・4展示室)(主担当)
- ・所蔵作品展第3期「工芸の多彩な魅力を比べて見る」(2階第4展示室)

【教育支援(教育普及)】

- ・広島県主催公募展「第2回新県美展(第66広島県美術展)」(主担当)
- ・博物館実習(主担当)
見学実習：4/27(修道大学9名)、5/28(安田女子大学文学部日本文学科40名)、7/3(県立広島大学人間文化学部6名)、7/4(安田女子大学家政学部生活デザイン学科16名)、7/11(県立広島大学人間文化学部国際文化学科3名)、11/29(広島大学学芸員資格取得特定プログラム60名)
館園実習：8/21～8/26(5日間、7大学15名)
- ・美術作品鑑賞教室(作品持参)
11/18(広島大学附属福山高等学校1年生38名)、12/5(安芸太田町立戸内中学校1-3年生56名)、12/16(呉市立長迫小学校90名)
- ・美術作品鑑賞教室(出張講座)
10/6(「鬚光」、三原市立久井小学校79名)、11/5(「鬚光」、竹原市立大乘小学校36名)、11/13(「六角紫水」、江田島市大柿公民館20名)、11/27(「鬚光」、県立尾道特別支援学校107名)、12/13(「鬚光」、安佐北区三入東児童館15名)、1/17(「美術作品を通して瀬戸内を学ぶ」、江田島市立能美図書館7名)、1/19(「文様でつながるアジアの心」、呉市立倉橋中学校76名)、1/29(「文様でつながるアジアの心」、県立広島中央特別支援学校4名)、2/13(「第61回日本伝統工芸展」、広島市観音台公民館25名)
- ・「第61回日本伝統工芸展」
ギャラリートーク：2/27、3/6、3/13(17-35名/回)
親子ガイドブック作成(A4判16ページ、6000部)
- ・第1期所蔵作品展ギャラリートーク：5/16(20名)
第1期所蔵作品展ワークショップ「ぼくの、わたしの瀬戸内をかこう!」：5/4(18名)
第1期所蔵作品展展示室内閲覧用カタログ作成(A4判33ページ)
- ・第3期所蔵作品展学芸員リレー・トーク：9/28(42名)
第3期所蔵作品展展示室内閲覧用カタログ作成(A4判17ページ)

【広報活動】

- ・所蔵作品展第1期「瀬戸内しまのわ2014応援企画 広島、瀬戸内からつながる“わ”」テレビ出演：NHK広島放送局ローカルニュース(4月)
- ・所蔵作品展第1期広島県立美術館ブログ投稿5回(4～6月)
- ・FMちゅーピー「広島すまいるパフェ」(5/15、出張講座について)
- ・「第61回日本伝統工芸展」寄稿(作品解説12篇)：朝日新聞(2/23、2/25、2/26、2/27、3/5、3/6、3/7、3/8)、月間春秋3月号
- ・「第61回日本伝統工芸展」テレビ出演：NHK広島放送局「ひるまえ直送便」(3/2)、ラジオ出演：NHK広島放送局「金曜どお～かいの」(2/13)、FMはつかいち「ひるはまるごと!761」(2/24)、FM東広島「ハッピーモーニング」(2/28)

2 美術館外(他からの依頼等)での業務等

【講座・講演・シンポジウム等】

- ・「平和共存社会を育むひろしまイニシアティブ拠点」事業講座授業：5/24(広島大学大学院教育学研究科造形芸術教育額講座33名)
- ・「美術館と学校教育との連携」に関するレクチャー：6/5(広島大学大学院教育学研究科5名)
- ・「平成26年度社会教育主事現地研修」現地研修講座：2/19(広島会場、社会教育主事20名)

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・河面冬山に関する調査研究：青森県産業技術センター弘前地域研究所(9/11)、盛美園(青森県平川市9/11)、所蔵家宅(9/20、9/30、10/30、3/12)、東京国立博物館(10/1)、東京藝術大学大学美術館(10/2)、東京藝術大学教育学部教育資料編纂室(10/1-2、12/18-19)、東京藝術大学工芸科漆芸研究室(10/1)、東京藝術大学附属図書館(12/17-19)東京文化財研究所(12/17、12/19)

【館内出版物への執筆】

- ・『広島県立美術館研究紀要第18号』「漆芸家・河面冬山」(平成27年3月31日発行)

4 社会貢献活動

【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・日本漆工史学会、全国美術館会議教育普及部会
- ・第58回岩国市美術展覧会審査員－彫刻・工芸・デザイン部門－(9/9)
- ・第35回伝統文化ポラ賞推薦

■ 角田 新

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「広島が生んだデザイン界の巨匠 榮久庵憲司の世界展」(主担当)
- ・特別展「スペイン・リアリズム絵画の異才 磯江毅 -広島への遺言展-」(主担当)
- ・特別展「星星会展」(副担当)
- ・特別展「MOOMIN! ムーミン展」(副担当)
- ・特別展「ジャパン・描かれた日本美人」展(副担当)
- ・コレクション展Ⅱ期「自然に向き合う作者の目」(副担当)
- ・コレクション展Ⅲ期「広島が生んだ芸術家たち」(副担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・榮久庵憲司の世界展ギャラリートーク：11/21、11/28、12/5、12/12、12/19は11時～。11/21、12/5、12/19は18時～も開催。
- ・博物館実習(美術館の展示環境について)：8/21
- ・博物館実習(作品取扱い)：8/22
- ・友の会ギャラリーガイドレクチャー：9/6
- ・美術作品鑑賞教室・出張講座：7/13「水彩画の魅力」(湯来南公民館)、8/25「水彩画の魅力」(段原公民館)、9/5「水彩画の魅力」(広島市立安西小学校)、9/29「水彩画の魅力」+「風景画を楽しむ」(尾道市立向東小学校)、10/28「水彩画の魅力」+「風景画を楽しむ」(広島三育学院小学校)、11/28「水彩画の魅力」+「風景画を楽しむ」(広島市立五日市東小学校)、2/9「水彩画の魅力」+「風景画を楽しむ」(廿日市市立宮内小学校)
- ・NHK文化センター広島教室講座：2/18「かわいい・可愛・KAWAII」展出品作品について

【広報活動】

- ・長崎文化放送『平山郁夫の広島生変図』(7月29日)
- ・「Grandeひろしま」『榮久庵憲司の世界展』紹介(9月号)
- ・広島交響楽団第343回定期演奏会プログラム『榮久庵憲司の世界展』紹介(10月10日)
- ・『小林千古《母ワキ肖像》』紹介「BRILLANT」(10月15日)
- ・FM東広島『OHIRUGOPAN』(11月13日)
- ・FMはつかいち『昼はまるごと761』(11月18日)
- ・エフエムふくやま『GO! GO! Bびんご〜』(11月20日)
- ・テレビ新広島『満天ママ(中継)』(11月25日)
- ・FM尾道『ユウガッタ・レディオ』(11月26日)
- ・RCC『おひるーな』(12月2日)

- ・広島県立美術館メールマガジン(10/14コレクション展見どころ：和高節二、12/ 9 榮久庵憲司の世界展見どころ)
- ・「特別展の紹介榮久庵憲司」『色絵馬』(広島県立美術館友の会会報No69)
- ・「特別展の紹介磯江毅」『色絵馬』(広島県立美術館友の会会報No71)
- ・広島県立美術館ホームページ・ブログ投稿(3/12「磯江毅展目下準備中(1)《磯江氏のアトリエに行ってきました。》」)
- ・広島県立美術館ホームページ・ブログ投稿(3/12「磯江毅展目下準備中(2)《磯江ttt氏のアトリエに行ってきました②。》」)
- ・広島県立美術館ホームページ・ブログ投稿(3/12「磯江毅展目下準備中(3)《磯江展 開幕です》」)

2・3 美術館外での業務等・調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・広島ゆかり作家・作品調査：幕末・明治期『源氏物語図屏風』(6/4)、太田忠(10/14・1/27)、吉田正浪(1/23)、野田弘志(3/13)

【館内出版物への執筆】

- ・『榮久庵憲司展』章解説

4 社会貢献活動等

- ・広島県環境月間ポスター審査員(5/7)
- ・公益社団法人広島市文化財団「美術ひろしま」編集委員
- ・広島市公文書館「被爆70年史」編集委員
- ・平成26年度広島市立大学芸術資料館購入予定作品評価委員

■ 福田 浩子

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・HPAMコレクション展第2期「ムーミン展開催記念展示 自然に向き合う作者の眼～人は自然と対峙し、または共生する～」(主担当)
- ・所蔵作品展第4期「新収蔵作品展－平成25年度に新しく加わった絵画や工芸作品を中心に」(主担当)
- ・特別展「トーベ・ヤンソン生誕100年記念 MOOMIN! ムーミン展」(主担当)
- ・特別展「第61回日本伝統工芸展」(副担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・HPAMコレクション展講座「超絶技巧のインド染織品パトラの謎に迫ろう！」3月21日
- ・HPAMコレクション展こども向け講座「学芸員のおしごと(実技少々あり)」8月17日
- ・ムーミン展ギャラリートーク(8/8、8/15、8/22、8/29、9/5は2回)
- ・ムーミン展緊急イベント ムーミンクイズ大会9月5日
- ・出張講座「シルクロードの民族料理パラオを作って食べよう！」10月5日広島市己斐公民館、11月6日広島市利松公民館、1月21日広島市立飯室小学校4年PTC、2月10日福山市神辺公民館
- ・出張講座「シルクロードの工芸と民族衣装+布をめぐるマイクロとマクロのおはなし」7月16日広島県立広島中央特別支援学校
- ・出張講座「シルクロードの工芸と民族衣装」10月23日広島市利松公民館
- ・出張講座「びじゅつかんのおしごと」8月19日福山市緑ヶ丘公民館、11月15日広島市白木公民館
- ・出張講座「工芸作品を守る」1月20日福山市網引公民館
- ・出張講座「ムーミンママのお料理に挑戦しよう！ ムーミンママのパンケーキ篇」7月13日千代田中央公民館、7月30日熊野町民会館、8月12日竹原市大井公民館、8月18日広島市早稲田公民館
- ・出張講座「ムーミンママのお料理に挑戦しよう！ ヤンソンさんの誘惑篇」7月31日広島市高陽公民館、8月11日広島市船越公民館
- ・広島県立美術館友の会ガイド6期生養成研修(6/21、7/5、7/19、8/2、8/23、9/13)

【研修・自己啓発】

- ・全国美術館会議情報・資料研究部会(5/23、7/9、9/9、12/12)
- ・全国美術館会議第29回学芸員研修会「美術館はホームページでどのような作品情報を発信すべきか? / 学芸員は美術情報資料をどこで入手するのか?」(3/9)

【広報活動】

- ・7月10日ムーミン展記事『広島県立美術館友の会会報色絵馬』No68(広島県立美術館友の会)(ムーミン展)
- ・7月29日エフエムふくやま 展覧会紹介(ムーミン展)
- ・8月5日FM東広島 展覧会紹介(ムーミン展)
- ・8月12日エフエムふくやま「ブック・アンソロジー」(ムーミン展)
- ・8月13日RCCラジオ「ヒビカン」 展覧会紹介(ムーミン展)
- ・8月14日FMはつかいち 展覧会紹介(ムーミン展)
- ・8月19日エフエム尾道 展覧会紹介(ムーミン展)
- ・8月23日中国新聞寄稿「ムーミン展 原画の魅力」(ムーミン展)
- ・8月ムーミン展紹介記事『広島交響楽団第340回定期演奏会パンフレット』(広島交響楽団)(ムーミン展)
- ・10月1日毎日新聞「中央アジアの食と文化楽しむ 漫画『乙嫁語り』で人気 県立美術館が出張講座」
- ・10月7日毎日新聞「こんにちは」(人の紹介)記事

広島県立美術館メールマガジン

- ・7月6日No272 「HPAM(エイチパム)コレクション展『ムーミン展開催記念展示自然に向き合う作者の眼』みどころ」
- ・7月20日No275 「HPAM(エイチパム)コレクション展『ムーミン展開催記念展示自然に向き合う作者の眼』みどころ(前篇)」
- ・7月23日No276 「HPAM(エイチパム)コレクション展『ムーミン展開催記念展示自然に向き合う作者の眼』みどころ(後篇)」
- ・8月3日No278 「次回特別展 トーベ・ヤンソン生誕100年記念MOOMIN! ムーミン展 ムーミン展の傾向と対策」
- ・2月19日No323 「HPAM(エイチパム)コレクション展『新収蔵作品展-平成25年度に新しく加わった絵画や工芸作品を中心に インド染織の超絶技巧! パトラ篇1』」
- ・2月23日No324 「HPAM(エイチパム)コレクション展『新収蔵作品展-平成25年度に新しく加わった絵画や工芸作品を中心に インド染織の超絶技巧! パトラ篇2』」

2 美術館外での業務等

【講座・講演・シンポジウム等】

- ・白鶴美術館「マクロとミクロで見るペルシア絨毯」(5/5兵庫県神戸市)
- ・文化服装学院広島校「中央アジアの民族服」講師(5/14広島市)
- ・全国美術館会議第29回学芸員研修会「美術館はホームページでどのような作品情報を発信すべきか? / 学芸員は美術情報資料をどこで入手するのか?」 発表「地域・人材の問題と美術情報資料へのアクセス」・討議「作品情報発信と美術情報の拠点-課題と展望」(3/9国立西洋美術館)
- ・NHK文化センター講座「ミクロとマクロで見るインド染織の世界」(3/18広島県立美術館)

【その他】

- ・メキシコ・グアナファト州との友好提携に関わる展示コーナー(1/20~6/8 地階ロビー)

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・陶磁・ガラス作品調査(7/8、10/2)
- ・染織作品調査(6/25、9/30、11/7、1/8、1/29-30、2/4)

4 社会貢献活動

【所属学会】

- ・日本中央アジア学会、漆工史学会、全国美術館会議情報・資料研究部会

■ 石川 哲子

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「ポーラ美術館コレクション モネ、ルノワールからピカソまで」
- ・所蔵作品展「驚くべき技と美」

【教育支援(教育普及)】

- ・美術講座
ポーラ美術館コレクション展「近代ヨーロッパ絵画に見る日本」10/18
中国新聞ちゅーピー講座「ポーラ美術館コレクション展」10/23
所蔵作品展講座「圓鋸勝三の彫刻」12/14
- ・作品解説会
ポーラ美術館展ギャラリー・トーク 9/19、9/26、10/3、10/10、10/17、10/24、10/31、11/7
ポーラ美術館コレクション展中国新聞読者解説会10/7、10/22
- ・鑑賞授業
「ポーラ美術館コレクション展」三次市立吉舎小学校10/31
- ・出張講座
「ポーラ美術館コレクション展」広島市大塚公民館10/9
「野外彫刻をめぐる旅～広島平和記念公園から」広島市立古市小学校10/15
「ポーラ美術館コレクション展」竹原市立東野公民館10/28
「ポーラ美術館コレクション展」広島市立高南小学校10/29
「野外彫刻をめぐる旅～広島平和記念公園から」広島市祇園公民館1/26

【広報活動】

- ・テレビ
NHK広島放送局 昼ニュース、夕方ニュース10月18日
- ・ラジオ
中国放送RCCラジオカー「街頭ステーション走れ！ラジオカー」9月13日
FM尾道 「ユウガッタ・レディオ水曜日」9月24日
FMふくやま「おはようときめきタイム」9月30日
中国放送「おいくら萬円イブニング」9月28日
- ・新聞・雑誌
中国新聞「ポーラ美術館コレクション モネ、ルノワールからピカソまで」(開幕直前予習シリーズ第1回～第3回)
8月27日、9月3日、9月10日
毎日新聞備後版寄稿「ポーラ美術館コレクション モネ、ルノワールからピカソまで」10月9日
中国新聞寄稿「「ポーラ美術館コレクション モネ、ルノワールからピカソまで」に寄せて」(朝刊文化面)10月23日
季刊誌『Grandeひろしま』秋号グリーンブリーズ
「美術館あれこれ」月刊『経済春秋』9月号

2 美術館外での業務等

【講座・講演・シンポジウム等】

- 所蔵作品展NHK文化センター講座「圓鋸勝三の彫刻」12/17

3 調査研究活動

【館内出版物への執筆】

『こどもガイド ポーラ美術館コレクション モネ、ルノワールからピカソまで』

「ポーラ美術館コレクション モネ、ルノワールからピカソまで」『色絵馬(友の会会報)』No.69

4 社会貢献活動

【所属学会、審査員】

美術史学会、美学会

広島県献血推進ポスター審査員

■ 藤崎 綾

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「平山郁夫－文化財赤十字への道－」展(主担当：平成26年1月～)
- ・広島県ジュニア美術展(主担当)
- ・コレクション展Ⅱ期「平和のカタチ」(副担当)
- ・コレクション展Ⅲ期「広島が生んだ芸術家たち－圓鋳勝三・山路商・和高節二」(主担当)
- ・コレクション展Ⅳ期「新収蔵作品展」(副担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・平山郁夫展ギャラリートーク：4/11、4/25、5/9、5/23、5/30
- ・平山郁夫展・団体鑑賞対応：5/9
- ・平山郁夫展日本酒イベント・展覧会解説：4/25
- ・出張講座「平山郁夫展について」：4/12(五日市公民館)
- ・所蔵作家や所蔵品、収集方針について：5/21(愛知教育大学付属中学校)
- ・博物館実習(作品取扱い)：8/22
- ・友の会ギャラリーガイドレクチャー：8/23、9/6
- ・コレクション展Ⅲ期リーフレット解説「広島の前衛山路商」
- ・学芸員リレートーク：9/28「山路商」
- ・美術作品鑑賞教室・出張講座：9/18「よく見て発見！フジタさんの絵のヒミツ」(広島市立五日市観音西小学校)、10/7「自画像を楽しむ」(安芸高田市立高宮中学校)、10/23「自画像を楽しむ」(安芸高田市立美土里中学校)、10/31「自画像のひみつ」(府中町立府中東小学校)、11/5「自画像を楽しむ－郷土の画家・鬘光に因んで」(北広島町立大朝中学校)
- ・NHK文化センター広島教室講座：11/19「広島の前衛画家・山路商とその時代」

【広報活動】

- ・オンラインマガジン『ブンカッキーネットひろしま』：4/15(平山郁夫展)
- ・「強い探究心表現を模索初期作充実の「平山郁夫－文化財赤十字への道－展」」『中国新聞』：5/13(平山郁夫展)
- ・広島県立美術館ホームページ・ブログ投稿(10/22「コレクションから山路商《T型定規のある静物》」)
- ・広島県立美術館メールマガジン(4/11・4/30・5/15：平山郁夫展、10/5コレクション展見どころ：山路商)
- ・エフエムふくやま『レディオBINGO』：4/4(平山郁夫展)
- ・広島エフエム『5 COLORS』：4/15(平山郁夫展)
- ・FMはつかいち『昼はまるごと761ラジオカー』：4/23(平山郁夫展)
- ・「所蔵品紹介山路商」『色絵馬』(広島県立美術館友の会会報No.69)
- ・「広島が生んだ芸術家たち－圓鋳勝三・山路商・和高節二」ウェブサイト『ミニナルアート』『わくわくつくログ』：10/23
- ・「鬘光《帽子をかむる自画像》」『BRILLANT』：12/10
- ・「所蔵品紹介入野忠芳」『色絵馬』(広島県立美術館友の会会報 No.70)

2・3 美術館外での業務等・調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・広島ゆかり作家・作品調査：緒方亮平(7/4・1/22)、太田忠(10/14・1/27)、神田周三(1/23)

【館内出版物への執筆】

- ・『平山郁夫展』作品解説
- ・「鬚光の新出の油彩画《静物》について」(広島県立美術館研究紀要第18号)

【館外出版物への執筆】

- ・「山路商の美術活動」[作品解説]『広島のリートとと呼ばれた男山路商略伝』(共著)9/16発行
- ・「南薫造《曝書》」『小学校図画工作科教師用指導書アート・カード編「アート・カード解説冊子」』平成27年4月～平成30年3月使用予定 日本文教出版

4 社会貢献活動等

- ・公益社団法人青少年育成広島県民会議「家庭の日」図画の部審査員

■ 山下 寿水

1 美術館内での業務

【担当展覧会】

- ・特別展「星星會展－日本画の伝統と未来へ」(主担当)
- ・特別展「第2回新県美展」(副担当)
- ・特別展「ポーラ美術館コレクション モネ、ルノワールからピカソまで」(副担当)
- ・特別展「広島が生んだデザイン界の巨匠－榮久庵憲司の世界展」(副担当)
- ・特別展「広島・長崎 被爆70周年 戦争と平和展」(主担当・次年度準備)
- ・特別展「北斎の富士－富嶽三十六景と富嶽百景」(主担当・次年度準備)
- ・HPAMコレクション展「瀬戸内しまのわ2014応援企画 広島、瀬戸内からつながる“わ”」(副担当)
- ・HPAMコレクション展「タブロー&クラフト－秘密のビジョン」(主担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・団体利用対応(担当)：5/21、7/23、12/13、1/18
- ・美術品等の補修整備に関すること(担当)
- ・広島県美術館ネットワークに関すること(担当)
- ・博物館実習(副担当)
- ・「星星會展」ギャラリートーク(一般向け)：4/25、5/2、5/9、5/16(各日2回)
- ・「星星會展」ギャラリートーク(団体向け)：4/17、4/25、4/26、5/2、5/24
- ・「ポーラ美術館コレクション」ギャラリートーク(団体向け)：9/25
- ・「榮久庵憲治の世界展」ギャラリートーク(一般向け)：11/28
- ・「榮久庵憲治の世界展」ギャラリートーク(団体向け)：12/22
- ・「広島、瀬戸内からつながる“わ”」ワークショップ補助：5/4
- ・「広島、瀬戸内からつながる“わ”」ギャラリートーク：6/13
- ・「タブロー&クラフト」リレートーク：9/28
- ・美術作品鑑賞教室・出張講座「ダリって誰?」：7/18(広まちづくりセンター)、10/22(廿日市市立宮内小学校)、11/6(府中町立北小学校)、11/25(世羅町立せらにし小学校)、12/12(広島市立落合東小学校)、1/19(修道高等学校)、2/6(呉市立音戸小学校)

【広報活動】

- ・「星星會展」：ラジオ出演(4/2、4/24、4/30、5/2、5/6)
- ・「星星會展」：新聞原稿執筆(4/25、5/1)
- ・「星星會展」、「平山郁夫展」：原稿執筆(「美術館あれこれ」『春秋』5月号)
- ・広島県立美術館メールマガジン執筆：「星星會展」関連(4/18、5/7、5/20)、HPAMコレクション展関連(4/25、9/23)

- ・「ポーラ美術館コレクション」：ラジオ出演(8/13)
- ・「ポーラ美術館コレクション」：ひろしまライフスタイル博2014セミナー「美術作品から見る女性像」(8/23)
- ・NHK文化センター「広島県立美術館所蔵作品の魅力」講師(10/15)
- ・「榮久庵憲治の世界展」：テレビ出演(11/23)

2 美術館外での業務等

【講座・講演・シンポジウム等】

- ・「寺林武洋展-LIFE-」(1/20-25)：企画協力、関連事業「山下祐二×寺林武洋 対談」司会(1/24)

3 調査研究活動

【館内出版物への執筆】

- ・「平山郁夫展」図録作品解説
- ・ワークシート「クルト・シュヴィッターズ《メルツ394,ピナコテーク》」、「マン・レイ《シュルレアリスム展におけるサルバドール・ダリのオブジェ》」、「岡部昌生、港千尋《わたしたちの過去に、未来はあるのか》」
- ・「アレクサンダー・カーノルト作《静物》についての試論」『広島県立美術館研究紀要第18号』

【館外出版物への執筆】

- ・「過去の痕、後の未来」『未来の考古学-岡部昌生・柴川敏之展』記録集
- ・「The Ghost Is Here-広島における不在の記録」『ヒロシマアートドキュメント2014』記録集(巻頭論文)
- ・「細部への欲動、日常への愛」『寺林武洋-LIFE-』図録(巻頭論文)
- ・「パウル・クレー《ある音楽家のための楽譜》」(中国新聞社2015カレンダー作品解説)

【口頭発表】

- ・「建築写真のモダニティー、あるいは新即物主義のリアリズムについて」『広島芸術学会第109回例会』(12/20)

4 社会貢献活動等

【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・広島芸術学会

■ 隅川 明宏

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・HPAMコレクション展「かわいい・可愛・KAWAII」(副担当)
- ・特別展「ジャパン・ビューティー -描かれた日本美人-」(主担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・特別展「ジャパン・ビューティー -描かれた日本美人-」に関する
 - ①美術講座「美人画を楽しむ」：1/25
 - ②出張講座：1/24
 - ③ギャラリートーク(一般)：1/2、1/9、1/16、1/23、1/30、2/6、2/13
 - ④ギャラリートーク(団体)：1/16、1/23、2/1、2/4(2件)
 - ⑤ワークショップ補助：1/17

【研修・自己啓発】

- ・著作権に関する
 - 平成26年度著作権セミナー(受講)：10/7
- ・教育普及に関する
 - せとうち美術館ネットワーク特別講演会(受講)：11/15
- ・IPMに関する
 - 広島県美術館ネットワーク研修会(受講)：2/13

【広報活動】

- ・特別展「ジャパン・ビューティー - 描かれた日本美人-」に関する
 - ①テレビ、ラジオ(出演)：1/2、1/6(2件)、1/8、1/12、2/10
 - ②新聞、雑誌(寄稿)：12/15、1/10、1/15
 - ③美術館公式ブログ(執筆)：1/4
 - ④美術館公式メールマガジン(執筆)：12/25、1/15、2/3

2 美術館外での業務等

【講座・講演・シンポジウム等】

【その他】

- ・せとうち美術館ネットワーク定時総会(出席)：11/15

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・広島の近世美術に関する調査・研究
- ・寄贈・寄託申込み作品等に関する調査・研究

4 社会貢献活動

【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・文化史学会

Ⅵ 入館者数一覧

展覧会名	所蔵作品展	特 別 展					
		平山郁夫展	星星會展	第2回新県美展 (第66回広島県美術展)	ムーミン展	ポーラ美術館 コレクション	
開催期日	H26.04.01 } H27.03.31	H26.04.08 } H26.06.01	H26.04.17 } H26.05.25	H26.06.28 } H26.07.13	H26.08.08 } H26.09.06	H26.09.13 } H26.11.09	
開催日数	338 日	55 日	39 日	16 日	30 日	58 日	
個人	一 般	1,786	2,194	1,228	3,900	16,397	16,433
	高・大学生	148	79	51	82	3,018	573
	小・中学生	—	82	0	120	0	710
	小 計	1,934	2,355	1,279	4,102	19,415	17,716
団体	一 般	1,826	6,376	3,002	721	20,604	30,532
	高・大学生	184	186	75	4	2,402	529
	小・中学生	—	103	0	9	0	1,355
	小 計	2,010	6,665	3,077	734	23,006	32,416
有料入館者数	3,944	9,020	4,356	4,836	42,421	50,132	
招待者等	68,548	3,397	3,421	2,503	15,228	7,629	
合計 (観覧者総数)	72,492	12,417	7,777	7,339	57,649	57,761	
一日あたり 観覧者数	214	226	199	459	1,922	996	

(注) 1日あたり観覧者数は、小数点以下第1位を四捨五入。

所蔵作品展の団体人数には、所蔵作品展と縮景園の共通入館者を含む。

所蔵作品展の「高・大学生」欄は、平成14年度の条例改正の無料化により、高校生を含まない。

所蔵作品展の招待者等には、減免及び無料入館者を含む。(平成14年度の条例改正により無料化した小・中・高校生で内数。)

「第2回新県美展(第66回広島県美術展)」、「第3回広島県ジュニア美術展」以外は実行委員会主催。

団体人数には、前売り及び割引入館者を含む。

「星星會展」、「ムーミン展」、「榮久庵憲司の世界展」、「伝統工芸展」は中学生以下を無料とした。

展 覧 会 名	特 別 展					合 計	総 計
	榮久庵憲司の 世界展	第3回 広島県ジュニア美術展	ジャパン・ ビューティー	第61回 日本伝統工芸展			
開 催 期 日	H26. 11. 18 } H26. 12. 23	H26. 12. 17 } H26. 12. 25	H27. 01. 02 } H27. 02. 15	H27. 02. 25 } H27. 03. 15			
開 催 日 数	36 日	9 日	45 日	19 日	307 日	645 日	
個 人	一 般	5,216	—	3,672	3,522	52,562	54,348
	高・大学生	254	—	143	102	4,302	4,450
	小・中学生	0	—	74	0	986	986
	小 計	5,470	0	3,889	3,624	57,850	59,784
団 体	一 般	5,175	—	5,303	3,894	75,607	77,433
	高・大学生	281	—	113	42	3,632	3,816
	小・中学生	0	—	53	0	1,520	1,520
	小 計	5,456	0	5,469	3,936	80,759	82,769
有料入館者数	10,926	0	9,358	7,560	138,609	142,553	
招待者等	4,327	4,542	3,100	1,913	46,060	114,608	
合 計 (観覧者総数)	15,253	4,542	12,458	9,473	184,669	257,161	
一日あたり 観覧者数	424	505	277	499	602	399	

Ⅶ 美術品等収集状況

分野別収集美術品数一覧

(平成27年3月31日現在)

種 目		一般購入	基金購入 (H2年度以降)	購入総数	寄 附	所 管 換	合 計	受 託
絵 画	日 本 画	46	60	106	230 (3)	3	339 (3)	12 (1-0)
	油 彩 画	230	62	292	489 (5)	4	785 (5)	201 (1-0)
	水 彩 画	89	4	93	148	0	241	1
	素 描	44	20	64	291	0	355	20
	パステル画 アクリル画	1	0	1	6	0	7	0
	版 画	53	180	233	331 (4)	0	564 (4)	0
	拓 本	26	0	26	51	0	77	0
	平面造形ほか	3	56	59	2	0	61	0
彫 塑	8	23	31	68 (3)	0	99 (3)	2	
工 芸	112	1,184	1,296	263	4	1,563	5	
書	5	0	5	93	1	99	0	
美 術 資 料	2	2	4	668 (2)	0	672 (2)	2	
合 計	619	1,591	2,210	2,640 (17)	12	4,862 (17)	243 (2-0)	

※()内は26年度の収集点数。受託欄は、左側が受託数、右側が返還数、合計欄は差引数。

収集美術品一覧

No.	分類	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	取得区分
1	日本画	船田 玉樹	日輪	1940(昭和15)	各181.0×181.0	紙本彩色・二曲一双	寄附
2	日本画	六角 紫水	菊図	1915(大正4)	120.1×28.0	紙本彩色・軸装	寄附
3	日本画	六角 紫水	神苑之朝図	1938(昭和13)	123.3×34.8	紙本墨画・軸装	寄附
4	油彩画	巖 光	花	1941(昭和16)頃	23.6×32.8	油彩・板	寄附
5	油彩画	緒方 亮平	静物(水差し、グラス)		61.0×50.0	油彩・画布	寄附
6	油彩画	緒方 亮平	二人の女	1931(昭和6)	160.2×130.3	油彩・画布	寄附
7	油彩画	緒方 亮平	南の室	1959(昭和34)	98.5×84.2	油彩・画布	寄附
8	油彩画	緒方 亮平	軻の港		85.5×99.0	油彩・画布	寄附
9	版画	マリノ・マリーニ	二人の軽業師と馬	1955	64×47	リトグラフ・紙	寄附
10	版画	マリノ・マリーニ	黄色で縁取られた3頭の馬	1954	64×44	リトグラフ・紙	寄附
11	版画	マリノ・マリーニ	驚きⅡ	1973	67.5×52.5	エッチング・紙	寄附
12	版画	マリノ・マリーニ	小さな踊りⅠ	1973	67.5×52.5	エッチング・紙	寄附
13	彫塑	吉田 正浪	頭像A	1963(昭和38)	高26	石膏	寄附
14	彫塑	吉田 正浪	立像	1977(昭和52)	高183	石膏	寄附
15	彫塑	吉田 正浪	座像	1979(昭和54)	高132	ブロンズ	寄附
16	工芸資料	河面 冬山	冬山式蒔絵法資料(蒔絵膜1点)	昭和20年代	径6.0、厚0.1	乾漆	寄附
17	工芸資料	河面 冬山	冬山式蒔絵法資料(ブローチ6点)	昭和20年代	径4.2、厚0.6	乾漆	寄附
18	日本画	不詳	源氏物語図	江戸時代	各157.0×360.4	紙本金地彩色・六曲一双	寄託
19	油彩画	神田 周三	晩秋	1932(昭和7)	24.3×33.4	油彩・板	寄託

○新収蔵作品より

船田 玉樹《日輪》

船田玉樹(1912・大正元 - 1991・平成3)は、広島県呉市の生まれ。東京で速水御舟に入門し、その没後は小林古徑に師事。昭和13(1938)年に歷程美術協会を山岡良文、岩橋英遠らと結成した(翌年脱退)。その後、同郷の丸木位里との二人展、岩橋英遠を交えての三人展などで革新的な絵画表現を追求。戦後は郷里に戻り、院展や新興美術院展に作品を発表、のち無所属となり、装飾性豊かな花鳥画、水墨、さらにはガラス絵など、幅広い創作活動を展開した。



日輪

《日輪》は二曲屏風一双に旭日を背景として立ち上がる一株の松を描いた作品。幹は陽光に赤く染められ、枝は縦横無尽に拡がっている。幹や枝を描き出す繊細な描線やたらし込み風の表現に技量の高さと古典的な絵画への関心を見て取れ、画業初期から晩年まで連なる大樹表現の一樣相が示されている。昭和15年開催の「紀元二千六百年奉祝日本画展」出品作(入選)。

六角 紫水《菊図》《神苑之朝図》

六角紫水(1867・慶応3 - 1950・昭和25)は、現在の江田島市大柿町に生まれ、東京美術学校(現・東京藝術大学)漆芸科を第一期生として卒業。若き日は岡倉天心の影響のもと、古社寺保存法による国宝指定調査に奔走して文化財保護制度の基盤整備に貢献し、以後、創作活動はもとより、漆芸に関する歴史的学術研究と科学的研究開発、時代の変遷に応じた応用範囲の拡大など多岐にわたり活躍。日本近代漆芸の先導者として重要な役割を果たした。東京美術学校教授、芸術院会員などを歴任。

《菊図》は作者としては現存希少の彩色画で当館に所蔵のない大正前期の作例である。画面右下には「大正四年御大典之日 紫水写(花押)」と記され、可憐に咲く小菊を淡彩で表している。うらかな秋日和に寄せて新時代への奉祝と平安を祈る気持ちが感じられる。《神苑之朝図》は画面の右上に「神苑之朝 昭和十三戊寅初春 紫水写(朱文方印)」とある。霞立つ神苑の朝を朦朧体的筆致で描いている。墨を主体に、社殿、鳥居、国旗に朱を点じる。戦時色を強める時代背景にありながら、心静かに新年を迎える気持ちが感じられる。また、当館所蔵漆芸作品《刀筆春日野軸盆》(昭和6年)との主題の関連性もある。



菊図



神苑之朝図

鬧光《花》

鬧光(1907・明治40-1946・昭和21)は、広島県北広島町出身。大正末期に上京し、太平洋画会研究所に入所。画業初期にはヨーロッパの先進的な様式に影響を受けるが、1930年代半ばから独自の画風を展開、独立展や美術文化展、新人画会展等で活躍した。東西両洋の絵画に学び、確かな表現力と深い精神性を併せ持つその作品により、日本近代絵画史に重要な足跡を残した画家として高く評価されている。

鬧光は1940年から1942年頃にかけて、植物や虫、鳥などをモチーフに一連の油彩画を描いた。多くは、近接的な視点と濃密な写実的表現で対象に迫り、友人らにより宋元画風と称されている。本作は、背景部に旧作を転用した可能性も指摘されるように、色彩や筆触にやや異質な表現が見られるものの、花の描写に、《花(やまあららぎ)》(1942年・個人蔵)や、同タイトルの京都国立近代美術館所蔵品(1942年)との類似の表現が認められるなど、同時期の作との関連性も確認できる。1991年の中国新聞紙面で所在発見の報道がなされ、1994年(徳島)、2007年(東京・宮城・広島)の鬧光の回顧展に出品されている。



花

緒方 亮平の油彩画

緒方亮平(1901・明治34-1979・昭和54)は、福山市の鞆出身。上京して岡田三郎助に師事し、岡田の没後は辻永の指導を受けつつ帝展や新文展、日展を中心に作品を発表した。郷里とその周辺や、長年居住した東京の自宅や庭など身近な情景を多く描き、伸びやかな筆遣いと温か味のある色彩の作風で知られる。

《静物(水差し、グラス)》は戦前作と考えられ、1930年協会や独立美術協会などを中心に広まったフォーヴィスム的傾向が見られる作品。作者の画業初期の作風が確認できる稀少な作例である。《二人の女》は、第12回帝展出品作。作者は、1927年の初入選以来、1930年代にかけて帝展に女性像を多く出品しており、師・岡田三郎助からの画題上の影響も考えられる。室内でくつろぐ女性たちを描いた作品により、《室内》(1934年・第15回帝展特選)、《画室にて》(1936年・文展招待展政府買上)など戦前の代表作を生んでいる。

第2回日展出品作の《南の室》は、東京の自宅を描く。果物や食器、調度品などで色味を添え、装飾性を加味した素朴で穏やかな室内画は、瀬戸内の海景とともに戦後作品の中心的画題である。作者は、戦争末期に疎開したことを機に、郷里の景観美を再認識したと述べている。瀬戸内海の中央に位置する鞆の浦は、潮待ちの港として栄えた歴史を持ち、沿岸部や島々は国立公園第1号の「瀬戸内海国立公園」の一角をなすなど風光明媚な地として知られている。疎開生活を終えて東京に戻った後も、作者は制作のために同地を再訪、《鞆の港》をはじめ多くの作品を描いた。半円形の港に立ち並んだ白壁の土蔵は、とくに作者が印象深く目をとめた景観である。



南の室

マリノ・マリーニの版画

マリノ・マリーニ(Marino Marini 1901-1980)は20世紀を代表するイタリアの彫刻家。作者自身、その血を受け継いだというエトルリアの美術に大きな影響を受けた。ピカソ、ブラック、ローランスをはじめ同時代の作家とも広く交流し、特にムーアとは親交を深めた。生涯にわたり追究し続けた「騎手」「戦士」「軽業師」「踊り子」等のテーマを通じて独自のスタイルを確立し、絵画、彫刻ともに高い評価を受けている。

《二人の軽業師と馬》《驚きⅡ》に見られる「軽業師」の連作に着手したのは1932年のことであり、マリーニはイタリア伝統の騎馬像を背景に、早くから人と馬の関係性を追求し、「騎士」と「馬」のテーマへと繋げた。

《小さな踊りⅠ》に見られる「踊り子」は、作者が1930年代より始めたテーマ。少女が広げる両腕や脚がリズミカルにバランスよく描かれ、背景には「仮面」の文字が躍る。《驚きⅡ》《小さな踊りⅠ》は、それぞれ1974年に出版された版画集《登場人物》の第4図、第5図にあたる。

吉田 正浪の彫刻

吉田正浪(1936・昭和11-2011・平成23)は、広島県尾道市出身。広島では初の私学による美術教育を始めた比治山短期大学美術科(現・比治山大学)の創設にあわせ、教授として招聘された師である彫刻家芥川永とともに広島の彫刻界を牽引した。長年、美術教育に携わり、多くの若い作家に影響を与えるとともに彫刻の普及に力を注いだ。晩年には郷里の因島へ移り、瀬戸内海をモチーフにテラコッタ作品を多く制作。広島平和記念公園をはじめ、広島中央公園、広島市袋町公園、因島市民会館、安芸区民文化センターなど、モニュメントも数多く手掛けた。

《頭像A》は、作者が当時下宿していた下宿屋の妻をモデルに制作した、新制作展での初の入選作。写実を重視した繊細な肉付けと堅固な造形に、当時の作者の造形的関心が見て取れる。この頃より、作者は戦前より夏に広島で開催されていた美術技術講習会へ参加。実際的な表現技法を身につけるとともに、講師として招かれていた山本常一、舟越保武ら中央で活躍する作家との交流を深め、彫刻家を志す大きな転機となった。《座像》は、新制作会員推挙後の初の出品作であり、バランスのとれた身体の豊かな肉付けと温和な表現に、充実した作者の力量が見て取れる。



座像

河面 冬山の工芸資料

河面冬山(1882・明治15年-1955・昭和30)は、明治15年広島市に生まれ、東京美術学校漆工科に学んだ。帝展以来官展を中心に出品するも、専ら宮内省御用品の制作に携わったと言われる。その主なものに大正天皇御即位式用御料車(大正3年)、昭和天皇御成婚奉祝御飾棚(昭和3年)がある。一方蒔絵の大衆化のため、脱活乾漆法を応用した蒔絵の複製技術を研究開発し、昭和12-13年に特許を取得、同13年に工房を設立して事業化、同27年には無形文化財に選定された。

作者は高度な蒔絵技術を体得する一方、蒔絵の大衆化にも心を砕いた。この目的で研究開発したのが、原型から雌型を取り、雌型に脱活乾漆法を応用して通常と逆の手順で蒔絵を施し同形の蒔絵膜を複数型

抜きすることにより大量生産する冬山式蒔絵法(河面式蒔絵法)とも称される技法である。これらの資料は、この手法による製品化の事例を示すもので、《蒔絵膜(金魚)》は型抜き後素地に貼付される前の半製品の段階を、《ブローチ》6点(四弁花3、兎2、バラ1)はこれを金属台に貼付し製品として完成させた段階を示す。



冬山式蒔絵資料

Ⅷ 美術品等の貸出し

種別	作者名など	作品名	貸出先	目的(展覧会名)	会期・場所
陶磁	鈴木 治	ロッキングバード 神経質な鳥	独立行政法人国立美術館 京都国立近代美術館、 愛知県陶磁美術館、 東京ステーションギャラリー、 山口県立萩美術館・ 浦上記念館	泥象 鈴木治の世界	25.7.12～8.25 (京都国立近代美術館) 25.10.12～12.23 (愛知県陶磁美術館) 26.7.26～8.31 (東京ステーションギャラリー) 26.11.1～12.23 (山口県立萩美術館・浦上記念館)
日本画	佐藤 太清	東大寺暮雪	生誕100年佐藤太清展 実行委員会、 株式会社NHKプロモーション	生誕100年 佐藤太清展	25.12.22～26.2.9 (京都文化博物館) 26.3.1～4.13 (茨城県天心記念五浦美術館) 26.4.19～6.8 (新見美術館)
油彩画	宮崎 進	さいはて	神奈川県立近代美術館	立ちのぼる生命 宮崎進展	26.4.5～6.29 (神奈川県立近代美術館 葉山)
日本画	土田 麦僊 土田 麦僊 村上 華岳	雨後図 早春図 菩薩図	公益財団法人 蘭島文 化振興財団	近代日本画の革新者たち －京都を中心に－	26.4.19～6.9 (蘭島閣美術館)
日本画	奥田 元宋	待月	美術館あーとあい・きさ	美術館あーとあい・きさ 開館20周年記念事業 「芸術の連鎖を未来へ」	26.4.27～5.18 (美術館あーとあい・きさ)
日本画	平山 郁夫	波斯黄堂旧址	名古屋市美術館 中日新聞社	挑戦する日本画：1950～ 70年代の画家たち	26.7.5～8.24 (名古屋市美術館)
日本画	平山 郁夫 平山 郁夫 平山 郁夫 平山 郁夫 平山 郁夫 平山 郁夫 平山 郁夫 平山 郁夫	家路 ひととき(憩) 母子 天山南路(昼) みのり 受胎霊夢 広島生変図 黄河(晨)	長崎県美術館 平山郁夫美術館	没後5年－求道と鎮魂の 絵画－平山郁夫	26.7.19～8.31 (長崎県美術館) ※《広島生変図》については、 8.9～8.31の展示
日本画	児玉 希望 児玉 希望 児玉 希望 児玉 希望 児玉 希望 児玉 希望 児玉 希望 児玉 希望 児玉 希望 児玉 希望	氷川 烟雨 景清 黎明 驟雨来 荆軻 ひるさがり 日午 空山春生 七面鳥 溪谷の秋〔残照〕	高崎市タワー美術館	広島県立美術館所蔵 鮑くな き探究の画家 児玉希望展	26.9.13～11.3. (高崎市タワー美術館)

種別	作者名など	作 品 名	貸 出 先	目的(展覧会名)	会期・場所
素 描	児玉 希望	大川端			
	児玉 希望	鷺			
	児玉 希望	亭午			
	児玉 希望	ひざかり〔白日〕			
	児玉 希望	春のバンガロー			
	児玉 希望	静物(卓上のりんご)			
	児玉 希望	奥多摩の家			
	児玉 希望	梵唄(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	海禾(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	緑塊(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	白崖(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	雲似(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	滴律(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	地紋(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	徑(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	銀漾(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	日午(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	金漾(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	円鎖(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	踊			
	児玉 希望	涅槃			
	児玉 希望	瀾			
	児玉 希望	室内			
	児玉 希望	浦町の雑鬧			
	児玉 希望	晩春			
	児玉 希望	雨後			
	児玉 希望	冬瓜			
	児玉 希望	吾妻橋			
	児玉 希望	吾妻町にて			
	児玉 希望	フォンチメールカーチ			
児玉 希望	コモ1				
児玉 希望	コモ付近トルノ風景				
児玉 希望	モレーの寺				

種別	作者名など	作 品 名	貸 出 先	目的(展覧会名)	会期・場所
	児玉 希望	セーヌ河岸 ノートルダム付近			
	児玉 希望	ノートルダム付近			
	児玉 希望	プランブラよりグライスエ・デュ・モンブランを望む			
	児玉 希望	ゴッホの住んだ家			
	児玉 希望	ティボリの滝			
	児玉 希望	フォロ・ロマーノ 2			
	児玉 希望	ナポリ海岸			
	児玉 希望	フォロ・ロマーノ 3			
	児玉 希望	ベニスにて 1			
	児玉 希望	霧のベニスにて			
	児玉 希望	ニース			
	児玉 希望	ルアン			
	児玉 希望	トウレヤーノ・ネロの遺跡			
	児玉 希望	バンドールにて 2			
	児玉 希望	ソレントよりベスピオ火山を望む			
	児玉 希望	ジェノバ海岸			
	児玉 希望	マルセイユ 1			
	児玉 希望	モンブラン			
	児玉 希望	バンドール			
	児玉 希望	ルブンベル連峰			
	児玉 希望	アムステルダム郊外アードロギヤモク			
	児玉 希望	ロンドンブリッジよりタワーブリッジを望む			
	児玉 希望	ベルリン郊外ウインゼー			
	児玉 希望	アムステルダムにて新緑の家			
	児玉 希望	ベルリンウィルヘルム一世記念教会の塔			
日本画	菱田 春草	荘重(高土望岳)	独立行政法人 国立美術館 東京国立近代美術館	菱田春草展	26.9.23~11.3 (東京国立近代美術館)
染 織		萌黄地花鳥文三面繋更紗 茜地花唐草文様更紗 菱形染分パターンク文更紗 藍地人物文更紗	福岡市美術館	更紗の時代 Ages of Sarasa	26.10.11.~11.24 (福岡市美術館)

種別	作者名など	作 品 名	貸 出 先	目的(展覧会名)	会期・場所
		藍地葉文更紗 影絵人形文経緯緋肩掛 (グリーンシン)			
日本画	松本 楓湖	天照大神と須佐之男命	奈良県	大古事記展	26.10.18～12.14 (奈良県立美術館)
日本画	田中 頼璋 田中 頼璋 田中 頼璋	雪溪山水図 山村図 庭園	公益財団法人 頼山陽 記念文化財団	特別展 田中頼璋とその一門	26.10.26～12.20 (頼山陽史跡資料館) 前期《雪溪山水図》《山村図》： 平成26年11月13日～12月27日 後期《庭園》： 平成27年1月6日～2月8日
日本画	平山 郁夫 平山 郁夫 平山 郁夫 平山 郁夫	内海の春 浅春 ひととき 群像	平山郁夫美術館	平山郁夫 ふるさと・瀬戸 内からシルクロードへ	26.10.26～12.20 (平山郁夫美術館)
日本画	竹内 栖鳳	寒林帰牧図	海の見える杜美術館 姫路市立美術館 神戸新聞社	生誕150年記念 竹内栖鳳	26.11.1～12.14 (海の見える杜美術館) 27.2.11～3.29 (姫路市立美術館)
油彩画	ルネ・マグリット	人間嫌いたち	独立行政法人国立美 術館 国立新美術館 京都市美術館 読売新聞東京本社	ルネ・マグリット	27.3.25～6.29 (国立新美術館) 27.7.11～10.12 (京都市美術館)

Ⅸ 関係法規

広島県立美術館条例

(昭和43年3月26日)
広島県条例第20号

全部改正 平成8年条例第16号

最終改正 平成27年3月16日

(設置)

第1条 美術に関する県民の知識及び教養の向上に資するため、博物館法(昭和26年法律第285号)第18条の規定に基づき、広島県立美術館(以下「美術館」という。)を設置する。

(位置)

第2条 美術館の位置は、広島市中区上鞆町とする。

(業務)

第3条 美術館は、次の業務を行う。

- (1) 美術品等を収集し、保管し、又は展示して、県民の利用に供すること。
- (2) 美術品等の展示施設(以下「展示施設」という。)その他の美術館の施設を美術品等の展示等のための利用に供すること。
- (3) 美術品等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- (4) その他県民の美術に関する知識、教養、調査研究等に資するために必要な事業を行うこと。

(職員)

第4条 美術館に、館長その他必要な職員を置く。

2 館長は、前条第1号及び第3号に掲げる業務並びに同条第2号及び第4号に掲げる業務のうち次条第2項第1号に掲げる業務を除いたものを掌理し、所属職員を指揮監督する。

(指定管理者による管理)

第5条 美術館の管理は、広島県公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例(平成16年広島県条例第28号)の定めるところにより、教育委員会が指定した法人その他の団体(以下「指定管理者」という。)に行わせるものとする。

2 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 第三条第二号及び第四号に掲げる業務のうち教育委員会規則で定めるものを行うこと。
- (2) 美術館の展示施設及び講堂(以下「展示施設等」という。)並びに駐車場の利用の許可に関すること。
- (3) 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設並びに附属設備の維持及び修繕に関すること。
- (4) 美術館が所蔵する美術品等の展示(以下「所蔵作品展」という。)の観覧並びに展示施設等及び駐車場の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)の収受に関すること。
- (5) 教育委員会が単独で開催する所蔵作品展以外の展示(以下「特別展」という。)の観覧に係る入館料(以下「入館料」という。)の徴収に関すること。
- (6) その他教育委員会が別に定める業務を行うこと。

(開館時間等)

第6条 美術館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、金曜日は、午後7時まで開館時間を延長する。

2 講堂及び駐車場の利用時間は、次のとおりとする。

- (1) 講堂 午前9時から午後9時まで
- (2) 駐車場 午前9時から午後9時15分まで

3 前2項の規定にかかわらず、教育委員会又は指定管理者は、特に必要があると認めるときは、第1項の開館時間又は前項の利用時間を変更することができる。この場合においては、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得なければならない。

(休館日等)

第7条 美術館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。)に規定する休日に当たる場合を除く。)
- (2) 12月25日から翌年の1月1日までの日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会又は指定管理者は、特に必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。この場合においては、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得なければならない。

(利用の許可)

第8条 展示施設等及び駐車場を利用しようとする者は、教育委員会規則及び指定管理者の定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の許可(以下「利用許可」という。)をする場合においては、美術館の管理上必要な限度において条件を付することができる。

(利用許可の制限)

第9条 指定管理者は、展示施設等及び駐車場の利用の目的又は方法が、次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可をしてはならない。

- (1) 公益を害し、又は風俗を乱すおそれがあると認められるとき、その他住民の福祉を増進する目的に照らし適当でないと認められるとき。
- (2) 展示施設等及び駐車場並びに附属設備を損傷するおそれがあると認められるとき。
- (3) 集団的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- (4) その他美術館の管理及び運営上支障があると認められるとき。

(展示施設等の利用期間)

第10条 展示施設等の利用期間は、引き続き7日を超えることはできない。ただし、指定管理者が必要と認めるときは、この限りでない。

(入館料の納付等)

第11条 美術館の特別展を観覧する者は、1人1回2,090円以内で知事が定める入館料を納付しなければならない。

- 2 入館料は、知事が別に定める場合を除き、前納とする。
- 3 既納の入館料は、返還しない。

(利用料金の納付等)

第12条 美術館の所蔵作品展を観覧する者並びに展示施設等及び駐車場を利用する者は、指定管理者が別表第1から別表第3までに定める金額の範囲内で教育委員会の承認を受けて定める利用料金を納付しなければならない。

- 2 所蔵作品展に係る利用料金は、教育委員会が別に定める場合を除き、前納とする。
- 3 展示施設等及び駐車場に係る利用料金は、教育委員会が別に定める場合を除き、利用許可を受ける際に納付しなければならない。
- 4 既納の利用料金は、返還しない。ただし、利用許可を受けた者がその責めに帰することができない理由により利用できない場合その他教育委員会が別に定める場合には、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を返還することができる。

(入館料の減免)

第13条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者が特別展を観覧するときは、入館料を減免することができる。

- (1) 祝日法第2条に規定するこどもの日に入館する小学校の児童又は中学校の生徒
- (2) 祝日法第2条に規定する文化の日に入館する者
- (3) ひろしま教育の日を定める条例(平成13年広島県条例第40号)第3条に規定するひろしま教育ウィークに入館する小学校の児童又は中学校若しくは高等学校の生徒
- (4) その他知事が別に定める者

(利用料金の減免)

第14条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者が所蔵作品展を観覧するときは、所蔵作品展に係る利用料金を減免することができる。

- (1) 身体障害者手帳の交付を受けている者
- (2) 戦傷病者手帳の交付を受けている者
- (3) 療育手帳の交付を受けている者
- (4) 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者
- (5) 65歳以上の者
- (6) 県内の大学に在学する外国人留学生
- (7) 小学校(特別支援学校の小学部を含む。以下同じ。)、中学校(特別支援学校の中学部を含む。以下同じ。)又は高等学校(特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。)の校長が学校教育活動であることを証明した場合の小学校の児童又は中学校若しくは高等学校の生徒の引率者
- (8) 祝日法第2条に規定するみどりの日又は文化の日に入館する者
- (9) 特別展と併せて観覧する者
- (10) その他教育委員会が別に定める者

2 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、展示施設等の利用料金を減免することができる。

- (1) 教育委員会が、主催する事業のために展示施設等を利用するとき。
- (2) 前項第1号から第4号までに掲げる者(以下「身体障害者等」という。)又は身体障害者等が主体となつて構成する団体が、美術活動として展示施設等を利用するとき。
- (3) 国又は地方公共団体が、身体障害者等の美術の振興を図る行事のために展示施設等を利用するとき。

- (4) 社会福祉事業を推進する団体が当該団体の設立の目的のために利用するとき。
 - (5) 幼保連携型認定こども園若しくは幼稚園(特別支援学校の幼稚部を含む。)の園長(特別支援学校の幼稚部にあつては、校長)又は小学校若しくは中学校の校長が学校教育活動であることを証明した場合において、当該幼稚園の幼児又は当該小学校の児童若しくは当該中学校の生徒が利用するとき。
 - (6) その他教育委員会が別に定める場合
- 3 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、駐車場の利用料金を減免することができる。
- (1) 教育委員会が、主催する事業のために駐車場を利用するとき。
 - (2) 身体障害者等が、自ら車両を運転し、又は介護者の運転する車両に同乗して駐車場を利用するとき。

(利用料金の収入)

第15条 第12条第1項の規定により所蔵作品展を観覧する者並びに展示施設等及び駐車場を利用する者が納付する利用料金は、指定管理者の収入とする。

(利用許可の取消し等)

- 第16条 指定管理者は、利用許可を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可の全部若しくは一部を取り消し、利用の方法を制限し、又は利用の停止を命じることができる。
- (1) 許可された利用目的以外に展示施設等を利用したとき。
 - (2) 第九条各号のいずれかに該当するに至つたとき。
 - (3) 偽りその他不正な手段により利用許可を受けたとき。
 - (4) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則の規定又は第8条第2項の規定により付された条件に違反したとき。
 - (5) 利用許可に基づく権利を譲渡し、又は他人に利用させたとき。
- 2 前項の規定により利用許可を取り消し、利用の方法を制限し、又は利用の停止を命じたことによつて、利用許可を受けた者に損失が生じることがあつても、県又は指定管理者は、これに対して補償する義務を負わない。

(遵守事項)

第17条 美術館においては、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設並びに附属設備をき損し、又は汚損しないこと。
- (2) 展示資料、展示設備等に触れないこと。
- (3) 許可を受けずに、展示資料の模写又は撮影をしないこと。
- (4) 館内においては、静粛にし、他人に迷惑を掛ける行為又は他人に嫌悪の情を催させる行為をしないこと。
- (5) 所定の場所以外の場所で喫煙し、又は飲食しないこと。
- (6) 指定管理者の指示に従うこと。
- (7) その他教育委員会が定める事項

(禁止行為)

第18条 美術館においては、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

- (1) 寄附の募集
- (2) 爆発物その他危険物等の持込み
- (3) 行商その他これに類する行為
- (4) 宣伝その他これに類する行為
- (5) 広告物等の掲示若しくは配布又は看板、立札類の設置

(入館の制限等)

第19条 教育委員会又は指定管理者は、前2条の規定に違反するおそれのある者又はこれらの規定に違反した者に対して、美術館への入館を拒否し、又は美術館からの退去を命じることができる。

(原状回復義務)

第20条 展示施設等の利用者は、その利用を終了したとき(利用許可を受けた者が第16条第1項の規定により利用許可を取り消されたときを含む。)は、直ちに利用場所を原状に復し、指定管理者の検査を受けなければならない。

(損害賠償義務)

第21条 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設、附属設備又は展示資料等をき損し、汚損し、又は滅失した者は、これによつて生じた損害を賠償しなければならない。

(委任規定)

第22条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

- 1 この条例は、昭和43年4月1日から施行する。
- 2 第5条第1項の規定にかかわらず、別表の通常の展示の場合に係る入館料は、この条例の施行の日後において知事とその徴収を開始すべき日を定めて公示するまでの間は、これを徴収しないものとする。

附 則(平成19年3月15日条例第21号抄)

(施行期日)

1 この条例は、規則で定める日から施行する。(平成20年1月規則第2号で、平成20年4月1日から施行)

(経過措置)

3 この条例の施行前にこの条例による改正前のそれぞれの条例(これに基づく規則その他の規程を含む。)の規定によってした処分、手続その他の行為であつて、この条例による改正後のそれぞれの条例(これに基づく規則その他の規程を含む。)中相当する規定があるものは、それぞれこれらの相当する規定によってした処分、手続その他の行為とみなす。

4 この条例の施行前にこの条例による改正前のそれぞれの条例(これに基づく規則その他の規程を含む。)の規定により利用の許可を受けている者に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成19年12月25日条例第56号)

この条例は、学校教育法等の一部を改正する法律(平成19年法律第96号)附則第1条本文に規定する政令で定める日から施行する。(定める日=平成19年12月26日)

附 則(平成22年6月28日条例第31号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成23年7月11日条例第31号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成26年3月26日条例第23号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月16日条例第三号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

別表第1(第12条関係)

所蔵作品展の利用料金の範囲

区 分	個 人	団体(20人以上の場合とする。)	広島県縮景園との 共通券による場合
大 学 生	1人1回につき410円以内	1人1回につき320円以内	1人1回につき320円以内
その他一五歳以上の者 (中学校及び高等学校の生徒を除く。)	1人1回につき670円以内	1人1回につき540円以内	1人1回につき540円以内

別表第2(第12条関係)

展示施設等の利用料金の範囲

施設区分		第1展示室	第2展示室	第3展示室	第4展示室	第5展示室	講堂
入場料有料の場合	1時間につき	1,750円以内	2,990円以内	2,990円以内	2,990円以内	3,190円以内	4,840円以内
	1日につき	13,380円以内	23,870円以内	23,870円以内	23,870円以内	25,310円以内	
入場料無料の場合	1時間につき	930円以内	1,550円以内	1,550円以内	1,550円以内	1,650円以内	2,470円以内
	1日につき	6,690円以内	11,940円以内	11,940円以内	11,940円以内	12,660円以内	
電気設備を利用する場合		実費を基準として教育委員会が定める範囲とする。					

備考

- この表において「1日」とは、美術館の開館時間とする。
- 日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日における入場料有料の場合の利用料金の額は、指定管理者が定める額の2割を加算する。
- 展示物の搬入及び撤去に係る利用料金の額は、指定管理者が定める額に2分の1を乗じて得た額とする。
- 利用料金の額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

別表第3(第12条関係)

駐車場の利用料金の範囲

駐車することができる自動車の範囲	単 位	利用料金の範囲
道路運送車両法(昭和26年法律第185号)第3条に規定する自動車のうち、普通自動車並びに2輪自動車以外の小型自動車及び軽自動車	1台につき 1時間まで 1時間を超える時間 30分までごとに	410円以内 210円以内

広島県博物館協議会条例

(平成13年3月26日)
広島県条例第3号

(設置)

第1条 広島県教育委員会(以下「教育委員会」という。)に、広島県博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、広島県立美術館、広島県立歴史民俗資料館、広島県立歴史博物館の運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対して意見を述べる機関とする。

(組織)

第2条 協議会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、教育委員会が任命する。

(委員の任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が召集し、会長がその議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(雑則)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成13年4月1日から施行する。

(広島県立美術館協議会条例の廃止)

2 広島県立美術館協議会条例(昭和43年広島県条例第38号)は、廃止する。

広島県立美術館管理運営規則

(昭和43年4月1日)
教育委員規則第1号

最終改正 平成25年2月18日教育委員会規則第1号

(趣 旨)

第一条 この教育委員会規則は、広島県立美術館(以下「美術館」という。)の管理及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第二条 広島県立美術館条例(昭和四十三年広島県条例第二十号。以下「条例」という。)第五条第二項第一号の教育委員会規則で定める業務は、次に掲げる業務とする。

- 一 美術館の利用促進に関すること。
- 二 美術館の利用案内に関すること。
- 三 県民の美術に関する学習活動の支援に関すること。

(開館時間等の周知)

第三条 条例第六条第三項又は第七条第二項の規定により、美術館の開館時間若しくは講堂若しくは駐車場の利用時間を変更し、又は美術館の全部若しくは一部を臨時に休館し、若しくは休館日に開館する場合は、あらかじめ、その旨を美術館に掲示する等周知のために必要な措置を講じなければならない。

(展示施設等の利用の申込み等)

第四条 美術館の展示施設及び講堂(以下「展示施設等」という。)を利用しようとする者は、展示施設等利用申込書を指定管理者に提出し、条例第八条第一項の許可(以下「利用許可」という。)を受けなければならない。

2 前項の規定による利用の申込みは、次に掲げる期間内にしなければならない。ただし、特別の事情があると指定管理者が

認める場合は、この限りでない。

- 一 展示施設 利用開始日の一年前から一月前まで
- 二 講堂 利用開始日の四月前から七日前まで

(展示施設等利用許可書の交付)

第五条 指定管理者は、利用許可をしたときは、展示施設等利用許可書を申込者に交付するものとする。

- 2 展示施設等利用許可書は、展示施設等を利用する際必ず携帯し、係員の請求があるときは、これを提示しなければならない。

(駐車場の利用手続)

第六条 駐車場を利用しようとする者(以下「駐車場利用者」という。)は、自動車を入庫させる際、駐車券の発給を受けるものとする。この場合においては、当該発給を受けたときに利用許可を受けたものとみなす。

- 2 駐車場利用者が自動車を出庫させようとする際は、駐車時間に応じた利用料金を納付しなければならない。

(利用料金の周知)

第七条 指定管理者は、条例第十二条第一項の規定により教育委員会の承認を受けて利用料金を定めたときは、美術館に掲示する等周知のために必要な措置を講じなければならない。

(利用料金の返還)

第八条 条例第十二条第四項ただし書の規定により、指定管理者は、利用許可を受けた者がその責めに帰することができない理由により利用することができない場合は、当該利用料金の全額を返還する。

- 2 前項の規定により利用料金の返還を受けようとする者は、利用料金返還申請書に第五条第一項の展示施設等利用許可書を添えて、指定管理者に提出しなければならない。

(利用料金の減免)

第九条 条例第十四条第一項第一号から第九号まで、同条第二項第一号又は同条第三項第一号若しくは第二号に該当する場合は、利用料金(条例別表第二に規定する電気設備を利用する場合の利用料金を除く。以下本条において同じ。)を免除する。

- 2 条例第十四条第二項第二号又は第三号に該当する場合は、利用料金の額の二分の一に相当する額を減額する。
- 3 条例第十四条第二項第四号又は第五号に該当する場合は、利用料金の額の五分の一に相当する額を減額する。
- 4 前二項の規定により算定した減額後の利用料金の額に十円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てるものとする。

(利用料金の減免の申請)

第十条 前条第一項の規定により利用料金の免除を受けようとする者のうち条例第十四条第一項第一号から第七号まで又は同条第三項第二号に該当するものは、該当することを証する書類を指定管理者に提示しなければならない。

- 2 前条第二項又は第三項の規定により利用料金の減額を受けようとする者は、第四条第一項の展示施設等利用申込書の提出時に併せて利用料金減額申請書を指定管理者に提出し、その承認を受けなければならない。

(補 則)

第十一条 この教育委員会規則に定めるもののほか、美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

(施行期日)

- 1 この教育委員会規則は、広島県縮景園設置及び管理条例及び広島県立美術館条例の一部を改正する条例(平成十九年広島県条例第二十一号)の施行の日から施行する。(施行の日=平成二〇年四月一日)

附 則(平成二一年三月二四日教育委員会規則第三号)

この教育委員会規則は、平成二十一年四月一日から施行する。

附 則(平成二四年四月一日教育委員会規則第七号)

この教育委員会規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成二五年二月一八日教育委員会規則第一号)

この教育委員会規則は、平成二十五年四月一日から施行する。

広島県立美術館美術品等収集評価委員会設置要領

最終改正 平成12年2月1日

(設 置)

第1条 広島県立美術館(以下「美術館」という。)に広島県立美術館美術品等収集評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(意見の聴取)

第2条 美術館長は、美術品等を収集しようとするときは、当該美術品等の収集及び評価についてあらかじめ委員会の意見を徴するものとする。但し、「文化財保護法」第27条の規定により指定された国宝・重要文化財及び「美術品の美術館における公開の促進に関する法律」第3条の規定により登録された美術品並びに広島県文化財保護条例第3条の規定により指定された広島県重要文化財はこの限りでない。

(委員の構成等)

第3条 委員会は、委員8人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから美術館長が委嘱する。

- (1) 美術館、博物館、大学、研究所等の職員
- (2) 美術評論家
- (3) その他、館長が適当と認める者

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は再任することができる。

(臨時委員)

第4条 美術館長が審議のため必要と認めた場合は、専門的知識を持つ者を臨時委員に委嘱できる。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 委員長は、委員会の会議を総理する。

3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は(以下「会議」という。)は、必要に応じ美術館長が召集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、議事を開くことができない。

(守秘義務)

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(庶務)

第8条 委員会に関する庶務は、美術館において行う。

(雑則)

第9条 この要領に定めるもののほか、委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、美術館長が別に定める。

附 則

この要領は、平成元年7月11日から施行する。

広島県立美術館美術品等収集基本方針

(昭和63年12月9日)

広島県立美術館の美術品等収集に関する基本方針を次のとおり定める。

- 1 本県ゆかりの作家の美術品等については、次項に準拠しつつ、各作家ごとの体系的なコレクションの形成につとめる。
- 2 次に掲げる美術品等の収集に主眼を置き、日本美術の特質を味わうことのできる体系的なコレクションの形成につとめる。
 - (1) 近・現代作家の特色ある美術作品
近代から現代にいたる絵画等の平面・立体造形作品のうち、時代の特徴と制作意図の明確な作品。
 - (2) 近代の工芸作品
わが国工芸の特色を示す陶芸、染色、漆芸、金工等のうち、主として近代以降に制作された作品。
 - (3) 近代の彫塑作品
近代以降のわが国の彫塑界で特に重要と認められる作家の作品。
 - (4) その他の美術作品
上記(1)～(3)に掲げる美術作品のほか、美術館において収蔵するにふさわしいと認められる美術工芸作品。
 - (5) 美術資料
収蔵する美術品等に関する作家並びに美術作品を理解するうえで必要な日記、書簡、下絵等の美術資料等。
 - (6) 補助的関連資料
収集する美術品等に関する調査研究及び教育普及事業に必要な視聴覚教材、図書、複製品等の補助的関連資料
- 3 その他、美術館において所蔵するにふさわしい東洋・西洋の美術品等を収集する。

広島県立美術館美術品等特別収集基本方針

(平成3年3月8日 館長決裁)

- 1 本県ゆかりの作家の作品並びに本県にゆかりのある美術品等
 - (1) 本県ゆかりの作家の作品及び美術資料
 - (2) 本県ゆかりの作家に関連する系譜的作品

- (3) 県ゆかりの美術品等
- 2 近世から現代までの造形的に優れたわが国の美術作品及びこれらの作品を理解するために必要な外国作品
 - (1) 絵画作品
 - 1) 近世絵画の流れが理解できる作品のうち、主として花鳥画を主題とする作品及び近代日本画確立期の作品
 - 2) 油彩画等の受容と展開を示す明治・大正・昭和三代の代表的作家の作品
 - 3) 戦後における国際的評価の高い作家の作品
 - (2) 工芸作品
 - 1) 東洋的伝統を受け継ぐわが国の代表的作家又は様式の作品
 - 2) わが国と関係の深いアジア各国の工芸作品
 - 3) 近代工芸確立期(1920年代)及び戦後昂揚期(1960年代)の作品
 - 4) 収蔵作品を理解するために必要な外国作品及び特に注目される現代の工芸作品
- 3 国際的視野から特色をもった作品
 - 1920-1930年代の両大戦間を中心とする世界美術の多様性が理解できる作品
 - 1) 欧米作家等の作品
 - 2) 日本人作家の作品
- 4 近代以降の彫刻(立体)作品
 - (1) 主として戦後期に活躍した作家の作品
 - (2) “手で見る彫刻”作品
 - (3) 新館及び街区等、周囲の環境に即した作品

県立美術館特別収集重点方針

- 1 本県ゆかりの作家の作品など
 - 近代以降の美術界に大きな足跡をのこした作家の作品を中心に収集し、その系譜的作品も併せて収集する。
- 2 日本及びアジアの工芸作品など
 - わが国とアジア各国の優れた工芸作品(陶磁、染色、漆芸など)を収集する。
- 3 1920-1930年代(両大戦間)の美術作品など
 - 現代美術に先行する両大戦間美術の多様性を示す作品を世界と日本との関連で収集する。

広島県立美術館美術品等取扱要綱

(趣 旨)

第1条 広島県立美術館(以下「美術館」という。)で取り扱う美術品及び美術資料の管理、寄託、寄附及び貸付けについては、広島県物品管理規則(昭和39年規則第33号。)に定めるもののほか、この要綱の定めるところによる。

(定 義)

第2条 この要綱において「美術品等」とは、美術作品及び美術に関する資料をいう。

(管 理)

第3条 美術館で管理する美術品等については、別表の美術品等分類表により区分するとともに、別記様式第1号による備品出納簿を備え付け、その出納及び保管の状況を記録管理しなければならない。

(寄 託)

第4条 美術品等を、美術館に保管又は展示するために寄託しようとする者は、広島県立美術館長(以下「館長」という。)に別記様式第2号による美術品等寄託申請書を提出し、寄託の承認を受けなければならない。

2 館長は、前項の規定により寄託を承認した場合は、美術品等を寄託する者(以下「寄託者」という。)に対して別記様式第3号による受託証書を交付するものとする。

3 前項の規定により寄託を承認した美術品等(以下「寄託品」という。)の記録管理は、別記様式第4号による受託カードにより行うものとする。

(寄託期間)

第5条 寄託期間は3年とする。ただし、館長が特別の理由があると認めた場合は、寄託者の承諾を得て寄託期間を変更することができる。

(一時返還)

第6条 寄託者は、寄託品の一時返還を受けるときは、館長に別記様式第5号による寄託品一時返還願を提出しなければならない。

(返還の手続)

第7条 館長は、寄託者に寄託品を返還するとき、受託証書と引換えに返還するものとする。

2 寄託者の代理人が、寄託品の返還を受けようとするときは、館長に委任状その他これを証する書類を受託証書に添付して提出しなければならない。

(受託証書の記載事項変更)

第8条 寄託者は、受託証書の記載事項について、譲渡、相続その他の事情により変更があったときは、館長に記載事項の変更を証する書類を受託証書に添付して提出し、記載事項の書換えを受けなければならない。

(受託証書の再交付)

第9条 寄託者は、受託証書を破り、汚し、又は失ったときは、館長に別記様式第6号による受託証書再交付申請書を提出して、受託証書の再交付を受けなければならない。

(寄託品の保管)

第10条 館長は、寄託品を常に良好な状態で保管しなければならない。

(寄託品の修繕)

第11条 館長は、寄託品に修繕をする必要を認めるときは、寄託者に対して適正な指示を行うことができる。

(寄 附)

第12条 美術品等を、美術館に保管又は展示するために寄附をしようとする者は、館長に別記様式第7号による寄附申込書を提出しなければならない。

2 館長は、前項の規定により寄附申込書の提出があったときは、寄附を受けることについて適否を決定し、美術品等を寄附しようとする者に対して適否を通知するものとする。

(貸付け)

第13条 館長は、美術館の事業に支障を及ぼさないと認めるときは、美術品等を他の美術館又はこれに準ずる施設に無償で貸し付けることができる。

2 美術品等を、前項の規定により貸付けを受けようとする者は、館長に別記様式第8号による美術品等借受願願又は別記様式第8号に準じた書面を提出しなければならない。ただし、貸付けを受けようとする美術品等が寄託品である場合は、寄託者の承諾書を美術品等借受願に添付するものとする。

3 館長は、第1項の規定により美術品等の貸し付けを決定したときは、貸付けを受けようとする者に対して貸し付けの通知をするものとする。

(借用書の提出)

第14条 前条第3項の規定により通知を受けた者は、館長に別記様式第9号による借用書又は別記様式第9号に準じた書面を提出しなければならない。

(貸付け期間)

第15条 貸付け期間は60日以内とする。ただし、館長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(貸付けの条件)

第16条 第13条第1項の規定により美術品等を貸し付ける場合の条件は、次の各号に定めるとおりとする。

- (1) 貸付けを受けた者(以下「借用者」という。)は、貸し付けを受けた美術品等(以下「借用美術品等」という。)を転貸し、又は貸し付けにより生じた権利を担保に供し、若しくは譲渡してはならない。
- (2) 借用者は、借用美術品等を常に良好な状態で保管しなければならない。
- (3) 借用者は、借用美術品等を失い、又は傷付けたときは、直ちにその損害を賠償しなければならない。
- (4) 美術品等の貸付けに必要な経費は、借用者が負担するものとする。
- (5) 館長は、前各号に定めるもののほか、美術品等の貸し付けに必要な条件を付することができる。

(報告義務)

第17条 館長は、第12条第2項の規定により美術品等の寄附受納を決定した場合及び第13条第3項の規定により美術品等の貸付けを決定した場合は、速やかに広島県環境県民局長(以下「局長」という。)に報告しなければならない。

(補 則)

第18条 館長は、前各条に規定する事務のうち、重要及び異例若しくは疑義のある事項については、あらかじめ局長に報告し、局長は広島県教育委員会に協議をして、その承認を受けなければならない。

附 則

この要綱は、昭和58年7月1日から施行する。

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

広島県立美術館展示施設等運営要領

(平成8年7月24日 館長決裁)

この要領は、広島県立美術館管理運営規則(昭和43年4月1日教育委員会規則第1号)に基づき美術館の展示施設及び講堂の適正かつ効果的な運営を図るため、利用の形態及び許可の基準その他の必要な事項を定めるものとする。

1 利用形態

① 常設展示室(2階)

第1から第4展示室及び彫刻展示スペースは、所蔵作品による常設展示を行う。

② 企画展示室(3階)

北、東、西及び展示前室は、美術館が企画・主催し又は共催する展覧会事業に使用する。ただし、美術館が共催する展覧会は、国若しくは地方公共団体(その機関を含む。)又は公共性の高い機関が企画・主催する事業で、美術館が共催するにふさわしい、開催意義の高い事業に限る。

なお、これらの展覧会を実施しても、なお、空室が生じる場合は、「広島県教育委員会の共催・後援・協賛に関する基準について(昭和54年3月29日)」に基づき共催・後援に該当する展覧会に限り使用することができる。

③ 県民ギャラリー(地階)

条例第1条により、団体又は個人が美術に関する事業を目的として利用する場合に、これを許可する。

④ 講堂兼ハイビジョンギャラリー(地階)

通常はハイビジョンギャラリーとして入館者が自由に鑑賞できるように毎日一定時間使用する。また、団体又は個人が芸術に関する県民の知識及び教養の向上に資する目的で講演会などの催しのために利用する場合には、美術館が企画・主催する事業に支障のない範囲内でこれを許可する。

⑤ 図書館(1階)

美術に関する図書及び参考図書を公開し、利用者に提供する。また、室内にハイビジョン・データ・ブースを設置し、美術館の所蔵品に関するデータベースを提供して利用者の学習の便を図る。

⑥ 情報ギャラリー(1階)

ポスター、パンフレットなど、さまざまな広報媒体を掲示して、利用者に情報を提供するとともに、時機に応じて比較的小規模の企画展示を行う。また、一部にハイビジョン・ブースを設置し、美術館の所蔵品に関するオリジナル番組を提供して、利用者の作品理解の一助とする。

2 利用の申込み

県民ギャラリーの利用の申込みは、原則として年度を前・後期に分け、前期については、前年度の9月1日から9月30日まで、後期については、前年度の3月1日から3月31日までの間に受け付けるものとする。

講堂の利用の申込みは、利用日の2ヶ月前から随時行うものとする。

3 利用の期間及び回数

県民ギャラリーの利用期間は原則2週間をこえないこととし、利用回数は同一の団体又は個人につき原則年1回とする。

広島県立美術館評価委員会設置要項

(設置)

第1条 広島県立美術館(以下「美術館」という。)の業務の実績を評価し改善策を提示するとともに、美術館運営に関して助言を行うため、美術館に広島県立美術館評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(組織)

第2条 委員会は、委員8名をもって組織する。

2 委員は、美術館の運営及び事業に関係する分野に見識を有する者のうちから、美術館長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年間とする。ただし再任を妨げない。

4 委員に欠員が生じた場合は、美術館長は新たに委員を委嘱することができる。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第3条 委員会に委員長を置く。

2 委員長は、美術館長が指名する委員をもって充てる。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会の会議は、委員の半数以上の出席を必要とする。

3 委員会は次の事項について審議する。

- (1) 美術館の評価方法に関する事
- (2) 美術館の事業計画の評価に関する事
- (3) 美術館の事業実績の評価に関する事
- (4) その他、美術館運営に関する助言・指導に関する事

4 委員長が必要と認めるときは、会議に必要な経験・知識を有する者を招き、意見を聴取することができる。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、美術館において行う。

(その他の事項)

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に際し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成23年6月29日から施行する。

X 名 簿

美術品等収集評価委員会委員

委員 長	内 山 武 夫	元京都国立近代美術館館長
委 員	井 関 和 代	大阪芸術大学芸術学部教授
〃	島 田 康 寛	神戸市立小磯記念美術館館長
〃	白 石 和 己	山梨県立美術館館長
〃	菅 村 亨	広島大学大学院教育学研究科教授
〃	中 林 和 雄	独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館企画課長
〃	谷 新	宇都宮美術館館長
〃	山 梨 俊 夫	国立国際美術館館長

広島県立美術館評価委員会委員

委員 長	蓑 豊	兵庫県立美術館館長
委 員	青 木 尚 二	(社)日本旅行業協会中四国支部長
〃	河 野 高 信	己斐商事(株)代表取締役
〃	柴 川 敏 之	美術作家・就実短期大学教授
〃	竹 内 泰 彦	広島県立美術館友の会会長
〃	永 野 正 雄	(株)テレビ新広島代表取締役会長
〃	水 沢 勉	神奈川県立近代美術館館長
〃	山 下 治 子	雑誌ミュゼ編集長

職 員

館 長	越 智 裕二郎
副 館 長	下 村 節 子
総務課長兼 学芸課長	西 川 秀 敏
専 門 員	三 浦 緑
主 査	脇 坂 誠
専 門 員	寶 諸 亜希子
主 任	小 寺 康 弘
学芸統括 マネージャー	向 田 裕 始
主任学芸員	宮 本 真希子
〃	角 田 新
〃	福 田 浩 子
〃	石 川 哲 子
〃	藤 崎 綾
〃	周々木 朝 香
学 芸 員	山 下 寿 水
〃	隅 川 明 宏

平成26年度

広島県立美術館年報

平成27年12月25日発行

発行者 **広島県立美術館**
〒730-0014 広島市中区上鞆町2-22
電話 (082) 221-6246

印刷所 株式会社 タカトープリントメディア
〒730-0052 広島市中区千田町3丁目2-30
電話 (082) 244-1110

(人名については、敬称略)